財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第413集

前道下遺跡(1)

－縄文時代～中近世編－

北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域並びに
（一）香林羽黒線地方道路交付金事業に伴う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書

2007

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社
群 馬 県 伊 勢 崎 土 木 事 務 所
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

調査研究館1F保管

前道下遺跡(1)

－縄文時代～中近世編－

北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域並びに
（一）香林羽黒線地方道路交付金事業に伴う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書

2007

東 日 本 高 速 道 路 株 式 会 社
群 馬 県 伊 勢 崎 土 木 事 務 所
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

前道下遺跡は伊勢崎市上田(かみだ)町（旧佐波郡東村上田）に所在し、平成13年から平成15年にかけ、北関東自動車道及び一般県道香林羽黒線の建設に先立って発掘調査された遺跡です。

東日本高速道路株式会社、群馬県伊勢崎土木事務所からの委託を受け、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査を実施し、平成17年度から平成19年度にかけて行った整理事業のうち、縄文時代以降の調査について成果がまとまり報告書の刊行となりました。本遺跡は旧石器時代から近世までの多岐にわたる遺跡であります。なかでも古墳時代後期の住居跡が多くの遺物とともに調査され、旧東村の古墳時代を考える上で貴重な資料となっています。

本報告書が考古学の研究者はもちろん、郷土の歴史に関心をお持ちの県民の皆様、さらには学校教育における郷土学習にも、大いに役立つものと確信しております。

最後に、東日本高速道路株式会社、群馬県伊勢崎土木事務所、群馬県教育委員会文化課、伊勢崎市教育委員会、および地元関係者の皆様には発掘調査から報告書刊行まで終始ご協力を賜り、感謝の意を表すとともに、発掘調査・整理事業に携わった担当者、作業員の方々、整理補助員の方々の労をねぎらい序とします。

平成19年9月

財団法人　群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長　高橋勇夫

例　言

1．本書は、北関東自動車道（伊勢崎～県境）の建設および（一）香林羽黒線地方道路交付金事業に伴い事前調査された、前道下遺跡の発掘調査報告書である。

2．本遺跡は、群馬県伊勢崎市上田町（旧佐波郡東村上田）地内に所在する。

3．事業主体　東日本高速道路株式会社（旧日本道路公団）・群馬県伊勢崎土木事務所

4．調査主体　財団法人　群馬県埋蔵文化財調査事業団

5．調査期間　北関東自動車道（以下、本線）

平成13年４月１日～平成14年１月31日

平成14年９月１日～平成14年11月30日

平成15年４月１日～平成15年７月31日

（一）香林羽黒線（以下、県側道）

平成13年11月１日～平成15年１月31日

6．整理期間　平成17年４月１日～平成20年３月31日（本年度整理継続中）

本　線　平成17年４月１日～平成18年６月30日

平成19年７月１日～平成20年３月31日

県側道　平成18年７月１日～平成19年６月30日

7．調査組織

事務担当　小野宇三郎・住谷永市・吉田豊・神保侑史・赤山容造・萩原利通・住谷進・平野進一・能登健・水田稔・真下高幸・津金澤吉茂・相京建史・下城正・笠原秀樹・柳岡良宏・田中健一・北野勝美・中澤恵子・金子三枝子・松下次男・吉田茂

調査担当　本　線　平成13年度　井川達雄・新井仁・土谷慎二

平成14年度　新井仁・土谷慎二

平成15年度　石塚久則・齋藤利子・齊田智彦・田村博

県側道　平成13年度　土谷慎二

平成14年度　新倉明彦・石坂聡

8．整理組織

事務担当　高橋勇夫・小野宇三郎・木村裕紀・津金澤吉茂・萩原勉・矢崎俊夫・西田健彦・佐藤明人・中東耕志・関晴彦・相京建史・笠原秀樹・宮前結城雄・竹内宏・石井清・須田朋子・吉田有光・柳岡良宏・斉藤恵利子・矢島一美・今泉大作・齋藤陽子・栗原幸代・清水秀紀・佐藤聖行・今井もと子・内山佳子・若田誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・狩野真子・武藤秀典

整理担当　齊田智彦・岩崎泰一

整理補助　吉沢やよい・大野容子・飯田美和・杉浦あかね・松本留実・武井綾子・新平美津子・横坂英実・南雲富子・森下和子・高山由紀子・飯塚絵里香・真庭和子

遺物写真　佐藤元彦

保存処理　関邦一・土橋まり子・小材浩一・津久井桂一・多田ひさ子・森田智子・長岡久幸・小池緑・佐々木茂美・田中のぶ子・野沢健

機械実測　酒井史恵・廣津真希子・友廣裕子

9．分析・委託

自然科学分析　古環境研究所

縄文土器トレース、石器実測およびトレース、遺物・遺構写真デジタル化　株式会社シン技術コンサル

10. 本文執筆　第１章－１　相京建史　　第３章－３・６の縄文土器　関根慎二　　その他　齊田智彦

11. 本書編集　齊田智彦

12. 本遺跡の出土遺物及び図面・写真等の資料は群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。

凡　　例

1．遺構図に使用した方位は、座標の北を表している。

2．本報告書で使用したテフラの略号は以下の通りである。

浅間Ａ軽石（1783 年）　As－A　　浅間Ｂ軽石（1108 年）　As－B

榛名二ツ岳渋川テフラ（６世紀中葉）　Hr－FA

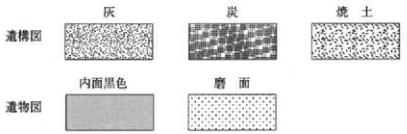
3．遺構図・遺物図の縮尺は、原則として以下の通りである。

遺構図　住居１：60　竈１：30　土坑１：40　溝１：100

遺物図　土器・石器１：３　大型土器１：４　石鏃４：５

ただし、図によってはその限りではなく、異なる場合は各々スケールを付した。

4．遺構図・遺物図中で使用したスクリーントーンは以下の通りである。



5．本文の記載方法は以下の通りである。

竪穴住居の「位置」は、その遺構が含まれる代表的なグリッドを記した。「方位」は、竈が付設された壁の真北からの角度を記した。「形状」は、方形･隅丸方形･長方形･隅丸長方形に分類して記した。「規模」は、遺構確認面の上端で計測した。「面積」は、上端でデジタルプラニメーターの３回計測した平均値を記した。「重複」は、重複する遺構の新旧関係を「旧→新」で示した。「埋土」は、全体的な傾向や特徴的なものについて記した。「貯蔵穴」「柱穴」の規模は、長軸×短軸×深さを計測した。その他の遺構についても住居に準じて記述した。

6．遺物写真の倍率は原則として遺物図の縮尺に近づけたが、この限りでない。

7．本書で使用した地図は下記のとおりである。

国土地理院　２万５千分の１地形図「大胡」「桐生」

５万分の１地形図「前橋」「高崎」「足利及桐生」「深谷」

20万分の１地勢図「宇都宮」

目　次

口絵
序
例言
凡例
本文目次
挿図目次
表目次
写真図版目次

第１章　発掘調査の概要
　１．発掘調査に至る経緯……1
　２．発掘調査の方法と経過……3
　３．基本土層……4

第２章　遺跡地の環境
　１．地理的環境……5
　２．歴史的環境……5

第３章　調査された遺構と遺物
　１．竪穴住居……9
　２．井戸……32
　３．土坑……36
　４．ピット群……67
　５．溝……72
　６．遺構外出土遺物……81

第４章　調査のまとめ……88

第５章　自然科学分析……90

報告書抄録
写真図版

挿　図　目　次

第1図　前道下遺跡位置図
第2図　北関東自動車道（伊勢崎～渋川）関連遺跡位置図
第3図　調査区及びグリッド設定図
第4図　基本土層
第5図　周辺遺跡位置図
第6図　1号住居
第7図　1号住居出土遺物
第8図　2号住居と出土遺物（1）
第9図　2号住居出土遺物（2）
第10図　3号住居（1）
第11図　3号住居（2）
第12図　3号住居出土遺物（1）
第13図　3号住居出土遺物（2）
第14図　4号住居（1）
第15図　4号住居（2）
第16図　4号住居出土遺物
第17図　5号住居（1）
第18図　5号住居（2）と出土遺物（1）
第19図　5号住居出土遺物（2）
第20図　6号住居（1）
第21図　6号住居（2）と出土遺物
第22図　7号住居（1）
第23図　7号住居（2）と出土遺物
第24図　1～3号井戸
第25図　4～6号井戸
第26図　7～9号井戸
第27図　10～12号井戸
第28図　20号土坑と出土遺物（1）
第29図　20号土坑出土遺物（2）
第30図　21号土坑と出土遺物
第31図　22・30号土坑と出土遺物（1）
第32図　30号土坑出土遺物（2）
第33図　31号土坑と出土遺物
第34図　33号土坑
第35図　33号土坑出土遺物
第36図　67号土坑
第37図　67号土坑出土遺物
第38図　71・72号土坑と出土遺物
第39図　73号土坑と出土遺物（1）
第40図　73号土坑出土遺物（2）
第41図　4・8～14号土坑
第42図　15～19・23～25号土坑
第43図　26・27・29・32・36号土坑
第44図　28・34・35・37～58号土坑
第45図　59～66・68号土坑
第46図　69・70・74～82号土坑
第47図　83～92号土坑
第48図　93～103号土坑
第49図　104～107・109～129・145・146号土坑
第50図　130～144・147～153号土坑
第51図　154・155・157～162・164・165号土坑
第52図　167～179号土坑
第53図　180～185・188～193号土坑
第54図　194～196・198～205号土坑
第55図　206・207・209～216号土坑
第56図　217～226号土坑
第57図　227～236号土坑
第58図　237～241・243～249号土坑
第59図　250～252・269・277～280号土坑
第60図　2区ピット群（1）
第61図　2区ピット群（2）
第62図　2～6・8号溝
第63図　9号溝
第64図　7・10～16・26号溝
第65図　17・27号溝
第66図　25号溝
第67図　29～33号溝
第68図　遺構外出土遺物（1）
第69図　遺構外出土遺物（2）
第70図　遺構外出土遺物（3）
第71図　遺構外出土遺物（4）
第72図　遺構外出土遺物（5）
第73図　遺構外出土遺物（6）
第74図　遺構外出土遺物（7）
第75図　遺構外出土遺物（8）
第76図　遺構外出土遺物（9）
第77図　古墳時代住居全体図
第78図　住居間接合遺物出土位置図

表　目　次

第1表　周辺遺跡一覧表
第2表　住居出土遺物観察表
第3表　土坑一覧表
第4表　2区ピット群一覧表
第5表　石器計測表
第6表　遺構外出土遺物（近世）一覧表
第7表　古墳時代住居計画値一覧表
第8表　住居間接合遺物一覧表

写　真　目　次

PL 1・1　調査区全景（東から）
PL 2・1　1号住居全景（西から）
　2　1号住居掘り方（西から）
　3　1号住居床面遺物出土状況（南から）
　4　1号住居貯蔵穴遺物出土状況（南から）
　5　1号住居竈全景（西から）
PL 3・1　2号住居全景（西から）
　2　2号住居掘り方（西から）
　3　2号住居遺物出土状況（西から）
　4　2号住居竈全景（西から）
　5　2号住居竈掘り方（西から）
PL 4・1　3号住居全景（西から）
　2　3号住居掘り方（西から）
　3　3号住居セクション（南から）
　4　3号住居遺物出土状況（北西から）
　5　3号住居貯蔵穴全景（南から）
PL 5・1　4号住居全景（西から）
　2　4号住居遺物出土状況（西から）
　3　4号住居掘り方（西から）
　4　4号住居竈使用面全景（西から）
　5　4号住居竈掘り方（西から）
PL 6・1　5号住居全景（東から）

2　5号住居掘り方（東から）
3　5号住居貯蔵穴（東から）
4　5号住居竈使用面全景（東から）
5　5号住居竈掘り方（東から）
PL 7 - 1　6号住居掘り方（西から）
2　6号住居全景（西から）
3　6号住居竈使用面全景（西から）
4　6号住居竈掘り方（西から）
5　7号住居全景（西から）
PL 8 - 1　1号井戸全景（南から）
2　2号井戸全景（南から）
3　4号井戸全景（南から）
4　5号井戸全景（南から）
5　6号井戸全景（南から）
6　7号井戸全景（南から）
7　8号井戸全景（南から）
8　10号井戸全景（北から）
PL 9 - 1　11号井戸全景（北から）
2　12号井戸全景（南から）
3　16号土坑全景（南から）
4　20号土坑遺物出土状況（南から）
5　21号土坑遺物出土状況（南から）
6　22号土坑遺物出土状況（南から）
7　23号土坑全景（南から）
8　24号土坑全景（南から）
PL10 - 1　25号土坑全景（南から）
2　26号土坑全景（東から）
3　27号土坑全景（南から）
4　28号土坑全景（南から）
5　29号土坑全景（南から）
6　30号土坑遺物出土状況（南から）
7　31号土坑全景（南から）
8　32号土坑全景（東から）
PL11 - 1　33号土坑遺物出土状況（南から）
2　34号土坑全景（南から）
3　35号土坑全景（南から）
4　36号土坑全景（東から）
5　37～58号土坑全景（南から）
6　38号土坑全景（南から）
7　59号土坑全景（南から）
8　60号土坑全景（南から）
PL12 - 1　61号土坑全景（南から）
2　62号土坑全景（南から）
3　63号土坑全景（南から）
4　64号土坑全景（南から）
5　65号土坑全景（南から）
6　66号土坑全景（東から）
7　67号土坑遺物出土状況（南から）
8　68号土坑全景（南から）
PL13 - 1　69号土坑全景（南から）
2　70号土坑全景（南から）
3　71号土坑全景（南から）
4　72号土坑遺物出土状況（南から）
5　73号土坑遺物出土状況（南から）
6　74号土坑全景（南から）
7　75号土坑全景（南から）
8　76号土坑全景（南から）
PL14 - 1　77号土坑全景（南から）
2　78号土坑全景（南から）
3　79・80号土坑全景（南から）
4　81号土坑全景（南から）
5　82号土坑全景（南から）
6　83号土坑全景（南から）
7　84号土坑全景（南から）
8　85・86号土坑全景（南から）
PL15 - 1　87号土坑全景（南から）
2　88号土坑全景（南から）
3　89号土坑全景（南から）
4　90号土坑全景（南から）
5　91号土坑全景（南から）
6　92号土坑全景（南から）
7　93号土坑全景（南から）
8　94号土坑全景（南から）
PL16 - 1　95号土坑全景（南から）
2　96号土坑全景（南から）
3　97号土坑全景（南から）
4　98～100号土坑全景（南から）
5　101号土坑全景（南から）
6　102号土坑全景（南から）
7　103号土坑全景（南から）
8　104号土坑全景（南から）
PL17 - 1　105号土坑全景（南から）
2　106号土坑全景（南から）
3　107号土坑全景（南から）
4　109～129号土坑全景（南から）
5　130～136号土坑全景（南から）
6　137～144号土坑全景（南から）
7　145号土坑全景（南から）
8　146号土坑全景（南から）
PL18 - 1　147号土坑全景（南から）
2　148号土坑全景（南から）
3　149号土坑全景（南から）
4　150号土坑全景（南から）
5　151号土坑全景（南から）
6　152号土坑全景（南から）
7　153号土坑全景（南から）
8　154号土坑全景（南から）
PL19 - 1　155号土坑全景（南から）
2　157号土坑全景（南から）
3　158号土坑全景（南から）
4　159号土坑全景（南から）
5　160号土坑全景（南から）
6　161号土坑全景（南から）
7　162号土坑全景（南から）
8　164号土坑全景（南から）
PL20 - 1　166号土坑全景（南から）
2　167号土坑全景（南から）
3　168号土坑全景（東から）
4　169号土坑全景（南から）
5　170号土坑全景（南から）
6　171号土坑全景（南から）
7　172号土坑全景（南から）
8　173号土坑全景（東から）
PL21 - 1　174号土坑全景（南から）
2　175号土坑全景（南から）
3　176号土坑全景（南から）
4　177号土坑全景（南から）
5　178号土坑全景（南から）
6　179号土坑全景（東から）
7　180号土坑全景（南から）
8　181号土坑全景（南から）
PL22 - 1　182号土坑全景（東から）
2　183号土坑全景（南から）
3　184号土坑全景（南から）

4　185号土坑全景（南から）
5　188号土坑全景（南から）
6　189号土坑全景（南から）
7　190号土坑全景（北から）
8　191号土坑全景（南から）
PL23・1　192号土坑全景（南から）
2　193号土坑全景（北から）
3　194号土坑全景（南から）
4　195号土坑全景（南から）
5　196号土坑全景（南から）
6　198号土坑全景（北から）
7　199号土坑全景（南から）
8　200号土坑全景（東から）
PL24・1　201号土坑全景（東から）
2　202号土坑全景（東から）
3　203号土坑全景（南東から）
4　204号土坑全景（東から）
5　205号土坑全景（西から）
6　206号土坑全景（東から）
7　207号土坑全景（南から）
8　208号土坑全景（南から）
PL25・1　210号土坑全景（南から）
2　211号土坑全景（南から）
3　212号土坑全景（南から）
4　213号土坑全景（西から）
5　214号土坑全景（南から）
6　215号土坑全景（南から）
7　216号土坑全景（南から）
8　217号土坑全景（南から）
PL26・1　218号土坑全景（南から）
2　219号土坑全景（北から）
3　220号土坑全景（西から）
4　221号土坑全景（東から）
5　222号土坑全景（西から）
6　223号土坑全景（西から）
7　224号土坑全景（南から）
8　225号土坑全景（南から）
PL27・1　226号土坑全景（西から）
2　227号土坑全景（南から）
3　228号土坑セクション（南から）
4　229号土坑全景（南から）
5　230・234・235号土坑全景（南東から）
6　231号土坑全景（南から）
7　232号土坑全景（南から）
8　233号土坑全景（南から）
PL28・1　236号土坑全景（西から）
2　237号土坑全景（南から）
3　238号土坑全景（西から）
4　239号土坑全景（西から）
5　240号土坑全景（南から）
6　241号土坑全景（西から）
7　243号土坑全景（南から）
8　244号土坑全景（南から）
PL29・1　245号土坑全景（南から）
2　246号土坑全景（南から）
3　247号土坑全景（南から）
4　248号土坑全景（南から）
5　249号土坑全景（南から）
6　250号土坑全景（南から）
7　252号土坑全景（東から）
8　269号土坑全景（南から）
PL30・1　277号土坑全景（南東から）
2　278号土坑全景（南から）
3　279号土坑全景（北西から）
4　280号土坑全景（南東から）
5　2号溝全景（南から）
6　4号溝全景（南から）
7　8号溝全景（南から）
8　9号溝全景（東から）
PL31・1　10号溝全景（北から）
2　13号溝全景（南から）
3　26号溝全景（西から）
4　16号溝全景（南から）
5　17号溝全景（南から）
PL32・1　25号溝全景（北から）
2　27号溝全景（西から）
3　29～33号溝全景（北から）
PL33　1～3号住居出土遺物
PL34　3号住居出土遺物
PL35　3～5号住居出土遺物
PL36　5～7号住居出土遺物
PL37　20～22・30号土坑出土遺物
PL38　30・31・33・67号土坑出土遺物
PL39　67・72・73号土坑出土遺物
PL40　73号土坑・遺構外出土遺物（1）
PL41　遺構外出土遺物（2）
PL42　遺構外出土遺物（3）

第１章　発掘調査の概要

1．発掘調査に至る経緯

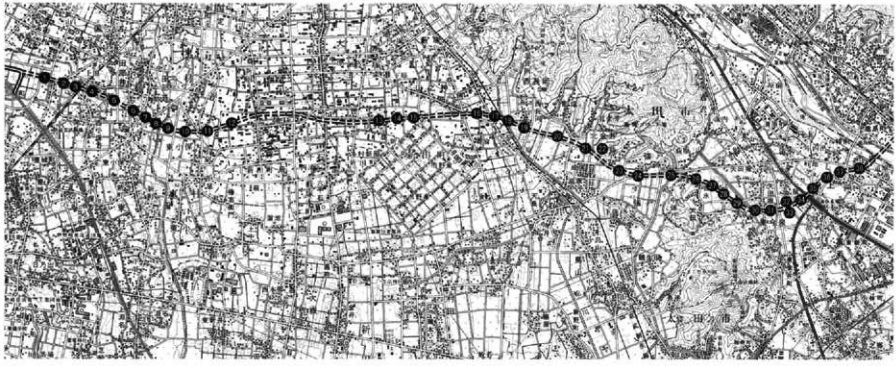
北関東自動車道関連埋蔵文化財発掘調査の計画の内、高崎・伊勢崎間14.9kmの現地調査を終了し、伊勢崎・群馬栃木県境間17.7kmについて発掘調査が開始されたのは平成12年度である。埋蔵文化財発掘調査が行われるまでには、平成８年、道路公団高崎工事事務所より伊勢崎以東の埋蔵文化財分布状況の問い合わせに応じ、群馬県教育委員会は埋蔵文化財分布状況の詳細確認を行うため、沿線の伊勢崎市・佐波郡東村・新田郡藪塚本町・太田市の２市１町１村に協力要請を行い遺跡の確認作業を行った。計画路線に関わる埋蔵文化財発掘調査は、県文化財保護課、県道路建設課高速道路対策室、日本道路公団が協議した結果、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が受託することとなった。平成12年８月から伊勢崎－県境間の現地調査は開始されることとなり、伊勢崎市と東村地区から調査を進める計画が提示された。平成13年度から調査が計画された前道下遺跡は、用地収去、工事工程等との関係において平成15年度までの期間で調査を行った。遺跡はローム台地末端にあり、小支谷が入り込み湧水地となっている。確認調査では古墳～平安時代の土器片と谷地では浅間Ｂ降下軽石層が確認できた。土器が出土することから集落が存在する可能性が指摘され、全面調査の計画が提示された。

発掘調査期間の設定については、群馬県教育委員会の調整により、日本道路公団東京建設局高崎工事事務所・群馬県土木部道路建設課・伊勢崎土木事務所・財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が協議を行い、発掘調査に着手することとした。

本線部分の調査とほぼ同時期に県側道である一般県道香林羽黒線も優先させる計画があり、併行して調査を進めることが調査の効率化・経費の削減に繋がることを考慮し、用地の引渡しを受けた調査対象地は本線と側道が同時に調査できるよう各機関に協力を求めた。その結果、基本的には進捗を図るために、各機関で協力することで承諾を得ることができた。こうしたことにより、残土を近接地で効果的に処理できた。また、交通安全対策も一部迂回路を設定することにより、順調に調査は進行した。本線と側道の調査範囲を広く確保でき、同一遺構を一回で調査できたことは合理的・計画的に調査を進めることができた。

報告書作成についても、資料として使い易くすることを目標の効率的な整理期間と経費削減を考慮した計画立案を行い、関係機関と協議し、承諾を得て本線・側道を取り込んだ事業実施を行ってきた。

第１図　前道下遺跡位置図



第２図　北関東自動車道（伊勢崎～県境）関連遺跡位置図　0　5km

番号	KT	遺跡名	所在地（調査時）
1	340	書上遺跡	伊勢崎市三和町
2	350	天ヶ堤遺跡	伊勢崎市三和町
3	360	大上遺跡	佐波郡東村西小保方・上田
4	370	前道下遺跡	佐波郡東村上田
5	380	塚下遺跡	佐波郡東村上田
6	390	上柳宮遺跡	佐波郡東村東小保方
7	400	遠西遺跡	佐波郡東村田部井
8	410	下元屋敷遺跡	佐波郡東村田部井
9	420	下田遺跡	佐波郡東村田部井
10	430	南原囲遺跡	佐波郡東村田部井
11	440	下大久保遺跡	佐波郡東村田部井
12	450	大久保廃寺遺跡	新田郡薮塚本町大久保
13	510	大原百石遺跡	新田郡薮塚本町大原
14	520	山ノ神野田遺跡	新田郡薮塚本町山ノ神
15	530	山ノ神南側遺跡	新田郡薮塚本町山ノ神
16	540	薮塚西野原遺跡	新田郡薮塚本町薮塚
17	550	西長岡横塚古墳群	太田市西長岡町
18	560	鳥谷戸遺跡	太田市西長岡町
19	570	西長岡宿遺跡	太田市西長岡町
20	580	管塩遺跡群	太田市管塩町
21	590	成塚遺跡群	太田市成塚町
22	600	成塚向山古墳群	太田市成塚町・北金井町
23	610	大鷲遺跡群	太田市大鷲町
24	620	上強戸遺跡群	太田市強戸町
25	630	峯山遺跡	太田市強戸町字峯山
26	640	萩原遺跡	太田市緑町
27	650	古氷桑原水田跡	太田市緑町
28	660	二の宮遺跡	太田市緑町
29	670	八ヶ入遺跡	太田市緑町・東今泉町
30	680	大道西遺跡	太田市東今泉町
31	690	大道東遺跡	太田市東今泉町
32	700	茶前遺跡	太田市只上町
33	710	鹿島浦遺跡	太田市東今泉町
34	720	向矢部遺跡	太田市只上町
35	730	矢部遺跡	太田市只上町
36	740	只上深町遺跡	太田市只上町
37	750	新島遺跡	太田市只上町
38	760	道原遺跡	太田市只上町

2．発掘調査の方法と経過

調査にあたってのグリッド設定は、国家座標Ⅸ系（2002. 4改正前の日本測地系）を用い、10mを基準とした。各グリッドの名称は、X軸・Y軸ともに座標値の下3桁のみを表記している。一例としてX＝38,650、Y＝－53,200の場合、650－200となる。調査区の名称は、北関東自動車道（以下「本線」）部分はローマ数字のⅠ区からⅤ区を設定し、（一）香林羽黒線（以下「側道」）部分はアラビア数字の1区から5区を設定した。遺構の名称は、本線、側道に関係なく遺構の種類別にアラビア数字を用いて通番とした。1号住居、25号溝などである。

平成13年度　本線は、Ⅰ区からⅣ区の調査を実施した。全調査区で、圃場整備や畑の耕作などの影響のため撹乱が激しく、ローム層上位まで削平されていた。確認された遺構は、縄文時代の土坑、古墳時代後期の住居跡などである。また、南側谷地部における水田と想定された地点については、調査の結果、As－Bの堆積は見られたものの、水田としての痕跡は確認できなかった。ローム層が確認された地点では試掘を行った。Ⅳ区では2000点以上の礫片及び石器等が出土した。

側道は4区を調査し平安時代の住居1軒を確認した。旧石器の調査では4ブロックで礫及び剥片等を1000点以上確認した。

平成14年度　本線はⅠ・Ⅱ区の一部の調査を実施した。前年度の調査と同様に撹乱が著しく、一部ではローム暗色帯付近まで削平が進んでいた。Ⅰ区は今日まで水田として使用されており、多数の暗渠排水が設けられている。この排水の設置工事により広く撹乱を受けていたため、遺構は確認できなかった。

側道は、ローム上層での調査を行った。3区では古墳時代後期の住居跡を5軒確認した。また旧石器の調査では1～3区で石器及び剥片を確認した。1区の西側からは700点を超える剥片が出土した。

平成15年度　本線Ⅰ区の一部及びⅤ区の調査を実施した。調査前は住宅であったため撹乱が進んでおり、遺構は少ない。旧石器の調査では、剥片1500点以上が出土した。Ⅴ区では近世の道跡と思われる溝が確認され、7月にすべての調査を終了した。

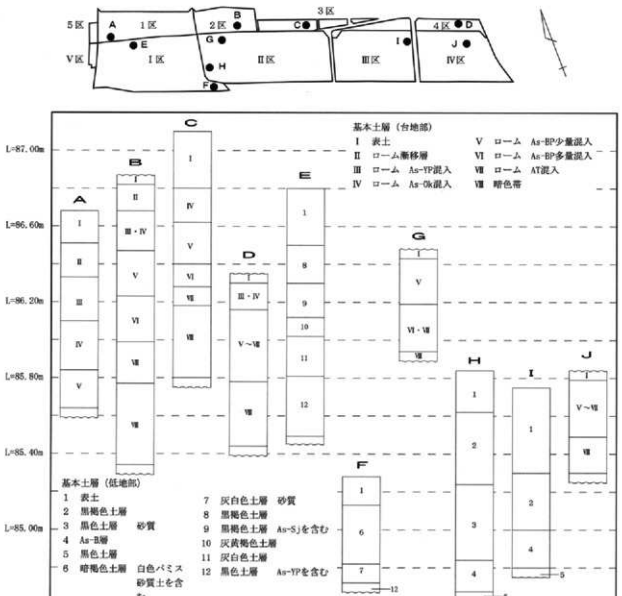
第3図　調査区及びグリッド設定図

３．基本土層

前道下遺跡は、台地部と低地部が入り組んでいる。大まかに区分すると側道部と本線の北側が台地、それ以外は低地となる。明治初期の地引絵図には、谷から大小の水路が数多く流れている様子が記録されている。

本遺跡は表土が非常に浅く、台地部では耕作や撹乱がローム上面にまで及んでいるため、Ｉ区の一部を除いて１面調査のみである。遺存状況の悪い地点ではAs-BP層あたりまで削平されている状況である。（台地部のテフラの詳細については、旧石器編に掲載する予定）

低地部においてはAs-Bの堆積が確認できる。１区と３区では谷頭を確認した。下記の基本土層図は、各区での遺構の調査をもとに模式化したものである。低地部のローム中に含まれるテフラについての詳細は、第５章の自然科学分析を参照されたい。



第４図　基本土層

第２章　遺跡地の環境

１．地理的環境

前道下遺跡は、群馬県南部の伊勢崎市上田町に所在する。旧佐波郡東村の西部にあたり、北は旧赤堀町、西は旧伊勢崎市と接している。南方には国道17号バイパスの上武道路、西方には三和工業団地が開発された。北関東自動車道の建設と併せ、この地域一帯は多くの遺跡の発掘調査が実施されている。

伊勢崎市の地形は、赤城山斜面台地・大間々扇状地・前橋台地・伊勢崎台地・広瀬川低地帯に分けられる。市域の大半は平坦地形を成し、北東部には赤城山頂の小沼を水源とする粕川が南流する。中央部には広瀬川が南東流し、地質的にはこの広瀬川を境に左岸が洪積台地に、右岸は沖積台地に大別されている。

前道下遺跡の位置する上田町は、赤城山南麓に接する大間々扇状地上に立地する。大間々扇状地は、みどり市大間々町を扇央部として渡良瀬川によって形成された、東西約13kmの扇状地である。この扇状地は、現在の粕川から早川に挟まれた範囲の桐原面と、早川から渡良瀬川に挟まれた藪塚面から構成されている。これらの段丘面は、礫層の上位に堆積したテフラ分析から、桐原面は約５万年前、藪塚面は約２万数千年前に段丘化したと考えられている。

上田町は大間々扇状地桐原面の西南端部に位置し、洪積台地縁辺の標高90m付近には、「あまが池」・「男井戸」・「角弥清水」・「谷地清水」など多くの湧水点が存在していた。しかし、昭和50年代の土地改良事業により湧水点の多くは埋め立てられ、現在もその姿をとどめているのは「あまが池」のみである。湧水点の下流には、小河川の開析作用によりローム台地に幾筋かの低地が形成されている。これらの低地に挟まれた格好になるローム台地上には数多くの集落や墳墓が分布している。

２．歴史的環境

前道下遺跡は、旧石器時代から近世にまたがる複合遺跡である。遺跡の所在する伊勢崎市上田町周辺は大規模な開発がおこなわれ、それに伴う発掘調査により周辺の歴史的環境が明らかになりつつある。そこで、この地域の各時代の様相を、調査された遺跡をもとに概観したい。

旧石器時代

近年の大規模な開発に伴う調査により、本遺跡周辺では旧石器時代の石器の出土例が増加している。「男井戸」湯水地の右岸台地上の舞台遺跡および三和工業団地Ⅰ遺跡では、As-YP下のロームから細石刃・細石刃核が出土している。また、AT下の暗色帯からはナイフ形石器や剥片が出土している。三和工業団地Ⅲ・Ⅳ遺跡においても、AT下の暗色帯からナイフ形石器、スクレイパーなどが出土している。書上本山遺跡では、上部ローム層の浅間板鼻褐色軽石混入層の中位から暗褐色ローム層（暗色帯）の上位にかけて安山岩、頁岩を主体とするナイフ形石器、石核などが出土、「角弥清水」湯水点の西側台地上の光仙房遺跡では、As-OPからAs-BPにかけての層位より黒曜石槍先形尖頭器が出土した。

また、あまが池湯水地の両側の台地でも旧石器の出土例が増えている。本遺跡をはじめ、書上遺跡、天ヶ堤遺跡、大上遺跡、塚下遺跡など石器や礫群が出土している。大間々扇状地桐原面縁辺の湧水点を中心に旧石器時代の人々の生活が営まれていたことが推測できる。

縄文時代

草創期および早期の遺跡は希薄である。草創期に属すると考えられる石器が２点出土した光仙坊遺跡がある。早期の遺跡としては、撚糸文系や条痕文系の土器が出土した書上本山遺跡、押型文系の土器が出土した書上吉祥寺遺跡などがあげられる。また、粕川右岸に位置する五目牛清水田遺跡では前期初頭

の花積下層式期の住居跡が６軒確認されている。

前期後半の遺跡は、舞台遺跡、三和工業団地Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ遺跡であり、諸磯ａ～ｃ期の住居が確認された。いずれの遺跡も「男井戸」と「角弥清水」湧水点に挟まれたローム台地上に位置する。大上遺跡においても諸磯期の住居跡が調査されている。

「あまが池」湧水点の谷頭に位置する三和工業団地Ⅱ遺跡では、中期中葉から後期前半にかけての住居跡が150軒以上確認されている。出土土器は、阿玉台式・勝坂式・加曽利式・称名寺式・堀之内式などで中期後半の土器がもっとも多い。また、天ヶ堤遺跡でも、ほぼ同時期の住居跡約80軒が調査されている。中期の遺跡は、他に鯉沼東遺跡、中西原遺跡、塚下遺跡などがあげられる。

後期の遺構が確認されたのは上植木光仙坊遺跡で、堀之内１式の埋設土器が出土した。また、五目牛清水田遺跡の包含層からは、称名寺、堀之内１・２、加曽利Ｂ式の土器が出土している。

弥生時代

本遺跡周辺では現在のところ、弥生時代の遺跡は確認されていない。三和工業団地遺跡群からわずかに樽系および赤井戸系の土器片が確認されている。

古墳時代

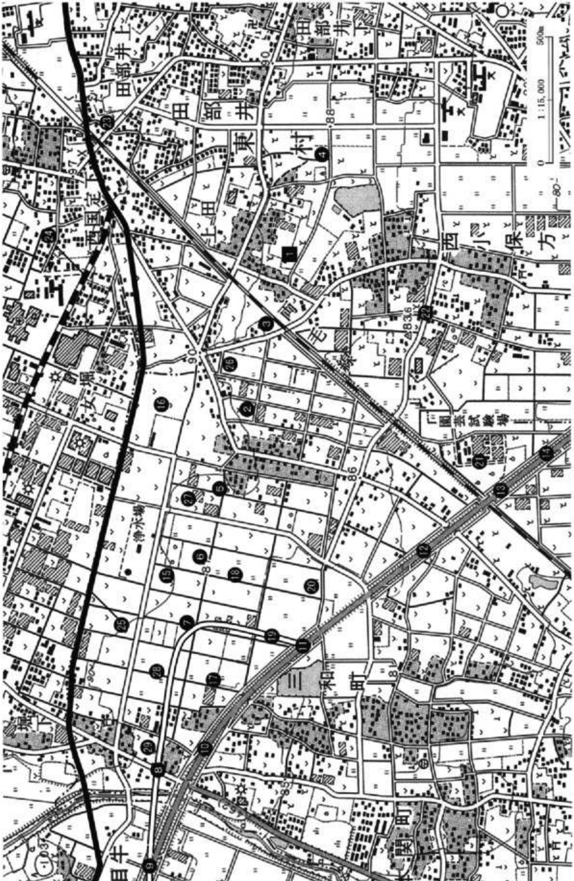
古墳前期になると東海地方西部の文化の影響を受けた集落が飛躍的に展開する。舞台遺跡、三和工業団地Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ遺跡からは、Ｓ字状口縁台付甕を伴う住居跡が約300軒確認されている。この集落の墓域と考えられる前方後方形周溝墓および方形周溝墓も同時に調査され、総数は30基である。また、台地周辺の光仙坊、鯉沼東遺跡からも少数ではあるが住居跡が確認された。天ヶ堤遺跡・塚下遺跡でも前期の集落が調査されている。

中期は遺跡数が減少し、上植木壱町田遺跡、鯉沼東遺跡などで住居跡が数軒確認されているのみである。

古墳時代後期の遺跡としては、大規模な豪族居館と推定されている原之城遺跡があり、この地域で中心的な位置を占めていたと考えられている。集落は、前期とほぼ同じローム台地上の舞台遺跡、三和Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ遺跡から120軒以上の住居跡が確認されている。鯉沼東遺跡、下植木壱町田遺跡、天ヶ堤遺跡、塚下遺跡などでも住居跡が調査されている。特殊な遺構として光仙坊遺跡で粘土採掘坑が検出され、坑内からは一木平鋤・曲柄平鋤などの木製品が出土している。後期の古墳としては、粕川左岸に本関町古墳があり、その一部は光仙坊遺跡、上植木光仙坊遺跡として調査されている。

奈良・平安時代

この時期の注目すべき遺構は、須恵器窯である。舞台遺跡で11基、光仙坊遺跡12基、三和工業団地Ⅲ遺跡２基で調査された。窯群の周辺には集落が展開し、光仙坊遺跡、上植木光仙坊遺跡、舞台遺跡、三和工業団地Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ遺跡の住居跡を合計すると400軒以上になり、その多くは９～10世紀代のものである。奈良・平安時代の住居跡は、田部井大根谷戸遺跡、塚下遺跡でも報告されている。また、書上上原之城遺跡では、掘立柱建物群とともに八稜鏡が出土している。三和工業団地Ⅱ遺跡では、推定佐位郡馬房および大溝が調査されている。同規模の溝が田部井大根谷戸遺跡でも報告されている。また、本遺跡の北700mには12世紀初頭に掘削された大用水路、女堀が存在する。



第5図　周辺遺跡位置図

第１表　周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	遺跡の概要	主な文献
1	前道下遺跡	旧石器、縄文中期土坑、古墳後期住居跡、平安住居跡	本報告書
2	天ヶ堀遺跡	旧石器、縄文中期～後期住居跡、古墳前期・後期住居跡、平安住居跡	『天ヶ堀遺跡（1）』　群埋文 2007
3	大上遺跡	旧石器、縄文前期住居跡	『年報 22』他　群埋文 2003
4	堀下遺跡	旧石器、縄文中期住居跡、古墳前期～奈良・平安住居跡	『堀下遺跡（1）』　群埋文 2006
5	書上遺跡	旧石器、古墳後期住居跡	『年報 22』他　群埋文 2003
6	大井戸遺跡	溜井跡、溝	『大井戸遺跡』　群埋文 2005
7	舞台遺跡	旧石器、縄文前期住居跡、古墳前期周溝墓・住居跡、古墳後期住居跡、奈良・平安住居跡、平安頃悪器窯跡	『舞台遺跡（1）～（3）』　群埋文 2001・2004・2005
8	光仙坊遺跡	旧石器、古墳前期・後期住居跡、古墳後期粘土採掘坑、平安住居跡・須恵器窯跡、水路他	『光仙坊遺跡』　群埋文 2003
9	五目牛清水田遺跡	縄文前期住居跡、古墳前期住居跡、前方後方墳、奈良住居跡、水田他	『五目牛清水田遺跡』　群埋文 1993
10	上植木光仙坊遺跡	旧石器、古墳、平安住居跡	『上植木光仙坊遺跡』　群埋文 1988
11	上植木壱町田遺跡	古墳中期住居跡、平安住居跡、中世井戸	『上植木壱町田遺跡』　群埋文 1988
12	書上本山遺跡	旧石器、古墳後期住居跡、平安住居跡	『書上本山遺跡』　群埋文 1992
13	書上上原之城遺跡	奈良・平安住居跡、掘立柱建物	『書上上原之城遺跡』　群埋文 1988
14	書上吉祥寺遺跡	縄文前期住居跡、古墳後期住居跡、平安住居跡、掘立柱建物	『書上吉祥寺遺跡』　群埋文 1988
15	三和工業団地Ⅰ遺跡	旧石器、縄文前期住居跡、古墳前期住居跡・周溝墓、古墳後期住居跡、奈良・平安住居跡・須恵器窯跡、中世馬房他	『三和工業団地Ⅰ遺跡（1）（2）』群埋文 1999
16	三和工業団地Ⅱ遺跡	縄文中期～後期住居跡、中世馬房他	『三和工業団地Ⅱ遺跡』伊勢崎市教委 2004
17	三和工業団地Ⅲ遺跡	旧石器、古墳前期周溝墓・住居跡、古墳後期住居跡、奈良・平安住居跡・須恵器窯跡	『三和工業団地Ⅲ遺跡』伊勢崎市教委 2004
18	三和工業団地Ⅳ遺跡	旧石器、縄文前期住居跡、古墳前期・後期住居跡、奈良・平安住居跡・掘立柱建物	『三和工業団地Ⅳ遺跡』伊勢崎市教委 2004
19	下植木壱町田遺跡	旧石器、古墳前期・中期・後期住居跡、平安住居跡、中近世館跡	『下植木壱町田遺跡』群埋文 1999
20	蟹沼東遺跡	縄文中期住居跡、古墳前期・後期住居跡、平安住居跡他	『蟹沼東遺跡・舞台遺跡』　伊勢崎市教委 1977
21	県園芸試験場遺跡	奈良・平安住居跡、掘立柱建物他	『県園芸試験場第二遺跡・下江田前遺跡』　県教委 1974
22	中西原遺跡	縄文中期住居跡、古墳後期住居跡	『東村誌』
23	田部井大根谷戸遺跡	古代大堀、奈良・平安住居	『田部井大根谷戸遺跡』群埋文 2002
24	女堀	中世形水遺構	『女堀』群埋文 1984
25	あずま道		『伊勢崎市史　通史編１』
26	あまが池		
27	男井戸		
28	角弥清水		
29	谷地清水		

第３章　調査された遺構と出土遺物

1．竪穴住居

１号住居（第６・７図　PL ２・33）

位置　710－265　　**方位**　N－13°－W

形状　隅丸方形。

規模　3.98m×3.96m　**面積**　15.97㎡

重複　なし。

床面　確認面から35cm下に、貼床を確認した。凹凸は少なく平坦である。北西隅に炭化物、竈の北側に灰が認められた。

周溝　なし。

竈　東壁面の中心からやや南寄りに位置する。遺存状況は良好で、確認長109cm、燃焼部幅26cm。

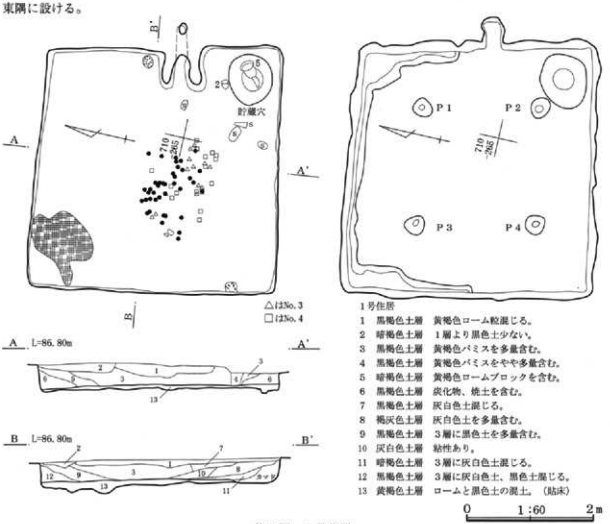
貯蔵穴　形状は楕円形。79×79×36cm の規模で南東隅に設ける。

柱穴　ピットを４基確認した。Ｐ１は 33×28×21cm、Ｐ２は 35×30×14cm、Ｐ３は 32×27×8cm、Ｐ４は 31×30×14cmである。

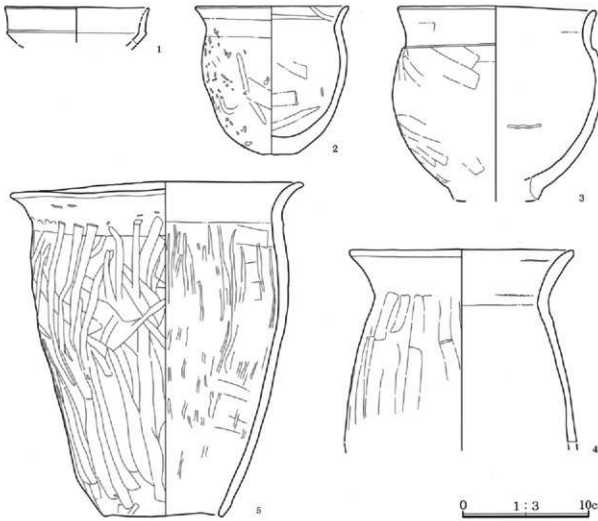
掘り方　床面から概ね４cm下で掘り方面となる。東西壁の北半分と北壁に幅24～41cm、深さ4cm の落ち込みを確認した。

遺物　貯蔵穴から土師器坏（１）と完形の甑（５）が出土した。貯蔵穴北からは小型甕（２）が、住居のほぼ中央から甕（３・４）が細片の状態で出土している。図示した遺物のほかに土師器坏片３点、土師器甕片33点が出土し、住居の中央に集中している。（観 P.28）

所見　出土遺物から古墳時代後期の住居であると思われる。



第６図　１号住居



第７図　１号住居出土遺物

２号住居（第８・９図　PL ３・33）

位置　665－095　　方位　N－0°

形状　隅丸長方形。

規模　2.47m×2.26m　**面積**　5.71㎡

重複　なし。

床面　確認面から30cm下に貼床を確認した。床面はやや起伏を有する。西壁付近は貼床が存在せず、ローム地山をそのまま床面とする。

周溝　なし。

竈　東壁面の中心からやや南寄りに位置する。両袖には芯材として礫が使われていた。確認長64cm、燃焼部幅27cm。

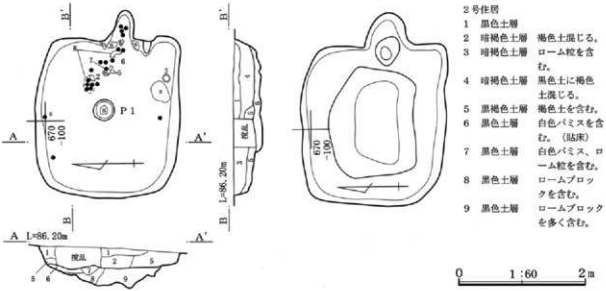
貯蔵穴　なし。

柱穴　住居の中央やや東寄りに34×32×5cmのピットが１基存在する。

掘り方　床面から10～30cm下で掘り方面となる。中央部分に167×136×17cmの土坑状の落ち込みを確認した。

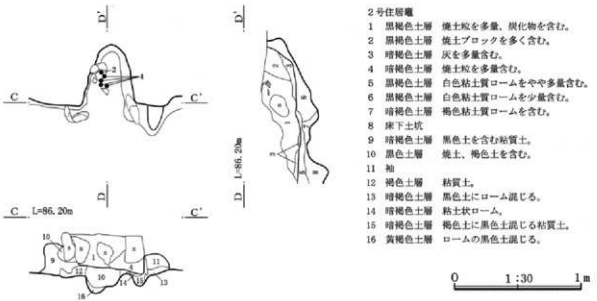
遺物　竈からは土師器坏（１）と台付甕（４）が出土している。床直上から出土した遺物は少なく、台付甕（５）、甕（６～８）は竈付近の埋土から出土した。土師器坏（２）は墨書土器で、「本」の文字が確認できた。図示した遺物のほかに土師器甕片34点が出土した。（観 P.28）

所見　出土遺物から９世紀中葉の住居であると思われる。



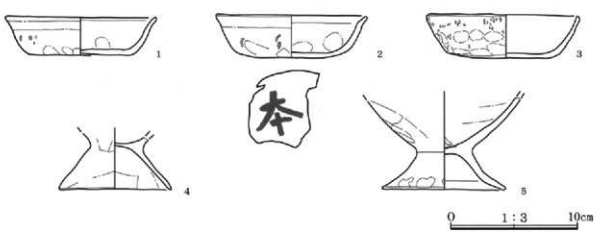
2号住居

1　黒色土層
2　暗褐色土層　褐色土混じる。
3　暗褐色土層　ローム粒を含む。
4　暗褐色土層　黒色土に褐色土混じる。
5　黒褐色土層　褐色土を含む。
6　黒色土層　白色パミスを含む。（貼床）
7　黒色土層　白色パミス、ローム粒を含む。
8　黒色土層　ロームブロックを含む。
9　黒色土層　ロームブロックを多く含む。

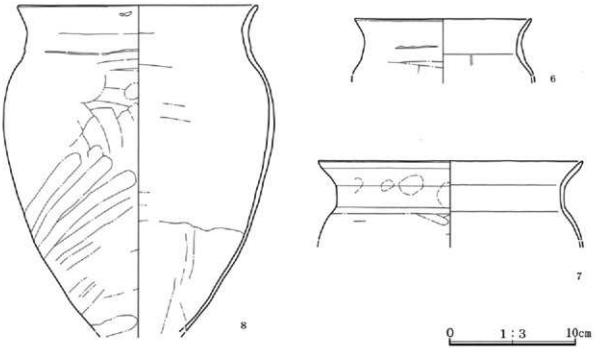


2号住居竈

1　黒褐色土層　焼土粒を多量、炭化物を含む。
2　黒褐色土層　焼土ブロックを多く含む。
3　暗褐色土層　灰を多量含む。
4　暗褐色土層　焼土粒を多量含む。
5　黒褐色土層　白色粘土質ロームをやや多量含む。
6　黒褐色土層　白色粘土質ロームを少量含む。
7　暗褐色土層　褐色粘土質ロームを含む。
8　床下土坑
9　暗褐色土層　黒色土を含む粘質土。
10　黒色土層　焼土、褐色土を含む。
11　袖
12　褐色土層　粘質土。
13　暗褐色土層　黒色土にローム混じる。
14　暗褐色土層　粘土状ローム。
15　暗褐色土層　褐色土に黒色土混じる粘質土。
16　黄褐色土層　ロームの黒色土混じる。



第8図　2号住居と出土遺物（1）



第９図　２号住居出土遺物（２）

３号住居（第10～13図　PL ４・33・34・35）

位置　715－220　　**方位**　N－33°－W

形状　北壁より南壁が1.17m長い台形状を呈する。

規模　5.15×4.80m　**面積**　22.96㎡

重複　なし。

埋土　３～７層はロームを多量に含み、住居の西壁側から流入している。３号住居から南西に約1.8mの位置に４号住居が存在しており、この住居の掘削土である可能性が考えられる。

床面　確認面から34cm下に貼床を確認した。凹凸はほとんどなく平坦である。

周溝　竈を除き全周する。規模は概ね幅16cm、深さ10cmである。

竈　東壁面の中心からやや南寄りに位置する。袖材として礫を用いず、灰褐色の粘質土で構築されていた。確認長134cm、燃焼部幅29cm。

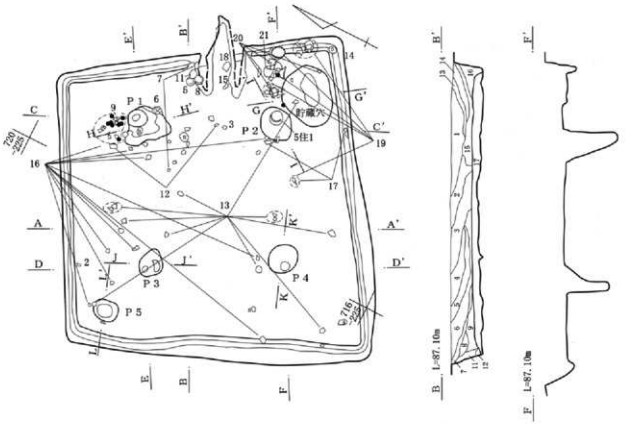
貯蔵穴　形状は隅丸方形。97×58×67cm の規模で南東隅に設ける。

柱穴　ピットを５基確認した。Ｐ１は61×59×87cm、Ｐ２は53×47×84cm、Ｐ３は51×28×85cm、Ｐ４は53×42×78cm、Ｐ５は39×33×20cmである。

掘り方　床面から10～19cm下で掘り方面となる。住居の中央部分は周辺部より約５cm高く掘り残す。Ｐ４の西側はもっとも深く掘り込まれていた。

遺物　竈の両端とＰ１付近に集中している。竈から土師器甕（15･18）が出土している。土師器坏（５･８･11）は竈の北側袖付近からまとまって出土した。土師器壺（14）と土師器甕（19）は住居の南東隅から、土師器壺（20）は竈南の床直上から出土した。土師器坏（６・９）はＰ１付近から出土した。土師器甕（16）は住居の床直上および＋２cm の範囲で細片の状態で出土している。Ｐ２から出土した須恵器坏は、５号住居の貯蔵穴から出土した同様の破片（５号住居 No.1）と接合した。また、磨石（21）の下半分は５号住居の竈袖付近から出土したものと接合している。図示した遺物のほかに土師器坏片18点、土師器甕片15点が出土した。（観 P.29）

所見　出土遺物から古墳時代後期の住居であると思われる。

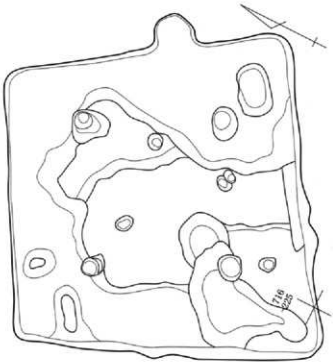


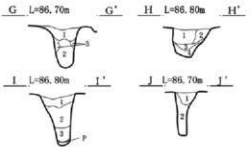
3号住居

1	暗褐色土層	ローム粒、炭、炭化物、FAを微量含む。
2	褐色土層	ローム粒少量。
3	黄褐色土層	ロームブロック主体。
4	暗褐色土層	ロームブロック、FAを微量含む。
5	黒褐色土層	ローム粒、FAを微量含む。
6	暗褐色土層	ロームブロック少量、FAを微量含む。
7	黒褐色土層	ローム粒、FAを微量含む。
8	暗褐色土層	ローム粒を微量含む。
9	暗褐色土層	ロームブロックを少量含む。
10	黒褐色土層	ロームブロックを少量含む。
11	暗褐色土層	ローム粒を微量含む。
12	暗褐色土層	ロームブロックを含む。
13	暗褐色土層	ローム粒をごく微量含む。
14	褐色土層	ローム粒をごく微量含む。
15	暗褐色土層	黒褐色土、ロームブロック、灰を少量含む。
16	暗褐色土層	ローム粒、灰を少量含む。
17	黄褐色土層	ロームブロック主体土。（貼床）

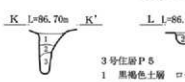
0　1:60　2m

第10図　3号住居（1）



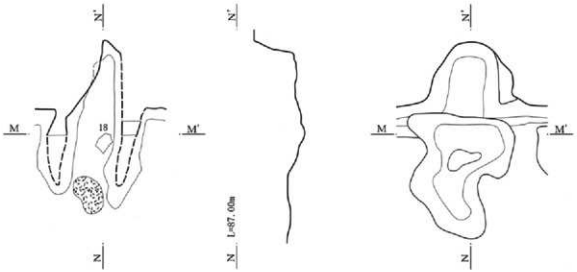


３号住居貯蔵穴
1　暗褐色土層　ロームブロックを少量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
3　褐色土層　ローム粒・ブロックを多量含む。
３号住居Ｐ１
1　褐色土層　ローム粒・ブロックを多量含む。
2　褐色土層　ロームブロックを多量含む。
3　黒褐色土層　ローム粒を少量含む。
4　暗褐色土層　ローム粒を多量、ロームブロックを含む。
３号住居Ｐ２
1　黄褐色土層　暗褐色土を少量含む。
2　暗褐色土層　ロームブロックを多量含む。
3　暗褐色土層　ローム粒を微量含む。
３号住居Ｐ３
1　暗褐色土層　ロームブロックを含む。
2　暗褐色土層　ロームブロックを多量含む。
３号住居Ｐ４
1　暗褐色土層　ロームブロック、黒褐色土を少量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒をやや多量含む。
3　黒褐色土層　ローム粒を多量含む。



３号住居Ｐ５
1　黒褐色土層　ローム粒微量含む。
2　黄褐色土層　ロームブロック主体土。

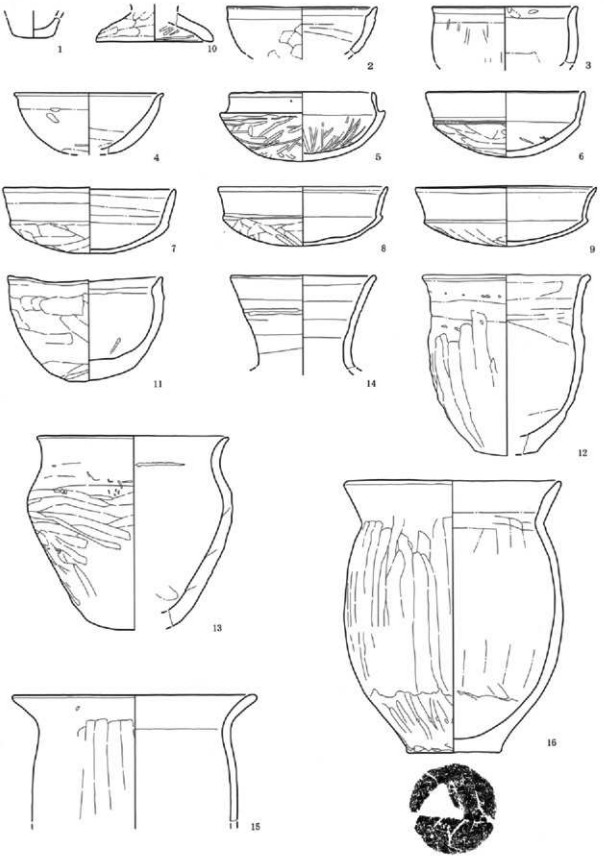
0　1:60　2m



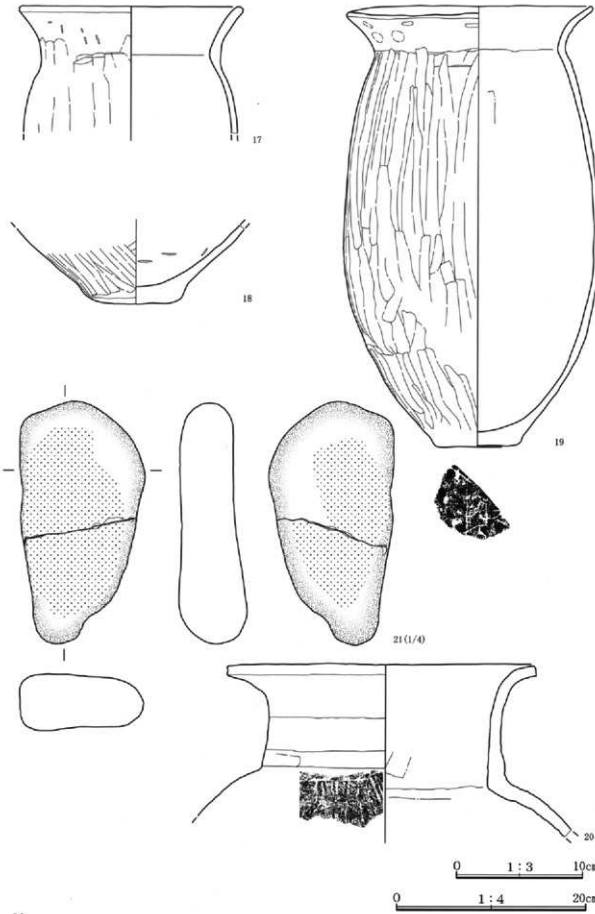
３号住居竈
1　暗褐色土層　ローム・灰色粘土ブロック少量含む。
2　灰褐色土層　ローム・灰色粘土・焼土ブロックやや多量含む。
3　赤褐色土層　焼土層。
4　灰褐色土層　ローム・灰色粘土・焼土ブロックをやや多量含む。
5　暗褐色土層　ロームブロック、焼土粒を微量含む。

0　1:30　1m

第11図　３号住居（２）



第12図　３号住居出土遺物（１）



第13図　３号住居出土遺物（２）

4号住居（第14～16図　PL 5・35）

位置　715－230　3号住居、5号住居のほぼ中間に位置する。

方位　N－26°－W

形状　隅丸方形。

規模　4.98×5.06m　　**面積**　25.15㎡

重複　4号住居→16号溝

床面　確認面から57cm下にロームを主体とした貼床を確認した。凹凸はほとんどなく平坦で固く締まる。

周溝　竈を除き全周する。規模は概ね幅13cm、深さ7cmである。

竈　東壁面の中心からやや南寄りに位置する。礫、土器等の芯材は認められず、灰褐色粘質土が用いられていた。遺存状態は比較的良好であり、燃焼部の袖壁粘土が焼土化していた。また12層土は天井部が竈前面へ崩落したものと思われる。確認長134cm、燃焼部幅26cm。

貯蔵穴　97×75×66cmの規模で南東隅に設ける。形状は楕円形である。

柱穴　ピット4基を確認した。住居のほぼ対角線上に位置する。P 1は70×59×57cm、P 2は58×40×69cm、P 3は65×42×56cm、P 4は60×41×55cmである。

掘り方　床面から13～27cm下で掘り方面となる。住居の中央部分は周辺部より概ね15cmほど高く掘り残している。

遺物　住居の北東隅および竈付近に遺物が集中するが、ほとんどは破片資料である。土師器坏（1）・鉢（8）・甑(15)は住居の北東隅の埋土から出土した。坏（1）は3号住居の埋土出土の破片と接合している。床直上からは土師器坏（2・3・4・5・7）、土師器甕（9・12）が出土した。図示した遺物のほかに土師器坏片60点、土師器甕片111点が出土した。（親P.30）

所見　出土遺物から古墳時代後期の住居であると思われる。

5号住居（第17～19図　PL 6・35・36）

位置　710－235　**方位**　N－25°－W

形状　隅丸長方形。

規模　4.74×3.61m　　**面積**　17.48㎡

重複　なし。

床面　確認面から64cm下に貼床を確認した。凹凸はほとんどなく平坦である。

周溝　竈を除き全周する。規模は概ね幅8cm、深さ7cmである。

竈　本遺跡の住居のうち唯一西壁面に竈を有する。西壁面の中心からやや南寄りに位置し、遺存状況は良好である。礫、土器等の芯材は認められないが、袖部、燃焼部壁、煙道部に灰色粘質土が丁寧に貼り付けられていた。確認長134cm、燃焼部幅26cm。

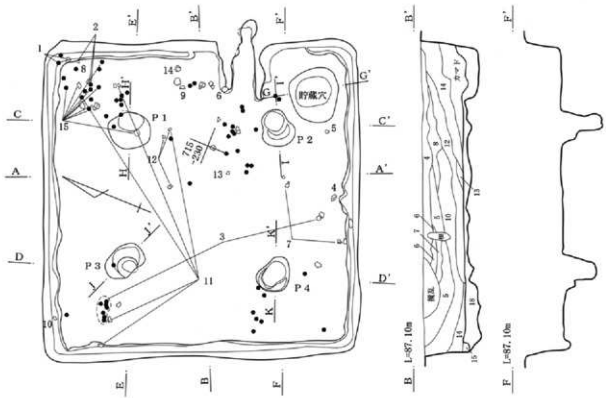
貯蔵穴　77×65×87cmの規模で北西隅に設ける。形状は隅丸長方形である。貯蔵穴の南側と東側はL字状の高まりが確認できた。床面よりも5cmほど高く、貯蔵穴の蓋に関連する施設であると考えられる。

柱穴　ピット2基を確認した。住居の長軸に平行して位置する。P 1は23×16×44cm、P 2は26×23×41cmである。

掘り方　床面から2～3cm下で掘り方面となる。南東隅は土坑状に20cmほど掘り込まれていた。また、P 2から東壁に向かってL字状の溝および南壁に向かう溝を確認した。

遺物　他の住居に比べ遺物は少ない。貯蔵穴から須恵器坏（1）、土師器甕（6）が出土した。坏（1）の1/2は3号住居P 2から出土したものである。床直上から坏（4）が、竈からは甑（7）が出土している。また、竈袖付近から出土したすり石は3号住居から出土したものと接合した（3号住居No.21）。図示した遺物のほかに土師器坏片29点、土師器甕片46点が出土した。（親P.30・31）

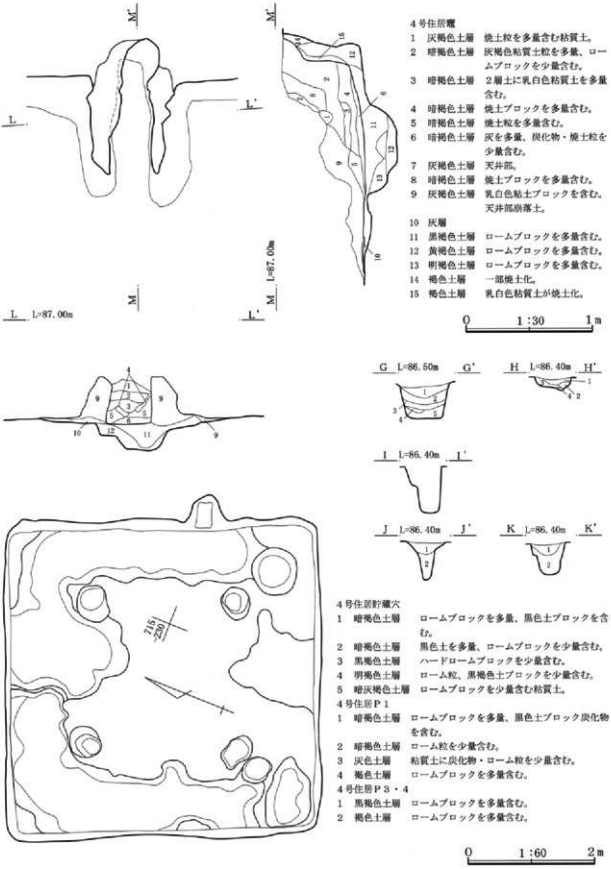
所見　出土遺物から古墳時代後期の住居であると思われる。



4号住居

1	暗褐色土層	FA、ローム粒、黒褐色土ブロックを含む砂質土。
2	褐色土層	ロームブロックを多量、ローム粒を少量含む。
3	暗褐色土層	ローム粒・ブロックを少量含む。
4	褐色土層	FA、ロームブロックを含む砂質土。
5	褐色土層	ロームブロックを多量、黒褐色土を少量含む。
6	褐色土層	ロームブロック・黒褐色土を少量含む。
7	暗褐色土層	ロームブロックを多量、黒褐色土を少量含む。
8	暗褐色土層	ローム粒・ブロックを少量、FAを微量含む。
9	暗褐色土層	ローム粒を少量、FAを微量含む。
10	暗褐色土層	ロームブロックを多量、黒褐色土を少量含む。
11	褐色土層	ローム粒・ブロックを少量含む。
12	褐色土層	ロームブロックを多量、ローム粒を少量含む。
13	暗褐色土層	ロームブロックを多量、ローム粒・黒褐色土を少量含む。
14	黒褐色土層	ローム漸移層土ブロックを多量、ロームブロックを少量含む。
15	暗褐色土層	ロームブロックを少量含む。
16	暗褐色土層	ローム粒を少量含む。
17	暗褐色土層	黒褐色土を少量、ローム粒を微量含む。
18	黄褐色土層	ローム主体土。暗褐色土をやや多量含む。（貼床）

第14図　４号住居（１）



4号住居覆

1　灰褐色土層　焼土粒を多量含む粘質土。
2　暗褐色土層　灰褐色粘質土粒を多量、ロームブロックを少量含む。
3　暗褐色土層　2層土に乳白色粘質土を多量含む。
4　暗褐色土層　焼土ブロックを多量含む。
5　暗褐色土層　焼土粒を多量含む。
6　暗褐色土層　灰を多量、炭化物・焼土粒を少量含む。
7　灰褐色土層　天井部。
8　暗褐色土層　焼土ブロックを多量含む。
9　灰褐色土層　乳白色粘土ブロックを含む。天井部崩落土。
10　灰層
11　黒褐色土層　ロームブロックを多量含む。
12　黄褐色土層　ロームブロックを多量含む。
13　明褐色土層　ロームブロックを多量含む。
14　褐色土層　一部焼土化。
15　褐色土層　乳白色粘質土が焼土化。

4号住居貯蔵穴

1　暗褐色土層　ロームブロックを多量、黒色土ブロックを含む。
2　暗褐色土層　黒色土を多量、ロームブロックを少量含む。
3　黒褐色土層　ハードロームブロックを少量含む。
4　明褐色土層　ローム粒、黒褐色土ブロックを少量含む。
5　暗灰褐色土層　ロームブロックを少量含む粘質土。

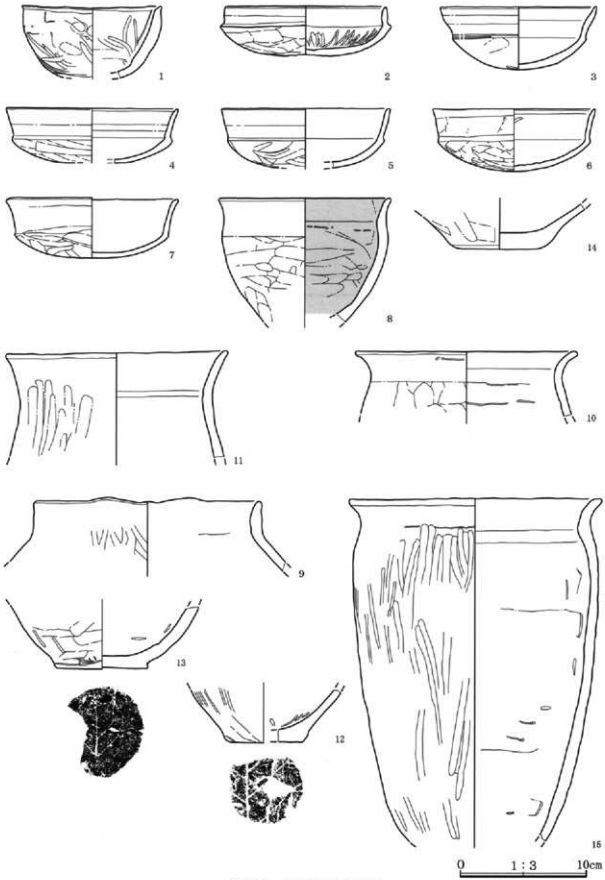
4号住居P1

1　暗褐色土層　ロームブロックを多量、黒色土ブロック炭化物を含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
3　灰色土層　粘質土に炭化物・ローム粒を少量含む。
4　褐色土層　ロームブロックを多量含む。

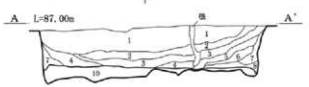
4号住居P3・4

1　黒褐色土層　ロームブロックを多量含む。
2　褐色土層　ロームブロックを多量含む。

第15図　4号住居（2）

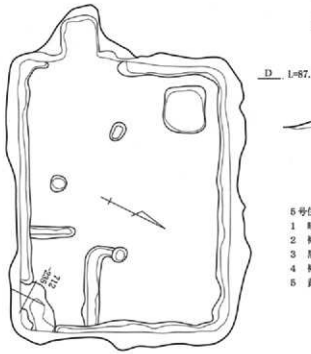


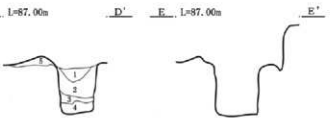
第16図　4号住居出土遺物



5号住居

1　暗褐色土層　FAを多量、ローム漸移層ブロックを少量含む。
2　暗褐色土層　FA・ローム漸移層ブロックを少量含む。
3　褐色土層　ローム粒を多量含む。
4　褐色土層　ロームブロックを少量含む。
5　褐色土層　ロームブロックを多量含む。
6　暗褐色土層　ロームブロックを少量含む。
7　褐色土層　ロームブロックを少量含む。
8　暗褐色土層　ロームブロックを少量含む。
9　暗褐色土層　ロームブロック・黒色土ブロックを多量含む。
10　黄褐色土層　ロームブロック主体土。（貼床）



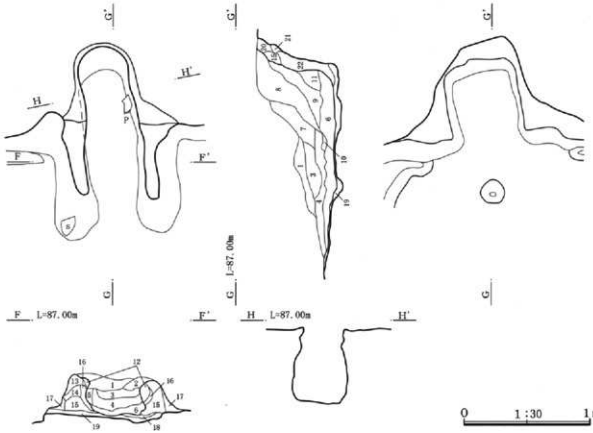


5号住居貯蔵穴

1　暗褐色土層　ローム粒・ブロックを少量含む。
2　褐色土層　ローム粒を多量、ロームブロックを少量含む。
3　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
4　褐色土層　ローム粒・ブロックを少量含む。
5　黄褐色土層　ロームブロック主体土。（貼床と同様）

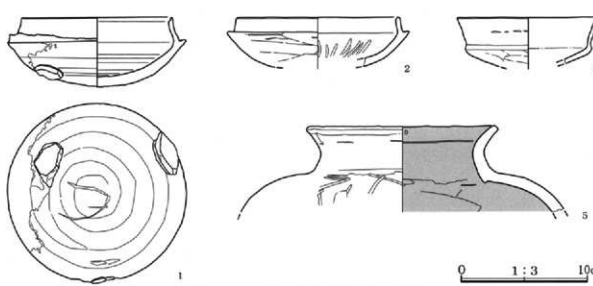
0　1:60　2m

第17図　5号住居（1）

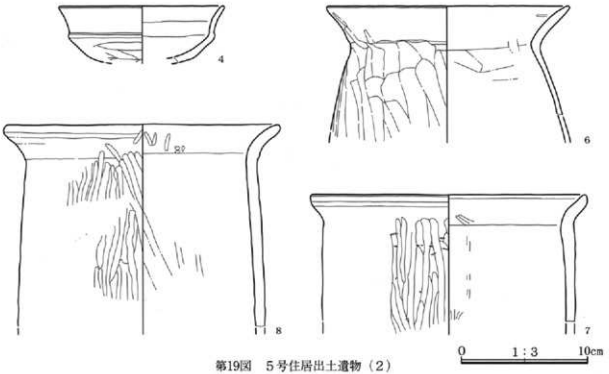


5号住居跡

1　暗褐色土層　ローム粒・ブロックを多量含む。
2　褐色土層　ロームブロックを少量含む。
3　灰褐色土層　ロームブロック・灰色粘土ブロックを少量含む。
4　灰色土層　乳白色粘質土を少量含む。一部焼土化。
5　暗褐色土層　焼土粒・ブロックを多量含む。
6　灰層
7　灰褐色土層　暗褐色土ブロックを少量、ローム粒を微量含む。
8　暗褐色土層　ロームブロックをやや多量、炭化物を微量含む。
9　暗褐色土層　ローム粒を微量含む。
10　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
11　暗褐色土層　灰褐色土ブロック、焼土ブロックを多量含む。
12　灰色土層　袖粘土の焼土化。
13　灰色土層　粘質土。
14　灰色土層　ロームブロックを微量含む。
15　灰色土層　乳白色粘質土ブロックを多量、ロームブロックを微量含む。
16　灰色土層　粘質土の焼土化。
17　灰色土層　暗褐色土を少量含む。
18　黄色土層　ローム主体土。
19　黒褐色土層　ローム粒・ブロックを多量含む。
20　褐色土層　粘土粒・白色パミスを少量含む。
21　明褐色土層　漸移層土を含む。
22　灰色土層　乳白色粘質土ブロックを少量含む。



第18図　５号住居（２）と出土遺物（１）



第19図　5号住居出土遺物（2）

6号住居（第20・21図　PL 7・36）

位置　720－240　**方位**　N－11°－W

形状　隅丸方形。

規模　4.58×4.60m　　**面積**　20.54㎡

重複　なし。

床面　確認面から41cm下に貼床を確認した。凹凸は少なく平坦である。住居の入り口に相当する部分には灰、焼土、粘土ブロックが認められた。また貯蔵穴の西側にはコの字状の高まりを有する。

周溝　竈を除き全周する。規模は概ね幅17cm、深さ8cmである。

竈　東壁面のほぼ中央に位置する。礫、土器等の芯材は認められず、灰褐色粘質土が用いられていた。確認長126cm、燃焼部幅28cm。

貯蔵穴　53×46×48cmの規模で南東隅に設ける。形状は楕円形である。周囲は床面より10cm落ち込んでいる。

柱穴　ピット5基を確認した。P 1は29×26×46cm、P 2は27×26×52cm、P 3は30×21×53cm、P 4は33×32×52cm、P 5は40×37×18cmである。P 1～P 4が主柱穴であると思われる。

掘り方　床面から1～28cm下で掘り方面となる。住居の中央部分は全体的にやや高く掘り残している。南西隅は周囲より10cm以上深く掘り込まれていた。P 4から西壁に向かって溝1条を確認した。

遺物　遺物は非常に少ない。竈からは土師器片が3点出土しているが、図化できたものは坏（1）のみである。坏（2）は床直上から、坏（3）は周溝の埋土から出土した。図示した遺物のほかに土師器坏片12点、土師器甕片25点が出土した。（観P.31）

所見　出土遺物から古墳時代後期と考えられる。

7号住居（第22・23図　PL 7・36）

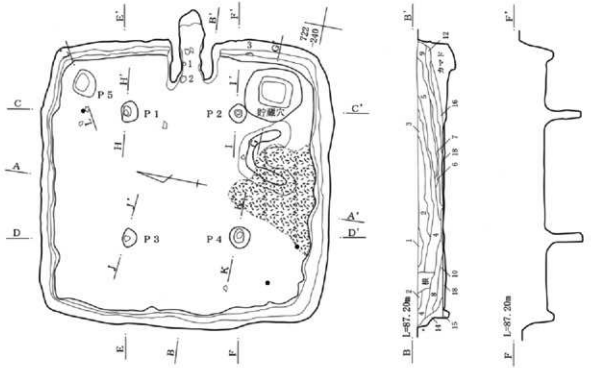
位置　715－255　**方位**　N－20°－E

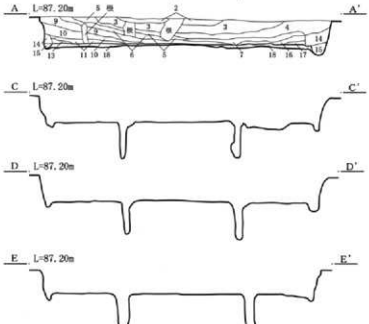
形状　隅丸方形と思われるが、竈から北東隅にかけて攪乱により破壊されている。

規模　6.05×5.74m　　**面積**　29.37㎡

重複　なし。

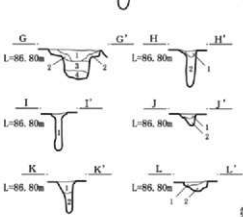
床面　確認面から33cm下で床面となる。貼床は存在せず地山のロームをそのまま使用している。南西隅は床面より10cmほど落ち込んでいた。





6号住居

1　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
2　暗褐色土層　ロームブロック、黒褐色土を含む。
3　褐色土層　ローム粒・ブロックを含む。
4　黒褐色土層　ローム粒、FAを微量含む。
5　暗褐色土層　ローム粒を少量、FAを微量含む。
6　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
7　褐色土層　ローム粒、FAを微量含む。
8　褐色土層　ローム粒、FAを微量含む。
9　暗褐色土層　ローム粒を少量、焼土、炭を微量含む。
10　黒褐色土層　ローム粒を少量、FAを微量含む。
11　褐色土層　ローム粒を少量、炭ブロックを微量含む。
12　暗褐色土層　ローム粒、FAを微量含む。
13　黒褐色土層　ロームブロックを含む。
14　褐色土層　ローム粒を微量含む。
15　褐色土層　ロームブロック主体土。
16　暗褐色土層　ローム粒、炭化物、炭を少量含む。
17　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
18　黄褐色土層　ロームブロック主体土。（貼床）



6号住居貯蔵穴

1　黒褐色土層　ローム粒を少量、炭ブロックを含む。
2　褐色土層　ローム粒を少量含む。
3　褐色土層　ロームブロックを含む。
4　褐炭色土層　粘質土。

6号住居Ｐ１

1　暗褐色土層　ローム粒、炭を微量含む。
2　黄褐色土層

6号住居Ｐ２

1　黒褐色土層　ローム粒を少量含む。

6号住居Ｐ３

1　暗褐色土層　ローム粒、黒褐色土を含む。
2　褐色土層　ローム粒を含む。

6号住居Ｐ４

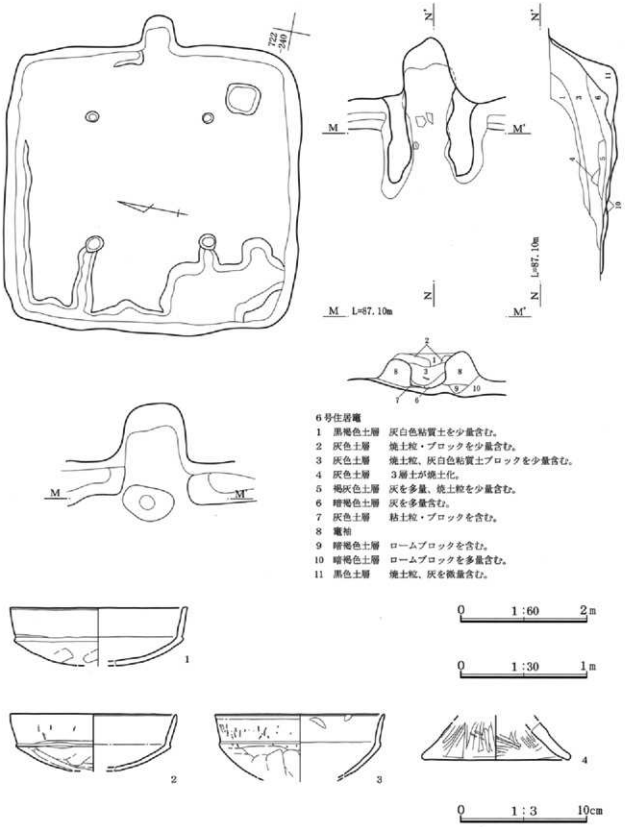
1　黒褐色土層　ローム粒を少量、炭化物を微量含む。
2　黄褐色土層

6号住居Ｐ５

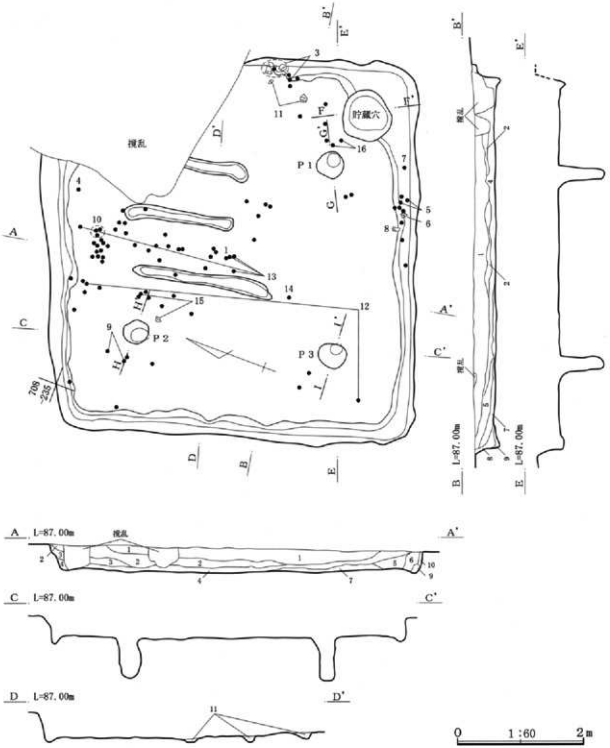
1　黒褐色土層　ローム粒を少量含む。
2　褐色土層　ロームブロックを多量含む。

0　1:60　2m

第20図　6号住居（1）



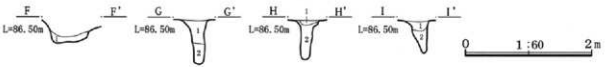
第21図　6号住居（2）と出土遺物



７号住居

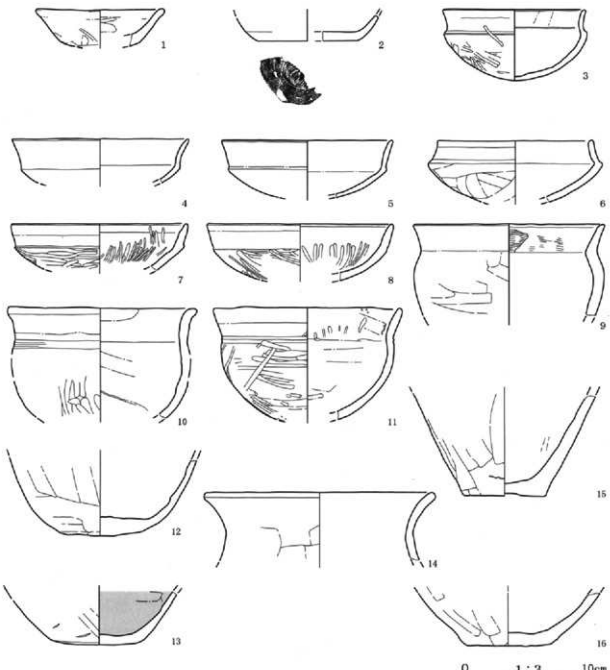
1　黒褐色土層　FAを多量、ローム漸移層ブロックを少量含む。
2　黒褐色土層　FAを少量、ローム漸移層ブロックを含む。
3　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
4　暗褐色土層　ローム漸移層ブロックを多量、FAを少量含む。
5　褐色土層　ローム粒を多量、ロームブロックを少量含む。
6　褐色土層　ロームを多量含む。
7　暗褐色土層　４層より漸移層ブロックを多量含む。
8　褐色土層　ローム粒を多量含む。
9　暗褐色土層　ローム粒・ブロックを多量含む。
10　黄褐色土層　ロームブロックを含む。
11　暗褐色土層　ロームブロックを含む。

第22図　７号住居（１）



7号住居貯蔵穴
1　褐色土層　ロームブロックを少量含む。
7号住居Ｐ１
1　暗褐色土層　ロームブロックを少量含む。
2　暗褐色土層

7号住居Ｐ２
1　黒褐色土層　ロームブロックを多量含む。
2　褐色土層　ロームブロックを少量含む。
7号住居Ｐ３
1　暗褐色土層　ロームブロックをやや多量含む。
2　暗褐色土層　ロームブロックを少量含む。



第23図　7号住居（2）と出土遺物

周溝　竈を除き全周すると思われる。規模は概ね幅15cm、深さ７cmである。

竈　撹乱によりほとんど破壊されているがわずかに痕跡が残る。東壁のほぼ中央付近袖で使用されていたと思われる粘質土を確認した。

貯蔵穴　81×70×41cmの規模で南東隅に設ける。形状は楕円形である。

柱穴　ピット３基を確認した。Ｐ１は43×39×70cm、Ｐ２は42×36×66cm、Ｐ３は45×38×69cmである。

掘り方　なし。

遺物　床直上からの遺物は少なくほとんどが埋土からの出土である。よって住居廃絶後に投棄されたものである可能性が高い。坏（７）は周溝の埋土から出土した。図示した遺物のほかに土師器坏片53点、土師器甕片102点が出土している。（図P.31）

所見　出土遺物から古墳時代後期の住居と考えられる。

第２表　住居出土遺物観察表

１号住居（第７図　ＰＬ33）

番号	種類器種	出土位置	部位残存	計測値(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器坏	貯蔵穴	口縁～体部片	口 (11.0) 底 － 高 3.9+	①白色粒少 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、体部荒れ。 内面　口縁部剥離が著しいが横撫で、体部撫で。	
2	土師器小型甕	床直	完形	口 12.2 底 － 高 11.7	①白色粒含・黒色粒多 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、胴部～底部撫で、一部ヘラ磨き。 内面　口縁部横撫で、胴部～底部ヘラ撫で。	
3	土師器甕	床直	口縁～胴部	口 (15.8) 底 － 高 14.3+	①白色粒多・礫含 ②酸化焔 ③にぶい黄橙色	外面　口縁部横撫で、胴部斜め方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、胴部横ヘラ撫で。	
4	土師器甕	床直	口縁～胴部	口 (14.9) 底 － 高 15.2+	①白色粒多 ②酸化焔 ③にぶい黄橙色	外面　口縁部横撫で、胴部上位縦方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、胴部上位ヘラ撫で。	
5	土師器甑	貯蔵穴	完形	口 23.3 底 9.4 高 26.4	①白・黒色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、胴部上位斜め方向ヘラ削り後ヘラ磨き、胴部中～下位縦方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、胴部横ヘラ撫で後縦方向ヘラ磨き。	

２号住居（第８・９図　ＰＬ33）

番号	種類器種	出土位置	部位残存	計測値(cm)	①胎土②焼成③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器坏	竈	口縁～底部1/5	口 (12.0) 底 (8.0) 高 3.0	①白・黒色粒含 ②酸化焔 ③にぶい橙色	外面　口縁部横撫で、体部指頭痕、底部ヘラ削り。 内面　口縁～体部横撫で、底部撫で。	
2	土師器坏	+16	口縁～底部2/5	口 (12.0) 底 － 高 3.4	①白色粒少 ②酸化焔 ③にぶい橙色	外面　口縁部横撫で、底部ヘラ削り。 内面　口縁～体部横撫で、底部撫で。	底部に墨書「本」あり。
3	土師器坏	+9	ほぼ完形	口 12.1 底 8.8 高 3.5	①白色粒少 ②酸化焔 ③にぶい橙色	外面　口縁部横撫で、体部指頭痕、底部ヘラ削り。 内面　口縁～体部横撫で、底部撫で。	
4	土師器台付甕	竈	底～台部	口 － 底 8.9 高 4.5+	①白色粒含 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　底部ヘラ削り、台部横撫で。 内面　底部撫で、台部横撫で。	
5	土師器台付甕	+14	底～台部1/2	口 － 底 9.8 高 7.3+	①白色粒含・黒色粒少 ②酸化焔 ③橙色	外面　底部斜め方向ヘラ削り、台部横撫で。 内面　底部ヘラ撫で、台部横撫で。	
6	土師器甕	+20	口縁部1/5	口 (14.0) 底 － 高 4.5+	①白色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、胴部横方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、胴部横ヘラ撫で。	口縁部いコの字状。
7	土師器甕	+20	口縁部1/5	口 (21.0) 底 － 高 6.2+	①白・黒色粒含 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　口縁部横撫で、指頭痕、胴部ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で。	
8	土師器甕	+15～20	口縁～胴部2/5	口 (19.5) 底 － 高 26.4+	①白・黒色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、胴部上位斜め方向ヘラ削り、中～下位縦方向ヘラ削り後斜め方向の撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部横ヘラ撫で。	

3号住居（第12・13図　P L 33・34・35）

番号	種類器種	出土位置	部位残存	計測値（cm）	①粘土②焼成③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器手捏ね	覆土	破片	口 － 底 3.2 高 1.6+	①黒色粒少 ②酸化焔 ③にぶい黄橙色	内外面とも単位不明瞭の撫で。	
2	土師器坏	+7	口縁～体部1/4	口 (12.0) 底 － 高 4.0+	①黒色粒含 ②酸化焔 ③にぶい褐色	外面　口縁部横撫で、体部ヘラ削り部分的に撫で。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。	
3	土師器坏	+25	口縁～体部1/4	口 (11.6) 底 － 高 4.4+	①白・黒色粒含 ②酸化焔 ③にぶい赤褐色	外面　口縁部横撫で、体部ヘラ削り後ヘラ磨き。 内面　口縁部横撫で、体部横ヘラ撫で。	
4	土師器坏	覆土	口縁～体部1/5	口 (11.9) 底 － 高 4.8+	①白色粒少 ②酸化焔 ③にぶい赤褐色	外面　口縁部横撫で、体部撫で。 内面　口縁～体部横撫で。	
5	土師器坏	床直	口縁部1/2欠損	口 (11.4) 底 － 高 5.5+	①白色粒多 ②酸化焔 ③赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後ヘラ磨き。 内面　口縁部横撫で、体～底部放射状ヘラ磨き。	
6	土師器坏	床直	口縁～底部3/5	口 12.6 底 － 高 5.2	①黒色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、体～底部撫で。	
7	土師器坏	床直	口縁～底部3/4	口 13.7 底 － 高 5.2	①白色粒少 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後撫で。 内面　口縁～体部横撫で、底部ヘラ撫で。	
8	土師器坏	床直	口縁一部欠損	口 13.5 底 － 高 4.7	①白色粒少 ②酸化焔 ③赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後一部ヘラ磨き。 内面　口縁～体部横撫で、底部撫で。	
9	土師器坏	床直	ほぼ完形	口 14.4 底 － 高 4.8	①白色粒多 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面　口縁～体部横撫で、底部撫で。	
10	土師器高坏か	覆土	脚部片	口 － 底 9.4 高 2.3+	①黒色粒多 ②酸化焔 ③にぶい褐色	外面　ヘラ削り。 内面　ヘラ磨き。	
11	土師器坏	床直	完形	口 12.3 底 － 高 7.9	①黒色粒多 ②酸化焔 ③にぶい黄橙	外面　口縁部横撫で、胴部横方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、胴部ヘラ撫で。外面胴部及び底部に粘土付着。	
12	土師器甕	+30	口縁～底部1/4	口 (13.0) 底 (5.0) 高 14.2	①黒色粒含 ②酸化焔 ③にぶい黄橙	外面　口縁部横撫で、胴部ヘラ削り後撫で。 内面　口縁部横ヘラ撫で、胴～底部撫で。胴部下位～底部は被損後被熱。	
13	土師器甕	貯蔵穴・覆土	口縁～底部3/5	口 15.3 底 － 高 15.3	①白・黒色粒多 ②酸化焔 ③にぶい黄橙色	外面　口縁部横撫で、胴部上位横方向ヘラ撫で後ヘラ磨き、下位荒れ。 内面　口縁部横撫で、胴部ヘラ撫で、底部撫で。	焼成後底部穿孔。
14	土師器壺か	床直	口縁部	口 11.6 底 － 高 5.4+	①黒色粒少 ②酸化焔 ③橙色	内外面とも横撫で。	
15	土師器甕	竈	口縁～胴部上位2/5	口 (19.4) 底 － 高 10.0+	①白色粒多 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、胴部縦方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、胴部撫で。口縁部被熱。	4住埋土からの破片を含む。
16	土師器甕	床直	口縁～底部3/5	口 (17.3) 底 7.2 高 21.5	①白色粒多・黒色粒含 ②酸化焔 ③にぶい黄橙色	外面　口縁部横撫で、胴部上～中位ヘラ削り、下位ヘラ磨き。底部木葉痕。 内面　口縁部横撫で、胴～底部ヘラ撫で。	
17	土師器甕	+10～16	口縁～胴部上位	口 17.8 底 － 高 10.0+	①白色粒多 ②酸化焔 ③黄橙色	外面　口縁部横撫で、胴部縦方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、胴部撫で。	
18	土師器甕	竈	胴部下位～底部	口 － 底 7.4 高 6.2+	①白・黒色粒多 ②酸化焔 ③にぶい黄橙色	外面　胴部ヘラ削り、底部の摩滅が著しい。 内面　ヘラ撫で。	転用している可能性。
19	土師器甕	+1	胴部一部欠損	口 19.6 底 6.8 高 34.8	①白色粒含・黒色粒多 ②酸化焔 ③にぶい橙色	外面　口縁部横撫で、胴部縦方向ヘラ削り、底部木葉痕。 内面　口縁部横撫で、胴部ヘラ撫で、器面の荒れが著しい。	胴部下位被熱。
20	土師器壺	床直	口縁～胴部	口 24.5 底 － 高 13.5+	①白色粒多 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、胴部ヘラ削り、タタキ目か。 内面　口縁部横撫で、胴部荒れ。	
21	磨石	床直	完形	長 25.6 幅 13.3 厚 7.2	–	重量3.49kg。粗粒輝石安山岩。	1/2は5住より出土

4号住居（第16図　ＰＬ35）

番号	種類 器種	出土 位置	部位 残存	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+30	口縁～ 底部 2/5	口 (11.1) 底 － 高 5.7+	①白色粒含 ②酸化焔 ③暗赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部撫で後ヘラ磨き。 内面　口縁部横撫で、体～底部指横撫で後ヘラ磨き。	3住+20cmの破片を含む。
2	土師器 坏	床直	口縁～ 底部 3/5	口 (12.8) 底 － 高 3.9	①黒色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ磨き。	
3	土師器 坏	床直	口縁～ 底部 3/4	口 12.4 底 － 高 5.0	①黒色粒含 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後撫で。 内面　口縁部横撫で、体～底部撫で。	
4	土師器 坏	+1	口縁～ 底部 1/4	口 (13.6) 底 － 高 4.3+	①白色粒少 ②酸化焔 ③にぶい赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、体撫で。	
5	土師器 坏	+1	口縁～ 底部 2/5	口 (13.4) 底 － 高 4.8+	①白色粒含 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後部分的にヘラ磨き。 内面　口縁部横撫で、体～底部撫で。	
6	土師器 坏	+31	口縁～ 底部 2/5	口 (12.9) 底 － 高 5.0	①白色粒少 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後部分的にヘラ磨き。 内面　口縁部横撫で、体～底部荒れ。	
7	土師器 坏	床直	口縁～ 底部 3/5	口 13.6 底 － 高 4.8	①白色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、体～底部撫で。被熱による剥離。	
8	土師器 鉢	+10	口縁～ 胴部下 位 1/4	口 (13.6) 底 － 高 9.8+	①黒色粒少 ②酸化焔 ③橙色	外面　口縁部横撫で、胴部上～中位横方向ヘラ削り、下位縦方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、胴部撫で。	内面黒色。
9	土師器 甕	床直	口縁部 1/5	口 (18.1) 底 － 高 5.5+	①白色粒・雲含 ②酸化焔 ③橙色	内外面ともに荒れ。外面胴部ヘラ磨き。	
10	土師器 甕	+12	口縁部 1/5	口 (17.7) 底 － 高 5.0+	①白色粒多 ②酸化焔 ③橙色	内外面ともに横撫で。	
11	土師器 甕	0～ +30	口縁部 3/5	口 17.7 底 － 高 8.3+	①黒色粒多 ②酸化焔 ③にぶい黄橙	外面　口縁部横撫で、胴部上位縦方向ヘラ撫で。 内面　口縁部横撫で、胴部上位撫で。	
12	土師器 甕	床直	胴部下 位～底 部	口 － 底 6.2 高 4.2+	①白・黒色粒多 ②酸化焔 ③橙色	外面　胴部下位ヘラ削り後ヘラ磨き、底部木葉痕。 内面　ヘラ撫で。	
13	土師器 甕	+30	胴部下 位～底 部	口 － 底 8.6 高 4.9+	①白色粒含 ②酸化焔 ③褐色	外面　胴部下位ヘラ削り後ヘラ磨き、底部木葉痕。 内面　ヘラ撫で。	5住瓦土破片を含む。
14	土師器 甕	+2	底部	口 － 底 6.0 高 3.6+	①白色粒多、黒色粒含 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　胴部ヘラ削り後ヘラ撫で。底部の端部磨滅。 内面　剥離が著しい。	二次的に利用か。
15	土師器 甑	+2～ 9	口縁～ 胴部下 位 2/5	口 (20.0) 底 － 高 27.0+	①白色粒多 ②酸化焔 ③明橙色	外面　口縁部横撫で、胴部縦方向ヘラ削り後ヘラ磨き。 内面　口縁部横撫で、胴部ヘラ撫で。	

5号住居（第18・19図　ＰＬ35・36）

番号	種類 器種	出土 位置	部位 残存	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	須恵器 坏	貯蔵 穴	完形	口 12.1 底 － 高 5.5	①白色粒多 ②還元焔 ③灰色	外面　ロクロ整形。底部回転ヘラ削り。 内面　ロクロ整形。	1/2は3住より出土。
2	土師器 坏	竈	口縁～ 底部 2/5	口 (13.0) 底 － 高 4.0+	①黒色粒含 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面　口縁～体部横撫で、体～底部ヘラ磨き。	
3	土師器 坏	埋土	口縁～ 体部 1/5	口 (11.2) 底 － 高 3.7+	①白色粒少 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面　口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面　口縁～体部横撫で。	
4	土師器 坏	床直	口縁～ 体部 1/5	口 (13.2) 底 － 高 4.5+	①黒色粒含 ②酸化焔 ③にぶい赤褐色	外面　口縁部横撫で、体部ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で、体部撫で。	

5	土師器 甕	+3	口縁～ 胴部 2/5	口（15.2） 底 － 高 6.8+	①白・黒色粒含 ②酸化焔 ③淡黄色	外面 口縁部横撫で、胴部撫で後ヘラ磨き。 内面 口縁部横撫で、胴部ヘラ撫で。		内面黒色。
6	土師器 甕	貯蔵 穴	口縁～ 胴部上 位	口 19.3 底 － 高 10.8+	①黒色粒・礫含 ②酸化焔 ③橙色	外面 口縁部横撫で、胴部上位方向ヘラ削り。 内面 口縁部横撫で、胴部ヘラ撫で。		胴部外面被熱。
7	土師器 甑	竈	口縁～ 胴部上 位1/5	口（22.0） 底 － 高 11.0+	①黒色粒多 ②酸化焔 ③におい橙色	外面 口縁部横撫で、胴部ヘラ磨き。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で後ヘラ磨き、剥離が著しい。		
8	土師器 甑	+15	口縁～ 胴部中 位1/4	口（22.0） 底 － 高 15.0+	①黒色粒多 ②酸化焔 ③におい黄橙色	外面 口縁部横撫で、胴部ヘラ磨き。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で後ヘラ磨き、剥離が著しい。		

6号住居（第21図 PL36）

番号	種類 器種	出土 位置	部位 残存	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	竈	口縁～ 底部 1/5	口（14.0） 底 － 高 4.6+	①白色粒少 ②酸化焔 ③におい黄橙色	外面 口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面 口縁部横撫で、体～底部撫で。	
2	土師器 坏	床直	口縁～ 底部 1/4	口（13.2） 底 － 高 4.5+	①白色粒少 ②酸化焔 ③橙色	外面 口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り。 内面 口縁部横撫で、体～底部撫で。	
3	土師器 坏	+3	口縁～ 体部 1/5	口（13.6） 底 － 高 5.0+	①白色粒少 ②酸化焔 ③橙色	外面 口縁部横撫で、体部ヘラ削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。	
4	土師器 高坏か	埋土	脚部 1/4	口 － 底 11.8 高 3.0+	①黒色粒含、白色粒少 ②酸化焔 ③明赤褐色	外面 ヘラ削り後ヘラ磨き。 内面 撫で後ヘラ磨き。	

7号住居（第23図 PL36）

番号	種類 器種	出土 位置	部位 残存	計測値 (cm)	①胎土②焼成 ③色調	成・整形の特徴	備考
1	土師器 坏	+10	口縁～ 底部 2/5	口（10.2） 底 － 高 3.0+	①黒色粒少 ②酸化焔 ③浅黄橙色	外面 口縁部弱い横撫で、体～底部ヘラ削り後一部ヘラ磨き。 内面 口縁部横撫で、体～底部撫で。	4住埋土からの破片を含む。
2	須恵器 坏	竈	体～底 部2/5	口 － 底（8.0） 高 2.0+	①白色粒含 ②還元焔 ③灰色	外面 ロクロ整形、底部右方向回転糸切り後右方向回転ヘラ削り。 内面 ロクロ整形。	
3	土師器 坏	+3～ 18	口縁～ 底部 1/2	口 11.3 底 － 高 5.6	①白・黒色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面 口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後ヘラ磨き。 内面 口縁部横撫で、体～底部剥離著しい。	
4	土師器 坏	床直	口縁～ 体部 1/5	口（7.5） 底 － 高 3.5+	①白色粒少 ②酸化焔 ③におい橙色	外面 口縁部横撫で、体部ヘラ削り後撫で。 内面 口縁～体部横撫で。	
5	土師器 坏	周溝	口縁～ 体部 1/4	口 13.6 底 － 高 4.7+	①白色粒少 ②酸化焔 ③橙色	外面 口縁部横撫で、体～底部ヘラ削りか。 内面 口縁部横撫で。内外面ともに体部は剥離が著しい。	
6	土師器 坏	埋土	口縁～ 底部 1/2	口 12.3 底 － 高 4.8+	①白色粒少 ②酸化焔 ③赤褐色	外面 口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後撫で。 内面 口縁～体部横撫で。	
7	土師器 坏	周溝	口縁～ 体部 1/2	口 14.0 底 － 高 4.7+	①白色粒含 ②酸化焔 ③暗赤褐色	内外面ともに口縁部横撫で体部ヘラ磨き。	
8	土師器 坏	周溝	口縁～ 底部 1/2	口（14.8） 底 － 高 4.5+	①白色粒含 ②酸化焔 ③暗赤褐色	外面 口縁部横撫で、体～底部ヘラ削り後ヘラ磨き。 内面 口縁部横撫で、体～底部放射状ヘラ磨き。	
9	土師器 鉢	+1～ 5	口縁～ 胴部中 位1/4	口（15.2） 底 － 高 7.3+	①白・黒色粒少 ②酸化焔 ③橙色	外面 口縁部横撫で、胴部ヘラ削り。 内面 口縁部ハケ目か、胴部剥離が著しい。	
10	土師器 鉢	+6	口縁～ 胴部下 位1/5	口（15.0） 底 － 高 6.3+	①赤褐色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面 口縁部横撫で、胴部上～中位剥離、下位ヘラ磨き。 内面 口縁部横撫で、胴部ヘラ撫で。同一個体と思われる口縁部片が5住埋土から出土。	4住埋土からの破片を含む。
11	土師器 鉢	0～ +10	口縁～ 胴部下 位2/5	口（15.0） 底 － 高 8.9+	①黒色粒多 ②酸化焔 ③橙色	外面 口縁部横撫で、胴～底部ヘラ削り後ヘラ磨き。 内面 口縁部横撫で、胴部ヘラ撫で。	

12	土師器 甕か	+20	胴部下位～底部片	口　－ 底　6.5 高　6.2+	①白・黒色粒多 ②酸化焔 ③赤褐色	外面　胴部ヘラ削り、底部ヘラ胴り。 内面　荒れ。	
13	土師器 甕か	+1～4	胴部下位～底部	口　－ 底　7.2 高　4.2+	①黒色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面　胴部ヘラ削り後撫で、底部ヘラ削り。 内面　胴部横ヘラ撫で、底部撫で。同一個体と思われる胴部片。	内面黒色。
14	土師器 甕	+12	口縁片	口（18.0） 底　－ 高　5.4+	①黒色粒含 ②酸化焔 ③にぶい橙色	外面　口縁部横撫で、胴部縦方向ヘラ削り。 内面　口縁部横撫で。	
15	土師器 甕	+4～7	胴部下位～底部1/2	口　－ 底　6.6 高　8.0+	①白色粒多・黒色粒含 ②酸化焔 ③にぶい黄褐色	外面　胴部縦方向ヘラ削り、底部ヘラ削り。 内面　胴部ヘラ撫で、底部撫で。	
16	土師器 甕	+20	胴部下位～底部片	口　－ 底　6.8 高　4.2+	①白・黒色粒含 ②酸化焔 ③橙色	外面　胴部ヘラ削り、底部未調整。部分的にヘラの痕跡。 内面　剥離が著しい。	

2．井戸

1号井戸（第24図　PL 8）

位置　675－195　**重複**　なし。

概要　上面の形状は方形に近く、規模は148×138cmである。底面の形状および深さは未確認であった。

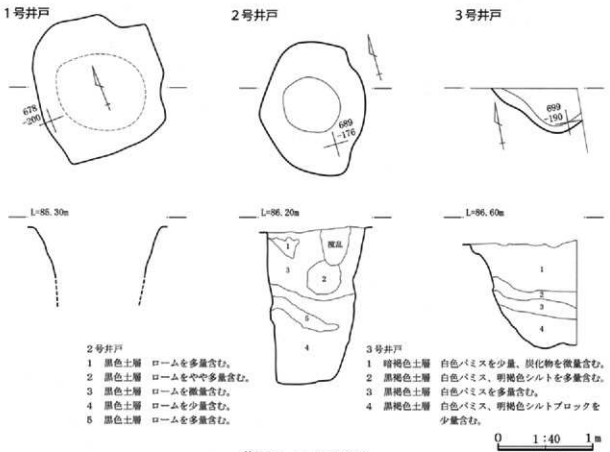
遺物　なし。

2号井戸（第24図　PL 8）

位置　685－175　**重複**　なし。

概要　上面の形状は南北に長い不正円形で、規模は146×113cmである。底面の形状は円形で62×55cm、深さは157cmを測る。調査時に湧水が認められた。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

遺物　なし。



2号井戸
1　黒色土層　ロームを多量含む。
2　黒色土層　ロームをやや多量含む。
3　黒色土層　ロームを微量含む。
4　黒色土層　ロームを少量含む。
5　黒色土層　ロームを多量含む。

3号井戸
1　暗褐色土層　白色パミスを少量、炭化物を微量含む。
2　黒褐色土層　白色パミス、明褐色シルトを多量含む。
3　黒褐色土層　白色パミスを多量含む。
4　黒褐色土層　白色パミス、明褐色シルトブロックを少量含む。

0　1:40　1m

第24図　1～3号井戸

3号井戸（第24図）

位置　695－190　　**重複**　なし。

概要　形状および規模は部分調査のため不明である。深さは上面から61cmであった。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

遺物　なし。

4号井戸（第25図　PL 8）

位置　690－175　　**重複**　なし。

概要　上面の形状はほぼ円形で、規模は115×114cmである。底面の形状もほぼ円形で規模は95×87cm、深さは67cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

遺物　なし。

5号井戸（第25図　PL 8）

位置　695－180　　**重複**　なし。

概要　上面の形状は東西に長い不正円形で、規模は226×133cmである。底面の形状も上面と同様で規模は169×82cm、深さは91cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

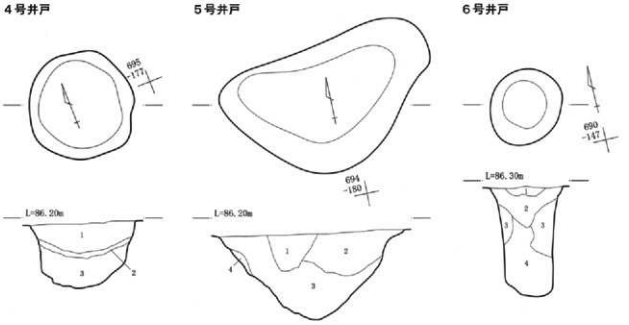
遺物　なし。

6号井戸（第25図　PL 8）

位置　690－145　　**重複**　なし。

概要　上面の形状は楕円形で、規模は85×75cmである。底面の形状は円形で50×47cm、深さは115cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

遺物　なし。



4号井戸
1　黒褐色土層　白色パミス、ローム粒を少量含む。
2　暗褐色土層　褐色細砂を多量含む。
3　黒褐色土層　褐色シルトブロックを多量含む。

5号井戸
1　暗褐色土層　ローム漸移層ブロックを多量、ロームブロックを微量含む。
2　暗褐色土層　白色パミス、ローム粒を少量含む。
3　暗褐色土層　ローム漸移層ブロック、ロームブロックを少量含む。
4　黒褐色土層　ローム粒を少量含む。

6号井戸
1　黒褐色土層　ローム粒を少量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を多量含む。
3　明褐色土層　ロームブロックを多量含む。
4　褐色土層　ローム粒・ブロックを少量、暗褐色土ブロックを含む。

第25図　4～6号井戸

７号井戸（第26図　PL ８）

位置　680－130　**重複**　なし。

概要　上面の形状は南北に長い不正円形で、規模は164×152cmである。底面の形状も同様で規模は141×110cm、深さは113cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

遺物　埋土から近世陶器片が１点出土したが図示するには至らなかった。

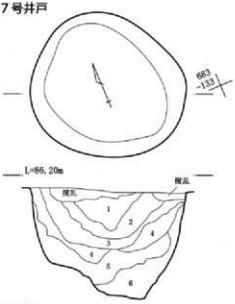
８号井戸（第26図　PL ８）

位置　675－130　**重複**　なし。

概要　上面の形状は不正円形で、規模は153×106cmである。底面の形状は楕円形で124×76cm、深さは89cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

遺物　埋土から瓦片が１点出土したが、図示するには至らなかった。

７号井戸



７号井戸
1　暗褐色土層　ローム粒を多量、炭化物を少量含む。
2　明褐色土層　ローム粒を多量、暗褐色土ブロックを少量含む。
3　暗褐色土層　ローム粒を少量、炭化物を微量含む。
4　褐色土層　ローム粒を微量含む。
5　明褐色土層　ローム粒・ブロックを多量含む。
6　黄褐色土層　ローム主体土。

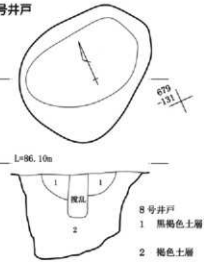
９号井戸（第26図）

位置　675－125　**重複**　なし。

概要　形状は部分調査のため確認することはできなかった。調査範囲での規模は、上面138×77cm、底面112×64cmである。深さは114cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

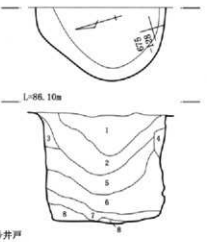
遺物　なし。

８号井戸



８号井戸
1　黒褐色土層　白色パミスを少量含む。
2　褐色土層　ローム粒、白色パミスを少量、ロームブロックを微量含む。

９号井戸



９号井戸
1　黒褐色土層　白色パミスを多量、ローム粒を少量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
3　暗褐色土層　ローム粒・ブロックを多量含む。
4　褐色土層　ロームブロックを多量含む。
5　褐色土層　ローム粒を少量、ロームブロックを微量含む。
6　明褐色土層　ロームブロックを少量含む。
7　褐色土層　ロームブロックを少量含む。
8　黄色土層　ローム主体土。褐色土を含む。

0　1:40　1m

第26図　７～９号井戸

10号井戸（第27図　PL 8）

位置　730－285　　**重複**　なし。

概要　上面の形状は楕円形で、規模は120×101cmである。底面の形状は円形で86×82cm、深さは105cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

遺物　なし。

11号井戸（第27図　PL 9）

位置　735－305　　**重複**　なし。

概要　上面の形状はほぼ円形で、規模は130×122cmである。底面の形状も同様で94×87cm、深さは119cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

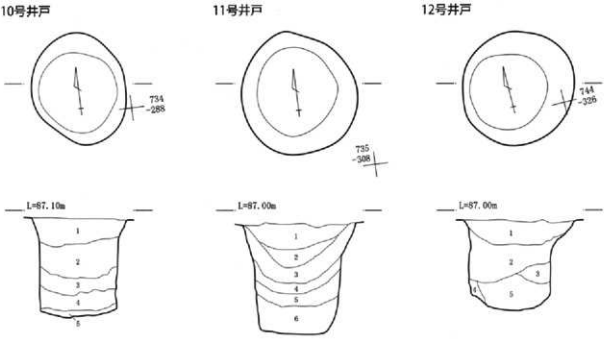
遺物　なし。

12号井戸（第27図　PL 9）

位置　740－325　　**重複**　なし。

概要　上面の形状はほぼ円形で、規模は121×118cmである。底面の形状も同様で83×79cm、深さは89cmを測る。内部からは井戸枠などの施設は確認されなかった。

遺物　なし。



10号井戸
1　黒褐色土層　ローム、炭化物を微量含む。
2　黒褐色土層　ローム粒を含む。
3　黒褐色土層
4　黒褐色土層　ローム粒を少量含む。
5　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。

11号井戸
1　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
2　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
3　黒色土層
4　黒褐色土層　ローム粒を含む。
5　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
6　黒褐色土層　ローム粒を微量含む砂質土。

12号井戸
1　暗褐色土層　ロームブロックを微量、白色パミスを含む。
2　暗褐色土層　ロームブロックを少量、白色パミスを含む。
3　暗褐色土層　ロームブロックを多量含む。
4　暗褐色土層　ロームブロックを多量含む。
5　暗褐色土層　ロームブロックを少量含む。

0　1:40　1m

第27図　10～12号井戸

３．土坑

土坑は、284基調査された。このうち縄文時代のものと考えられる土坑は10基である。他の土坑については、遺物が乏しいため不明な点が多く、埋土の特徴を４種類に分類し表にまとめるにとどめた。また、埋土や重複関係から、撹乱またはごく最近のものと判断されたものについては掲載していない。なお、遺構番号は調査時のものをそのまま使用している。

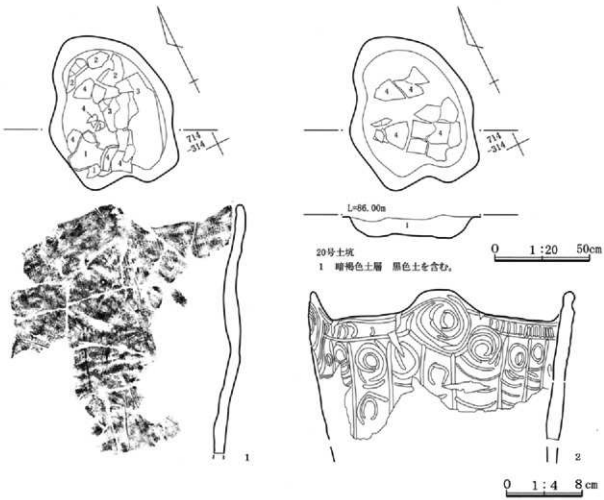
20号土坑（第28・29図　PL ９・37）

位置　710－310　　**重複**　なし。

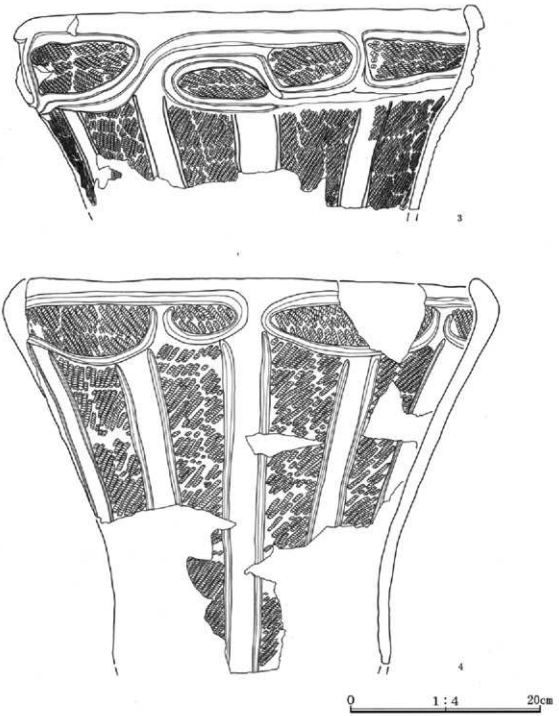
長軸方位　N－4°－W

概要　形状は楕円形で、規模は87×50×10cmである。

遺物　縄文土器が４点出土した。１は波状口縁の土器。口縁部に縦位の条線が施文される。胴部以下は、無文。２は四単位の波状口縁土器。頂部には、単沈線で、同心円文が描かれこれらを横位の沈線が繋がり、胴部文様帯と区画する。区画内は、縦位の沈線が連続して施文される。胴部文様は、沈線による縦位の区画で渦巻状の文様と弧線が充填される。１・２は、地文に縄文を持たず、沈線による文様モチーフから郷土式の様相を示すと考えられる。３は、口縁文様帯は、「∽」が連続する入組状になる楕円区画文。胴部文様は、縦位の区画で無文帯と縄文帯が交互になる。４は、口縁部文様帯は楕円区画。胴部は沈線による縦位の区画。無文帯と縄文帯を交互に作る。縄文帯の間には、縦波状になる沈線が施文される。３・４は、加曽利Ｅ３式の後半段階。



第28図　20号土坑と出土遺物（１）



第29図　20号土坑出土遺物（2）

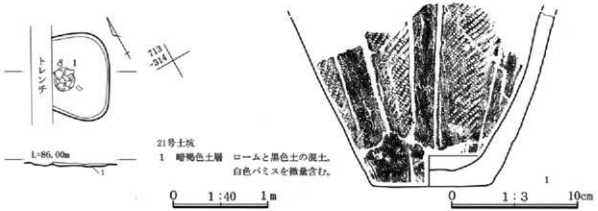
21号土坑（第30図　PL 9・37）

位置　710－310　　**重複**　なし。

長軸方位　計測不能。

概要　形状は不整形で、長軸と短軸の計測は不可能であった。深さは7.5cmを測る。

遺物　1は、胴部下半から底部にかけての個体。沈線による縦位の区画。無文帯と縄文帯を交互に作る。加曽利E式土器。



第30図　21号土坑と出土遺物

22号土坑（第31図　PL 9・37）

位置　715－310　**重複**　なし。

長軸方位　N－33°－E

概要　形状は円形で、規模は68×56×43cmである。

遺物　1は、胴部下半から底部にかけての個体。沈線による縦位の区画。無文帯と縄文帯を交互に作る。加曽利E式土器。

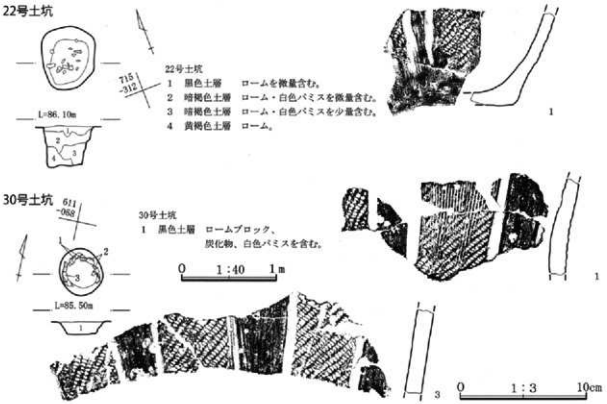
30号土坑（第31・32図　PL10・37・38）

位置　610－055　**重複**　なし。

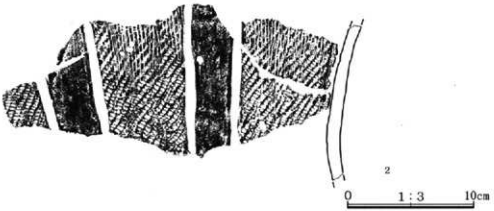
長軸方位　N－10°－W

概要　形状は円形で、規模は50×44×13cmである。

遺物　1～3は胴部片で同一個体と思われる。沈線による縦位の区画。無文帯と縄文帯を交互に作る。縄文施文部の上部には沈線による条線が施文されている。加曽利E式土器。



第31図　22・30号土坑と出土遺物（1）



第32図　30号土坑出土遺物（2）

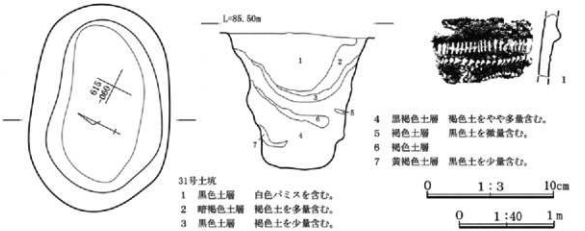
31号土坑（第33図　PL10・38）

位置　615－060　**重複**　なし。

長軸方位　N－68°－E

概要　形状は楕円形で、規模は221×147×137cm である。

遺物　1は、胴部片で横位の隆帯に沿ってキャタピラ文とペン先状刺突文が施文される。勝坂式土器。



第33図　31号土坑と出土遺物

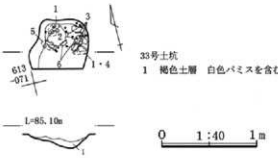
33号土坑（第34・35図　PL11・38）

位置　610－070　**重複**　なし。

長軸方位　N－15°－E

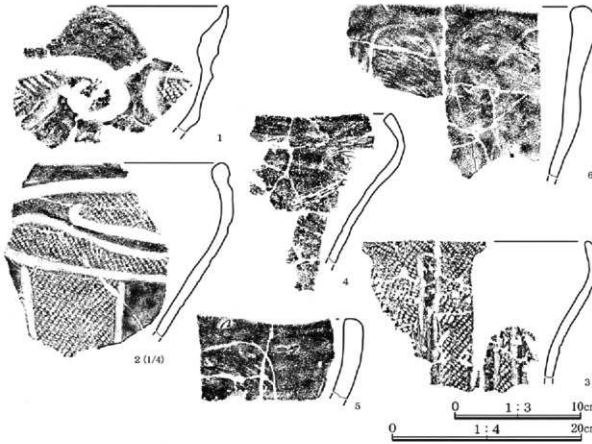
概要　形状は隅丸方形で、規模は62×52×10cmである。

遺物　1は、舌状突起を持つ波状口縁の土器。口縁部は、渦巻き文と楕円区画。突起内面には「の」字状の沈線文が施文される。2は、楕円区画が入り組み状にはいる。胴部文様帯は沈線による縦位の区画。3は、口縁部文様帯が消失し、口縁部近くから胴部にかけて沈線による「∩」状の文様が施文される。



第34図　33号土坑

４は、口縁部文様帯に浅い沈線による楕円区画が施文される。全体に摩滅が多くはっきりしない。５は、浅い沈線による鍵の手状の文様施文。６は、全体に摩滅している。口縁部文様帯が消失し、縦長の楕円区画文様。区画内には、縄文が充填される。加曽利Ｅ３式以降の土器。



第35図　33号土坑出土遺物

67号土坑（第36・37図　PL12・38・39）

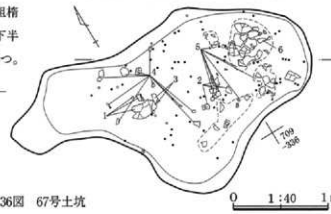
位置　710－335　**重複**　なし。

長軸方位　N－65°－E

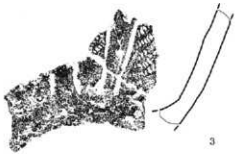
概要　形状は不整形で、規模は328×110×29cmである。

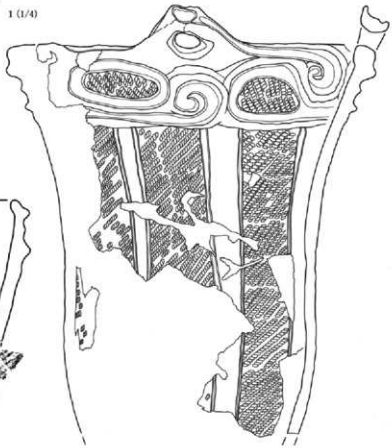
遺物　１は、両耳壺になると思われる。口縁部は屈曲し外側に開く無文帯。屈曲下に「∽」状の入組楕円区画。区画内は、縄文が充填されるが、胴部下半は条線が施文される。２は、口縁部に突起を持つ。突起下には渦巻き文様。胴部は沈線による縦位の区画。３は、胴部片で沈線による縦位の区画。無文帯と縄文帯を交互に作る。４は胴部から底部にかけての個体。沈線による縦位の区画。無文帯と縄文帯を交互に作る。５は２と同一個体と思われる。加曽利Ｅ３式土器。６は黒色頁岩製の打製石斧。

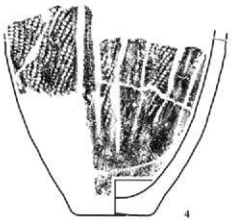
67号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　褐色土層　黒色土を含む。

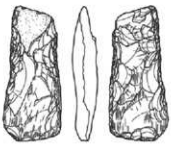


第36図　67号土坑









0　1：3　10cm

0　1：4　20cm

第37図　67号土坑出土遺物

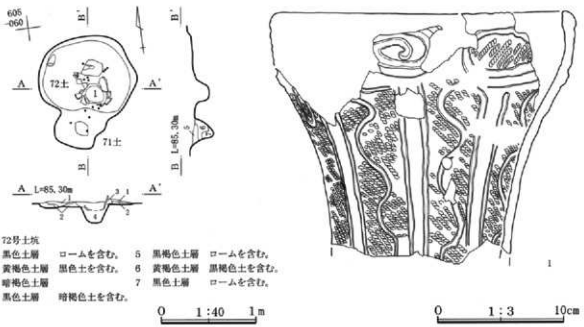
71・72号土坑（第38図　PL13・39）

位置　600－055　　**重複**　新旧不明。

長軸方位　N－39°－E

概要　形状、規模は重複のため不明瞭である。

遺物　１は、口縁部文様帯に楕円区画文と渦巻き文様を描く。頸部には、胴部との文様帯区画線が入る。胴部は、沈線による縦位の区画。無文帯と縄文帯が交互に作られ、縄文帯には、縦波状の沈線が施文される。加曽利Ｅ２式新段階。



第38図　71・72号土坑と出土遺物

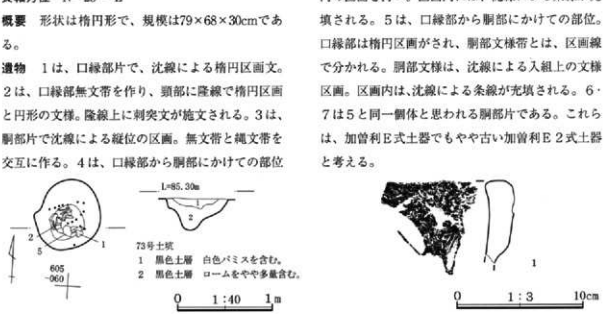
73号土坑（第39・40図　PL13・39・40）

位置　605－055　　**重複**　なし。

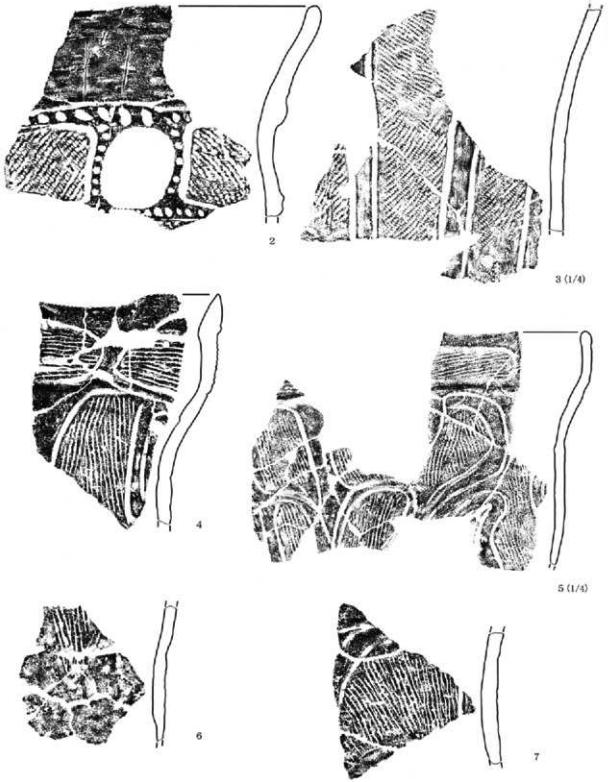
長軸方位　N－25°－E

概要　形状は楕円形で、規模は79×68×30cmである。

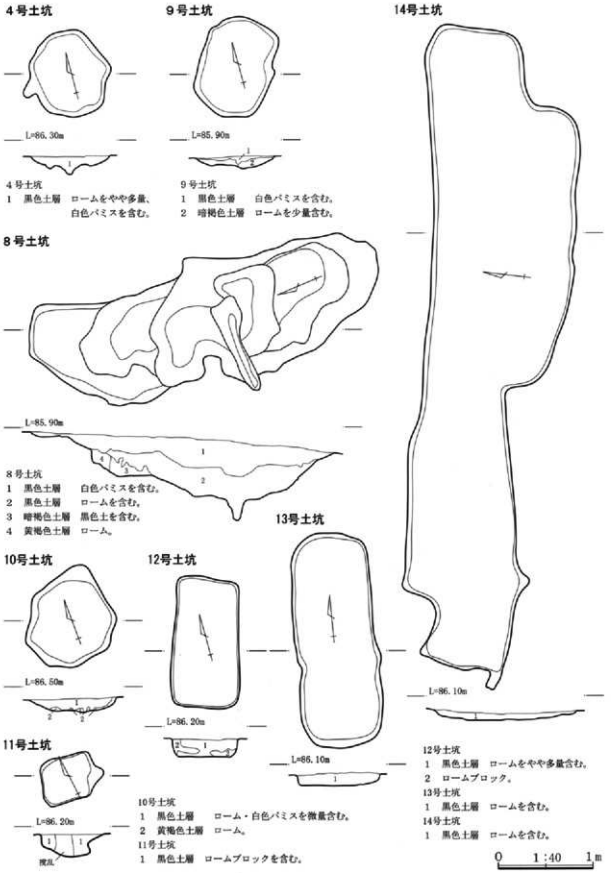
遺物　１は、口縁部片で、沈線による楕円区画文。２は、口縁部無文帯を作り、頸部に隆線で楕円区画と円形の文様。隆線上に刺突文が施文される。３は、胴部片で沈線による縦位の区画。無文帯と縄文帯を交互に作る。４は、口縁部から胴部にかけての部位である。口縁部には、舌上に突起が付く。口縁部は、楕円区画文様。胴部は沈線による縦位の区画と長楕円の区画を持つ。区画内には、沈線による条線が充填される。５は、口縁部から胴部にかけての部位。口縁部は楕円区画がされ、胴部文様帯とは、区画線で分かれる。胴部文様は、沈線による入組上の文様区画。区画内は、沈線による条線が充填される。６・７は５と同一個体と思われる胴部片である。これらは、加曽利Ｅ式土器でもやや古い加曽利Ｅ２式土器と考える。



第39図　73号土坑と出土遺物（１）



第40図　73号土坑出土遺物（2）



4号土坑
1　黒色土層　ロームをやや多量、白色パミスを含む。

9号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　暗褐色土層　ロームを少量含む。

8号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　黒色土層　ロームを含む。
3　暗褐色土層　黒色土を含む。
4　黄褐色土層　ローム。

10号土坑
1　黒色土層　ローム・白色パミスを微量含む。
2　黄褐色土層　ローム。

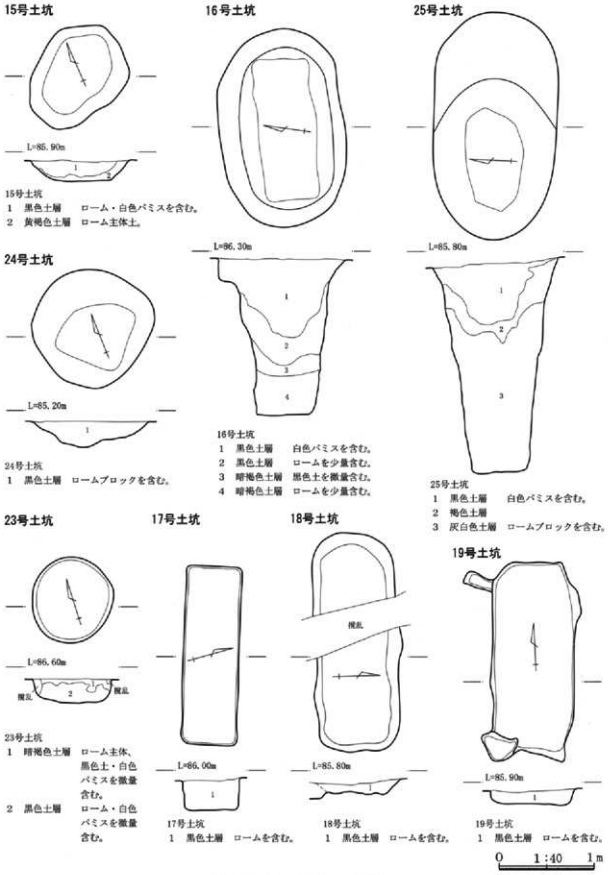
11号土坑
1　黒色土層　ロームブロックを含む。

12号土坑
1　黒色土層　ロームをやや多量含む。
2　ロームブロック。

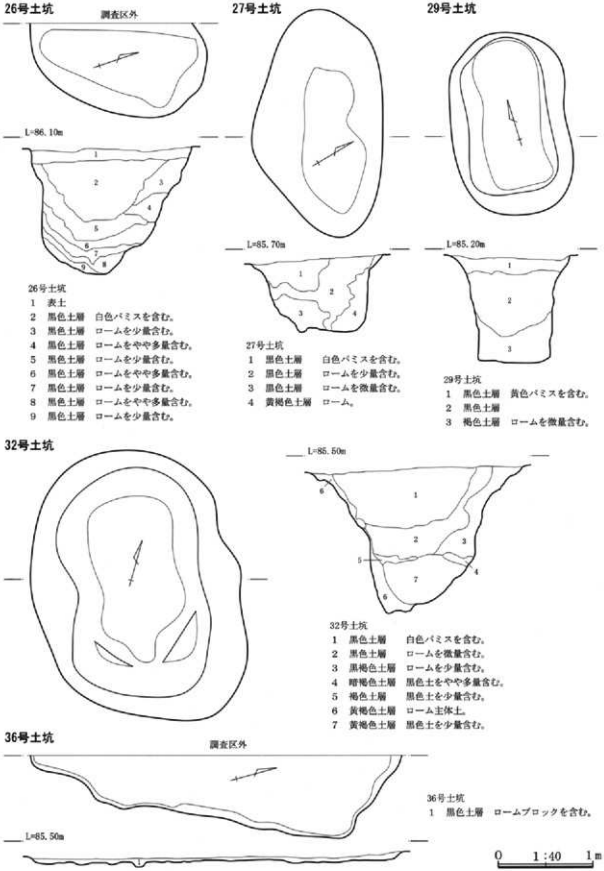
13号土坑
1　黒色土層　ロームを含む。

14号土坑
1　黒色土層　ロームを含む。

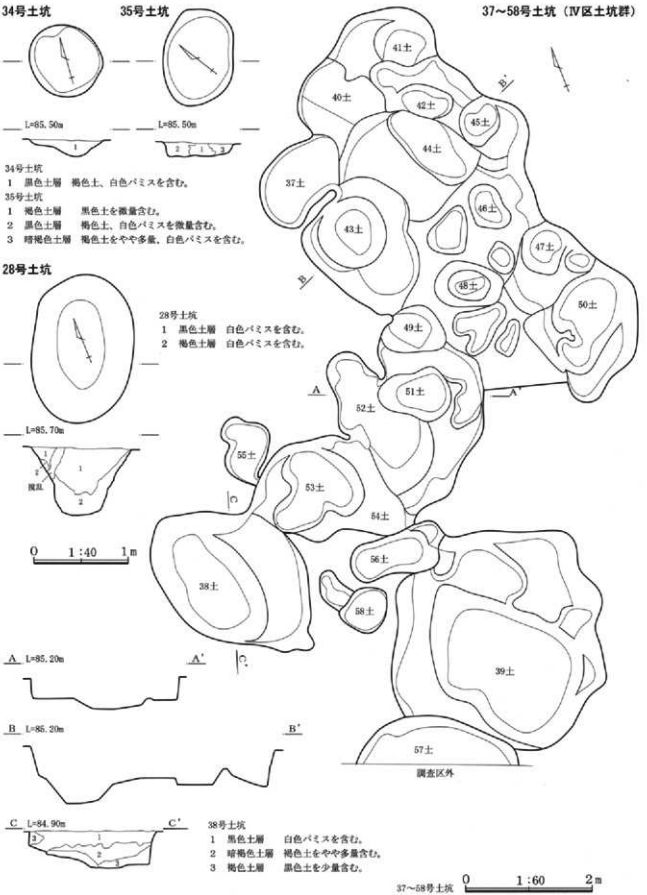
第41図　4・8～14号土坑



第42図　15～19・23～25号土坑

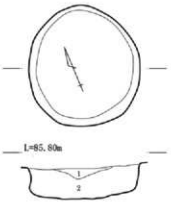


第43図　26・27・29・32・36号土坑



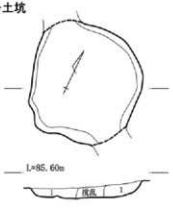
第44図　28・34・35・37～58号土坑

59号土坑



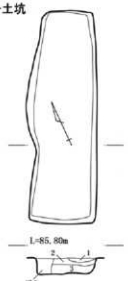
59号土坑
1　黒色土層　ロームブロックを含む。
2　黒色土層　ロームを多量含む。

60号土坑



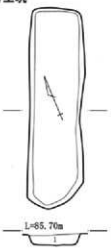
60号土坑
1　黒色土層　ロームを微量含む。

61号土坑



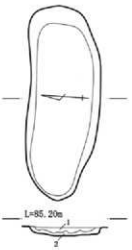
61号土坑
1　黄褐色土層　黒色土を含む。
2　黒色土層　ロームを少量含む。
3　黒褐色土層　ロームブロックを少量含む。

62号土坑



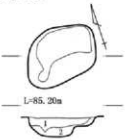
62号土坑
1　黒色土層　ロームを微量含む。

63号土坑



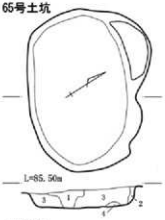
63号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　褐色土層

64号土坑



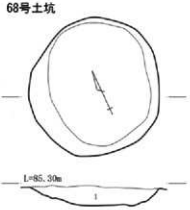
64号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　褐色土層　黒色土とロームの混土。

65号土坑



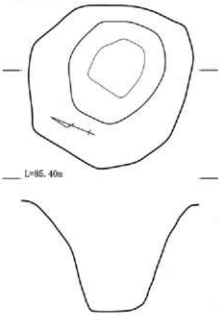
65号土坑
1　黒色土層　ロームを微量含む。
2　黒色土層
3　黒色土層　白色パミスを含む。
4　褐色土層　黒色土を含む。

68号土坑



68号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。

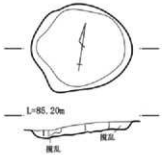
66号土坑



0　1:40　1m

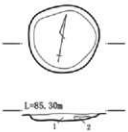
第45図　59～66・68号土坑

69号土坑



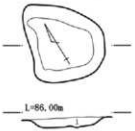
69号土坑
1　黒色土層　黄褐色土を多量含む。

70号土坑



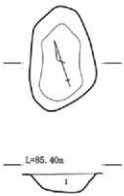
70号土坑
1　黒色土層　黄褐色土を含む。
2　黄褐色土層

74号土坑

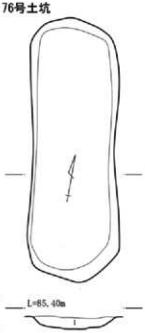


74号土坑
1　黒色土層　黄褐色土を含む。

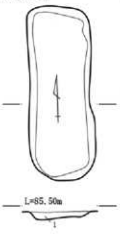
75号土坑



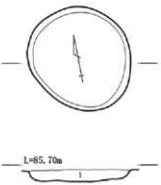
76号土坑



77号土坑



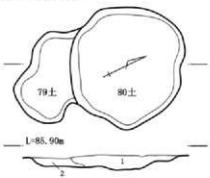
78号土坑



75号土坑
1　暗褐色土層　白色パミスを含む。
76号土坑
1　暗褐色土層　白色パミスを含む。

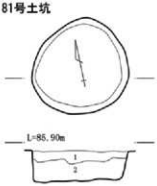
77号土坑
1　暗褐色土層　白色パミスを含む。
78号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。

79・80号土坑



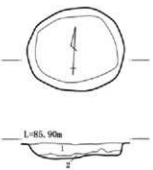
79・80号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　黒褐色土層

81号土坑



81号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　黒色土層

82号土坑

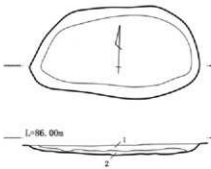


82号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　暗褐色土層

0　1:40　1m

第46図　69・70・74～82号土坑

83号土坑

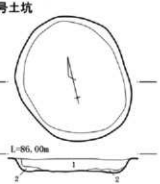


83号土坑
1　黒色土層　白色パミス、黄褐色ロームを含む。
2　暗褐色土層

84号土坑

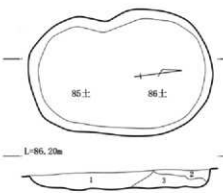
84号土坑
1　黒色土層　白色パミス、黄褐色ロームを含む。

87号土坑



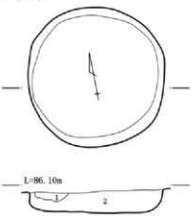
87号土坑
1　黒色土層　白色パミス、黄褐色ロームを含む。
2　黄褐色土層

85・86号土坑



85・86号土坑
1　黒色土層　白色パミス、黄褐色ロームを含む。
2　黒色土層　1層よりロームを少量含む。
3　黒色土層　1層にロームをやや多量含む。

88号土坑

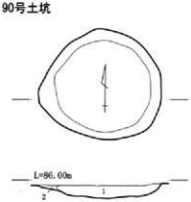


88号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
2　黒色土層　1層に黄褐色ロームをやや多量含む。

89号土坑

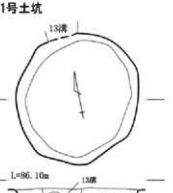
89号土坑
1　黒褐色土層　ロームを含む。
2　黒色土層　ローム、炭化物を含む。

90号土坑



90号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームブロックを含む。
2　黄褐色土層

91号土坑



91号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームブロックを含む。

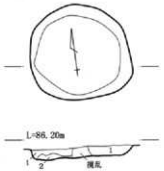
92号土坑

92号土坑
1　黒色土層　As-B、ロームブロックを含む。

0　1:40　1m

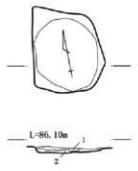
第47図　83～92号土坑

93号土坑



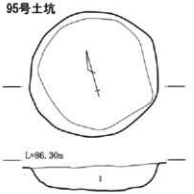
93号土坑
1　黒褐色土層　白色パミスを含む。
2　暗褐色土層　白色パミスを含む。

94号土坑



94号土坑
1　黒褐色土層　白色パミスを含む。
2　暗褐色土層

95号土坑

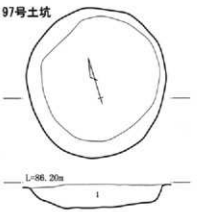


95号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームブロックを含む。

96号土坑

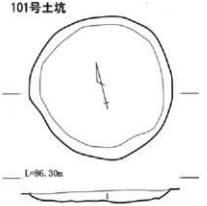
96号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームブロックを含む。

97号土坑



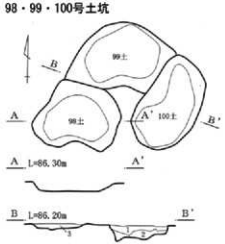
97号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームブロックを含む。

101号土坑



101号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームを含む。

98・99・100号土坑

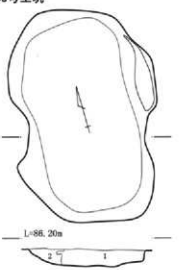


99・100号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームブロックを含む。
2　黒色土層　1層土にロームを少量含む。
3　黒色土層　白色パミス、ロームを含む。

102号土坑

102号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームを含む。
2　黒色土層　1層よりロームをやや多量含む。
3　黒色土層　1層よりロームを多量含む。

103号土坑

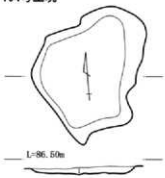


103号土坑
1　黒色土層　白色パミス、ロームを含む。
2　暗褐色土層

0　1:40　1m

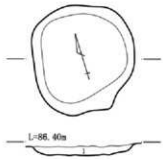
第48図　93～103号土坑

104号土坑



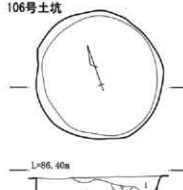
104号土坑
1　黒色土層　ロームをやや多量、白色パミスを含む。

105号土坑



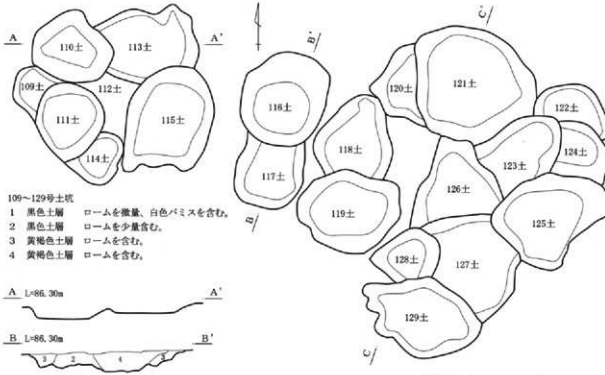
105号土坑
1　黒色土層　ロームを微量、白色パミスを含む。

106号土坑

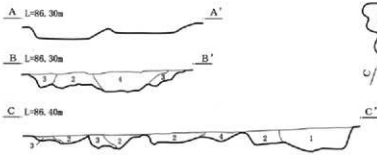


106号土坑
1　黒色土層　ロームを微量、白色パミスを含む。
2　黒色土層　1層よりロームをやや多量含む。
3　黒色土層　1層よりロームを多量含む。

109～129号土坑（土坑群１）

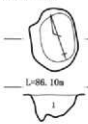


109～129号土坑
1　黒色土層　ロームを微量、白色パミスを含む。
2　黒色土層　ロームを少量含む。
3　黄褐色土層　ロームを含む。
4　黄褐色土層　ロームを含む。

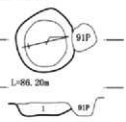


107号土坑

145号土坑



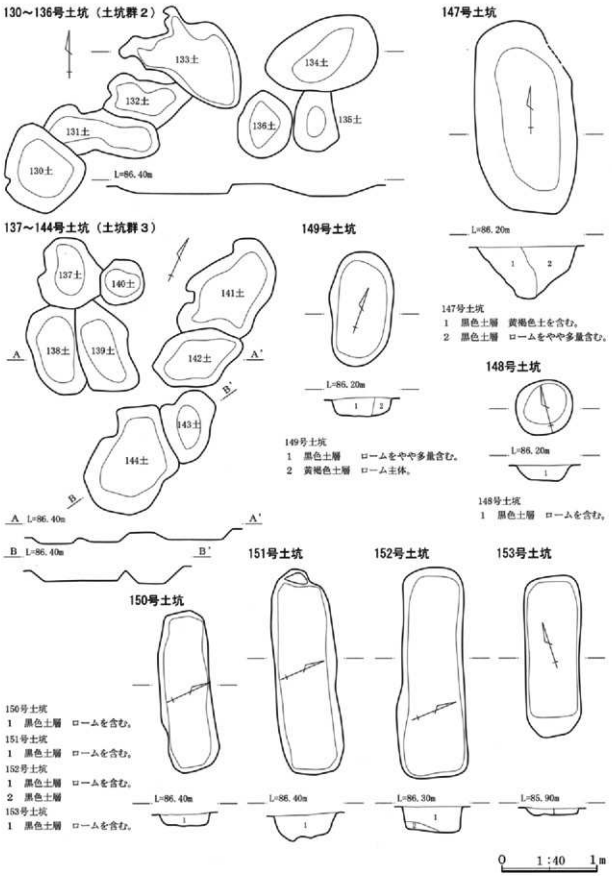
146号土坑



107号土坑
1　黒色土層　白色パミスを含む。
145号土坑
1　黒色土層　黄褐色土を含む。
146号土坑
1　黒色土層　黄褐色土を含む。

0　1:40　1m

第49図　104～107・109～129・145・146号土坑

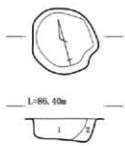


第50図　130～144・147～153号土坑

154号土坑

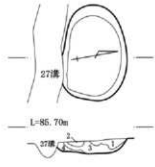
154号土坑
1　黒色土層　ロームを含む。
2　黒色土層

155号土坑



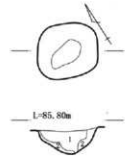
155号土坑
1　黒色土層　黄褐色土を含む。
2　黒色土層　炭化物微量。

157号土坑



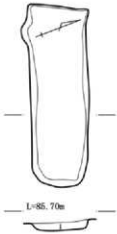
157号土坑
1　黒色土層
2　黒色土層　暗褐色土を含む。
3　暗褐色土層
4　暗褐色土層　黒色土を含む。

158号土坑



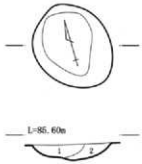
158号土坑
1　黒色土層　黄褐色土を含む。
2　黄褐色土層　黒色土を少量含む。

159号土坑



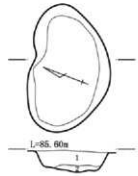
159号土坑
1　黒色土層　ロームを含む。

160号土坑



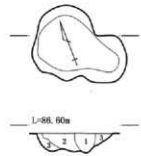
160号土坑
1　黒色土層　ロームを含む。
　　炭化物微量。
2　暗褐色土層　黒色土を含む。

161号土坑



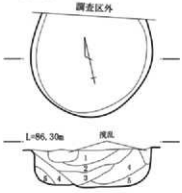
161号土坑
1　黒色土層
2　暗褐色土層　黒色土を含む。

162号土坑

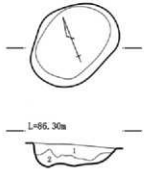


162号土坑
1　黒色土層　暗褐色土を少量含む。
2　暗褐色土層
3　暗褐色土層　黄褐色土を含む。

164号土坑



165号土坑

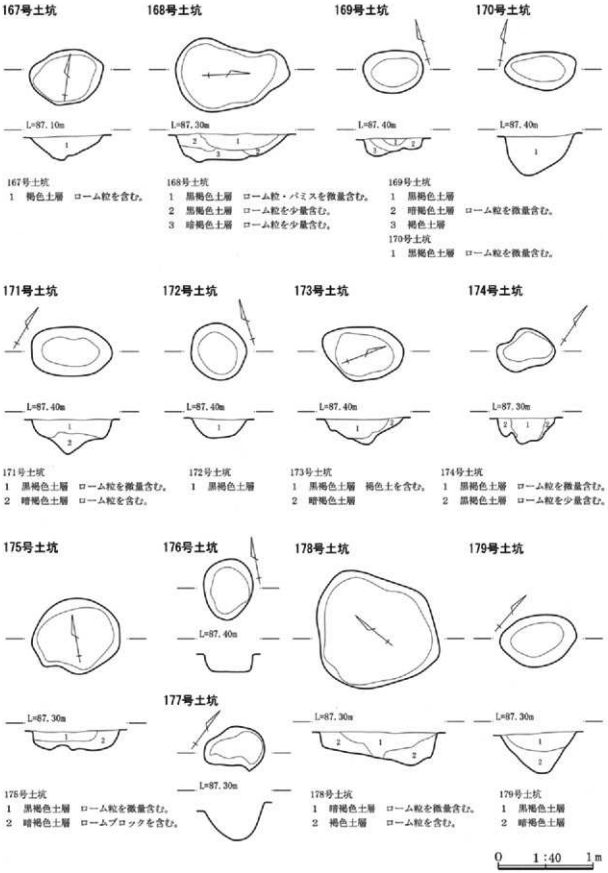


164号土坑
1　黒褐色土層　ロームブロックを微量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を多量含む。
3　黒褐色土層　ローム粒を少量含む。
4　暗褐色土層　ローム粒・ブロックを多量含む。
5　黒色土層　ローム粒を少量含む。

165号土坑
1　暗褐色土層　白色パミスを多量、ローム漸移層ブロックを少量含む。
2　暗褐色土層　ロームブロックを多量含む。

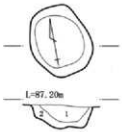
0　1:40　1m

第51図　154・155・157～162・164・165号土坑



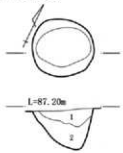
第52図　167～179号土坑

180号土坑



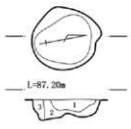
180号土坑
1　黒褐色土層　褐色土を少量含む。
2　褐色土層

181号土坑



181号土坑
1　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
2　暗褐色土層

182号土坑

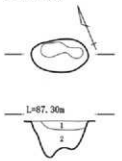


182号土坑
1　黒褐色土層
2　暗褐色土層
3　褐色土層

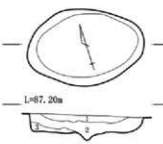
183号土坑

183号土坑
1　暗褐色土層

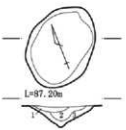
184号土坑



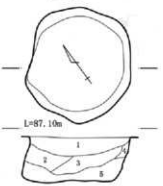
185号土坑



188号土坑



189号土坑



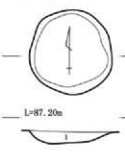
184号土坑
1　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。

185号土坑
1　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を含む。
3　暗褐色土層

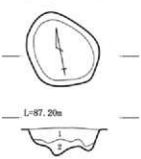
188号土坑
1　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
2　褐色土層　黒褐色土を少量含む。
3　褐色土層　ロームブロックを含む。

189号土坑
1　黒褐色土層　ローム粒を少量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
3　暗褐色土層　ロームブロックをやや多量含む。
4　暗褐色土層　ローム粒を微量含む。
5　黒褐色土層　ローム粒・ブロックを少量含む。

190号土坑

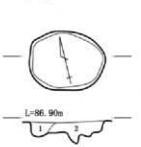


191号土坑



192号土坑

193号土坑



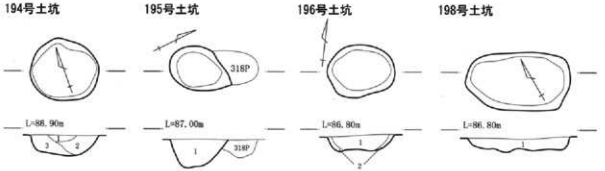
190号土坑
1　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。

191号土坑
1　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
2　黄褐色土層

193号土坑
1　暗褐色土層　ローム粒を含む。
2　暗褐色土層　ロームブロックを含む。

0　1:40　1m

第53図　180～185・188～193号土坑



194号土坑
1　黒色土層
2　暗褐色土層
3　黄褐色土層　ロームブロックを含む。

195号土坑
1　暗褐色土層　ロームブロックを微量含む。

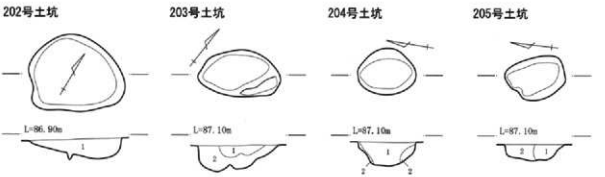
196号土坑
1　暗褐色土層　ロームブロックを含む。
2　黄褐色土層

198号土坑
1　暗褐色土層　ロームブロックを含む。

199号土坑
1　暗褐色土層　ロームブロックを含む。
2　黄褐色土層　褐色土、暗褐色土を含む。
3　黄褐色土層　2層にパミスを含む。

200号土坑
1　暗褐色土層　ローム粒を微量含む。

201号土坑
1　褐色土層　ローム粒を含む。



202号土坑
1　褐色土層　ローム漸移層主体土。

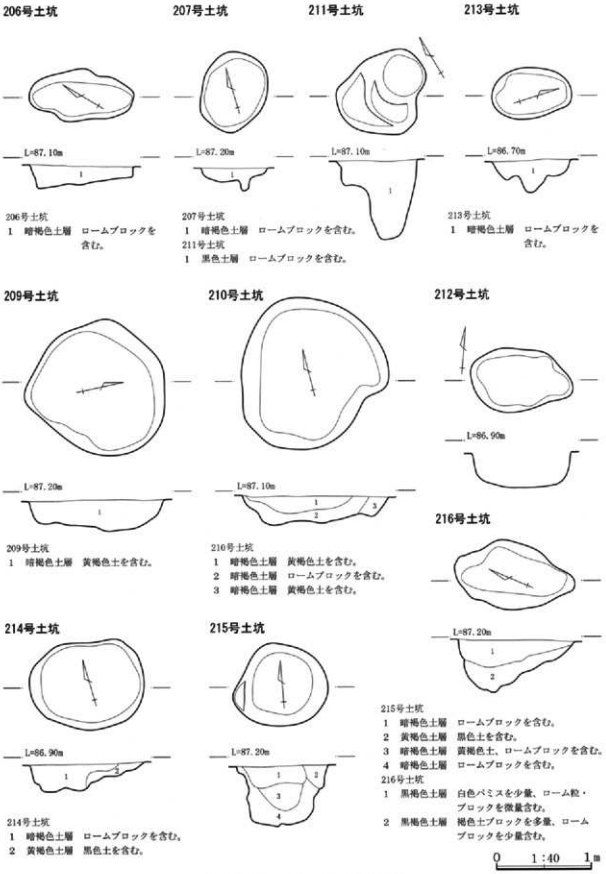
203号土坑
1　黒色土層　ロームブロックを含む。
2　黄褐色土層　暗褐色土を含む。

204号土坑
1　黒色土層　ロームブロックを含む。
2　黄褐色土層

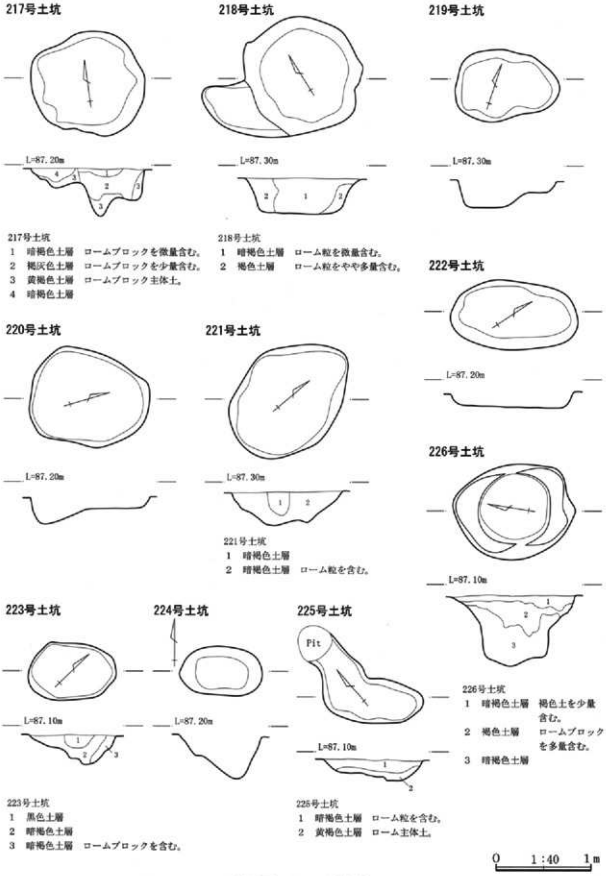
205号土坑
1　黒色土層　ロームブロックを含む。
2　暗褐色土層　ロームブロックを含む。

0　1:40　1m

第54図　194～196・198～205号土坑

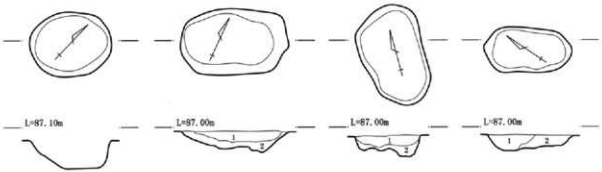


第55図　206・207・209～216号土坑



第56図　217～226号土坑

227号土坑　228号土坑　232号土坑　233号土坑

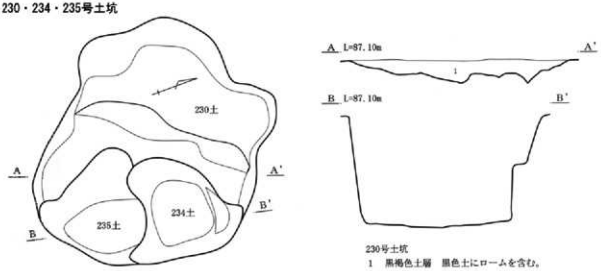


228号土坑
1　暗褐色土層　褐色土ブロックを少量含む。
2　褐色土層　ロームブロックを少量含む。

232号土坑
1　暗褐色土層　ロームブロックを含む。
2　黄褐色土層　ロームブロック、暗褐色土を含む。

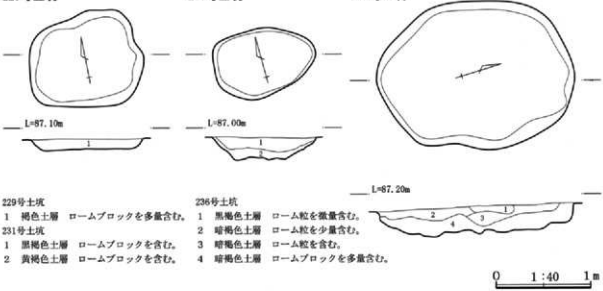
233号土坑
1　黒色土層　ロームブロックを含む。
2　暗褐色土層　黒色土を含む。

230・234・235号土坑



230号土坑
1　黒褐色土層　黒色土にロームを含む。

229号土坑　231号土坑　236号土坑

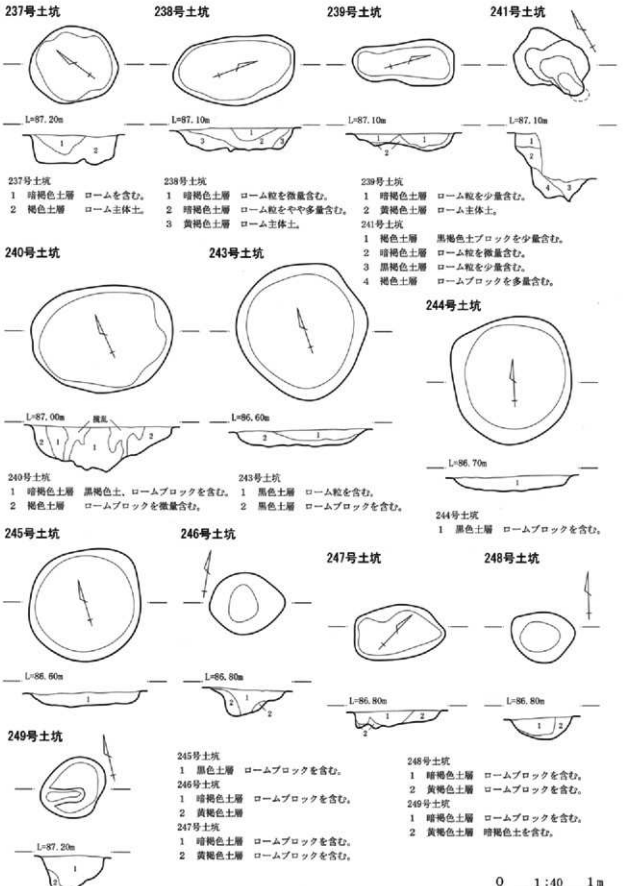


229号土坑
1　褐色土層　ロームブロックを多量含む。

231号土坑
1　黒褐色土層　ロームブロックを含む。
2　黄褐色土層　ロームブロックを含む。

236号土坑
1　黒褐色土層　ローム粒を微量含む。
2　暗褐色土層　ローム粒を少量含む。
3　暗褐色土層　ローム粒を含む。
4　暗褐色土層　ロームブロックを多量含む。

第57図　227～236号土坑



237号土坑
1 暗褐色土層 ロームを含む。
2 褐色土層 ローム主体土。

238号土坑
1 暗褐色土層 ローム粒を微量含む。
2 暗褐色土層 ローム粒をやや多量含む。
3 黄褐色土層 ローム主体土。

239号土坑
1 暗褐色土層 ローム粒を少量含む。
2 黄褐色土層 ローム主体土。

241号土坑
1 褐色土層 黒褐色土ブロックを少量含む。
2 暗褐色土層 ローム粒を微量含む。
3 黒褐色土層 ローム粒を少量含む。
4 褐色土層 ロームブロックを多量含む。

240号土坑
1 暗褐色土層 黒褐色土，ロームブロックを含む。
2 褐色土層 ロームブロックを微量含む。

243号土坑
1 黒色土層 ローム粒を含む。
2 黒色土層 ロームブロックを含む。

244号土坑
1 黒色土層 ロームブロックを含む。

245号土坑
1 黒色土層 ロームブロックを含む。

246号土坑
1 暗褐色土層 ロームブロックを含む。
2 黄褐色土層

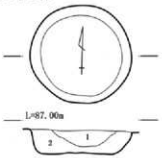
247号土坑
1 暗褐色土層 ロームブロックを含む。
2 黄褐色土層 ロームブロックを含む。

248号土坑
1 暗褐色土層 ロームブロックを含む。
2 黄褐色土層 ロームブロックを含む。

249号土坑
1 暗褐色土層 ロームブロックを含む。
2 黄褐色土層 暗褐色土を含む。

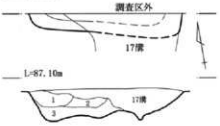
第58図 237～241・243～249号土坑

250号土坑



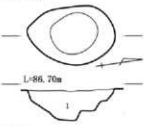
250号土坑
1　黒色土層　　ロームブロックを含む。
2　暗褐色土層　ロームブロックを含む。

251号土坑

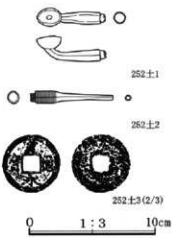


251号土坑
1　暗褐色土層　黒色土を含む。
2　暗褐色土層　ロームブロック、黒色土を含む。
3　暗褐色土層　ロームブロックを含む。

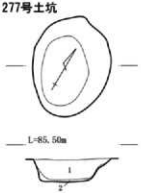
252号土坑



252号土坑
1　暗褐色土層　ローム粒を微量含む。

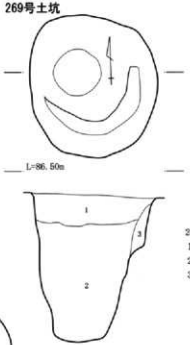


277号土坑



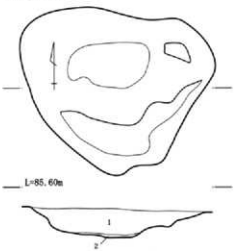
277号土坑
1　褐灰色土層　褐色土粒を少量、白色パミスを微量含む。
2　灰褐色土層　褐灰色土を少量含む。

269号土坑



269号土坑
1　暗褐色土層　黄色パミス微量。砂質。
2　暗褐色土層　黒褐色土、白色パミスを含む。
3　暗褐色土層　赤褐色土若干。

278号土坑

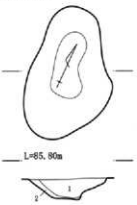


278号土坑
1　褐灰色土層　褐色土粒を少量、白色パミスを微量含む。
2　灰褐色土層　砂質土。

279号土坑

279号土坑
1　褐灰色土層　白色パミスを微量含む。

280号土坑



280号土坑
1　褐灰色土層　白色パミスを微量。
2　灰褐色土層　砂質土。

0　1:40　1m

第59図　250～252・269・277～280号土坑

第3表　土坑一覧表

番号	区	図	PL	グリッド	長軸方位	形状	重複	堆土	規模（cm） 長軸	短軸	深さ	備　考
4	Ⅱ	41	－	695-240	N -93° - W	楕円形		Ⅳ	93	83	9	
8	Ⅱ	41	－	705-305	N - 7° - E	不整形		Ⅳ	265	90	107	
9	Ⅱ	41	－	705-310	N -27° - E	隅丸長方形		Ⅳ	107	75	10	縄文細片
10	Ⅱ	41	－	720-320	N -30° - E	不整形		Ⅳ	110	82	16	
11	Ⅱ	41	－	720-320	N -75° - W	不整形		Ⅰ	66	47	23	
12	Ⅱ	41	－	720-320	N -19° - E	隅丸長方形		Ⅰ	137	70	21	土師器細片
13	Ⅱ	41	－	720-330	N -90°	隅丸長方形		Ⅰ	227	84	13	土師器細片
14	Ⅱ	41	－	720-325	N -84° - E	不整形		Ⅰ	678	88	17	縄文細片
15	Ⅱ	42	－	710-320	N -49° - E	楕円形		Ⅳ	120	91	26	
16	Ⅱ	42	9	725-330	N -77° - E	隅丸長方形		Ⅳ	208	132	163	陶器、縄文細片
17	Ⅱ	42	－	720-330	N -73° - W	隅丸長方形		Ⅰ	189	59	31	
18	Ⅱ	42	－	720-330	N -90°	隅丸長方形		Ⅰ	233	86	21	
19	Ⅱ	42	－	720-330	N - 4° - E	不整形		Ⅰ	200	87	22	
20	Ⅱ	28-29	9	710-310	N - 4° - W	楕円形		Ⅱ	87	50	10	茅山上層、諸磯ｃ
21	Ⅱ	30	9	710-310	－	不整形		Ⅳ	－	－	8	
22	Ⅱ	31	9	715-310	N -33° - E	円形		Ⅳ	68	56	43	
23	Ⅱ	42	9	730-320	N -20° - E	円形		Ⅳ	90	84	24	縄文細片
24	Ⅲ	42	9	665-190	N -80° - W	円形		Ⅰ	132	125	23	
25	Ⅲ	42	10	675-145	N -69° - W	楕円形		Ⅳ	238	130	215	隔し穴
26	Ⅳ	43	10	670-120	N -39° - E	楕円形		Ⅳ	193	98	123	隔し穴・加曽利Ｅ
27	Ⅳ	43	10	660-120	N -66° - W	不整形		Ⅳ	240	140	73	
28	Ⅳ	44	10	655-100	N -27° - E	楕円形		Ⅳ	158	110	69	縄文細片
29	Ⅳ	43	10	645-110	N - 8° - E	楕円形		Ⅰ	194	123	124	隔し穴・加曽利Ｅ
30	Ⅳ	31-32	10	610-055	N -10° - W	円形		Ⅳ	50	44	13	
31	Ⅳ	33	10	615-065	N -68° - E	楕円形		Ⅳ	221	147	137	隔し穴
32	Ⅳ	43	10	630-075	N -45° - W	隅丸長方形		Ⅳ	300	22	137	隔し穴
33	Ⅳ	34-35	11	610-070	N -15° - E	隅丸方形		Ⅳ	62	52	10	
34	Ⅳ	44	11	650-120	N -41° - W	円形		Ⅳ	80	73	20	
35	Ⅳ	44	11	650-120	N -74° - E	楕円形		Ⅳ	102	78	17	
36	Ⅳ	43	11	650-125	－	隅丸長方形		Ⅰ	－	－	8	縄文細片
37	Ⅳ	44	11	635-100	N -58° - E	楕円形		Ⅰ	162	98	24	加曽利Ｅ
38	Ⅳ	44	11	630-105	N -21° - W	楕円形		Ⅳ	241	130	57	加曽利Ｅ
39	Ⅳ	44	11	625-100	－	不整形			－	－	39	Ⅳ区土坑群・加曽利Ｅ
40	Ⅳ	44	11	635-100	－	不整形			－	－	43	Ⅳ区土坑群
41	Ⅳ	44	11	635-100	－	不整形			－	－	30	Ⅳ区土坑群
42	Ⅳ	44	11	635-095	－	不整形			－	－	58	Ⅳ区土坑群
43	Ⅳ	44	11	630-100	－	不整形		Ⅰ	－	－	79	Ⅳ区土坑群
44	Ⅳ	44	11	630-095	－	不整形			－	－	49	Ⅳ区土坑群
45	Ⅳ	44	11	635-095	N -36° - W	楕円形			118	86	47	Ⅳ区土坑群
46	Ⅳ	44	11	630-095	N -17° - W	楕円形			79	54	18	Ⅳ区土坑群
47	Ⅳ	44	11	630-095	－	不整形			－	－	60	Ⅳ区土坑群
48	Ⅳ	44	11	630-095	N -62° - W	楕円形		Ⅰ	180	66	14	Ⅳ区土坑群
49	Ⅳ	44	11	630-100	N -85° - W	楕円形			99	74	39	Ⅳ区土坑群
50	Ⅳ	44	11	630-095	－	不整形			－	－	75	Ⅳ区土坑群
51	Ⅳ	44	11	630-100	N -66° - W	不整形			116	72	26	Ⅳ区土坑群
52	Ⅳ	44	11	630-100	N -11° - W	不整形			240	－	19	Ⅳ区土坑群
53	Ⅳ	44	11	630-100	－	不整形			－	－	24	Ⅳ区土坑群
54	Ⅳ	44	11	630-100	－	不整形			－	－	42	Ⅳ区土坑群
55	Ⅳ	44	11	630-100	－	－			－	－	14	Ⅳ区土坑群
56	Ⅳ	44	11	625-100	N -90°	楕円形			159	58	24	Ⅳ区土坑群
57	Ⅳ	44	11	625-100	－	－			－	－	－	Ⅳ区土坑群
58	Ⅳ	44	11	625-100	－	－			－	－	16	Ⅳ区土坑群
59	Ⅱ	45	11	710-330	N -23° - E	円形		Ⅰ	128	117	30	加曽利Ｅ期
60	Ⅱ	45	11	705-330	N -50° - W	楕円形		Ⅰ	135	123	11	
61	Ⅱ	45	12	705-315	N -26° - E	隅丸長方形		Ⅰ	226	65	22	
62	Ⅱ	45	12	705-315	N -25° - E	隅丸長方形		Ⅰ	213	53	19	
63	Ⅱ	45	12	700-330	N -86° - E	楕円形		Ⅳ	207	74	15	
64	Ⅱ	45	12	665-325	N -63° - E	楕円形		Ⅳ	84	59	18	
65	Ⅱ	45	12	705-330	N -65° - W	不整形		Ⅳ	172	113	17	縄文細片
66	Ⅱ	45	12	715-335	N -57° - W	楕円形			193	71	116	
67	Ⅱ	36-37	12	710-335	N -65° - E	不整形		Ⅳ	328	110	29	
68	Ⅲ	45	12	665-210	N -25° - E	円形		Ⅳ	144	138	28	

番号	区	図	PL	グリッド	長軸方位	形状	重複	埋土	規模（cm）			備　考
									長軸	短軸	深さ	
69	Ⅳ	46	13	595-055	N -82° - E	円形		Ⅱ	106	90	10	
70	Ⅳ	46	13	595-055	N -34° - E	円形		Ⅱ	76	72	8	縄文細片
71	Ⅳ	38	13	600-055	N -39° - E	－		Ⅰ	100	89	26	
72	Ⅳ	38	13	600-055	－	－		Ⅰ	－	－	24	
73	Ⅳ	39・40	13	605-055	N -25° - E	楕円形		Ⅰ	79	68	30	
74	Ⅳ	46	13	605-065	N -11° - W	楕円形		Ⅱ	100	82	8	
75	Ⅰ	46	13	715-355	N -25° - E	楕円形		Ⅲ	113	68	26	
76	Ⅰ	46	13	715-365	N -11° - W	隅丸長方形		Ⅲ	280	86	10	
77	Ⅰ	46	14	720-370	N - 1° - W	隅丸長方形		Ⅲ	184	65	9	
78	Ⅰ	46	14	730-365	N -40° - W	円形		Ⅲ	116	101	12	
79	Ⅰ	46	14	730-360	N -56° - W	不整形	79→80	Ⅱ	97	54	14	
80	Ⅰ	46	14	735-360	N -16° - W	円形		Ⅲ	130	124	12	
81	Ⅰ	46	14	730-355	N -13° - E	円形		Ⅳ	102	99	30	
82	Ⅰ	46	14	740-375	N -82° - E	円形		Ⅲ	104	87	14	
83	Ⅰ	47	14	740-370	N -90°	不整形		Ⅲ	180	94	7	
84	Ⅰ	47	14	740-370	N -68° - E	不整形		Ⅲ	160	130	14	
85	Ⅰ	47	14	740-365	N -80° - W	円形	86→85	Ⅲ	122	105	12	
86	Ⅰ	47	14	740-365	N -49° - W	円形		Ⅲ	143	94	10	
87	Ⅰ	47	15	740-365	N -29° - W	楕円形		Ⅲ	136	118	18	
88	Ⅰ	47	15	740-365	N - 3° - E	円形		Ⅲ	147	146	23	縄文細片
89	Ⅰ	47	15	745-360	N -29° - W	不整形		Ⅰ	165	137	55	加曽利Ｅ
90	Ⅰ	47	15	740-370	N -90°	円形		Ⅲ	132	115	13	
91	Ⅰ	47	15	745-370	N -46° - E	円形		Ⅲ	142	130	19	
92	Ⅰ	47	15	745-370	N -56° - W	円形		Ⅲ	145	123	16	
93	Ⅰ	48	15	745-375	N -59° - W	円形		Ⅲ	115	103	9	
94	Ⅰ	48	15	750-375	N -23° - W	隅丸方形		Ⅲ	106	78	5	
95	Ⅰ	48	16	750-370	N -73° - E	円形		Ⅲ	143	132	26	
96	Ⅰ	48	16	750-365	N -53° - W	円形		Ⅲ	160	150	18	
97	Ⅰ	48	16	745-365	N -44° - E	円形		Ⅲ	160	150	22	
98	Ⅰ	48	16	745-365	N -83° - E	不整形	重複。新旧不明	Ⅱ	96	64	8	
99	Ⅰ	48	16	745-365	N -74° - E	不整形		Ⅲ	118	68	15	
100	Ⅰ	48	16	745-365	N -13° - E	不整形		Ⅲ	104	61	13	
101	Ⅰ	48	16	745-365	N -0°	円形		Ⅲ	152	150	10	
102	Ⅰ	48	16	740-355	N - 7° - W	隅丸長方形		Ⅲ	167	120	15	陶磁器片
103	Ⅰ	48	16	740-350	N -11° - W	隅丸長方形		Ⅲ	238	129	19	
104	Ⅰ	49	16	745-350	N -18° - E	不整形		Ⅲ	149	103	14	
105	Ⅰ	49	17	745-355	N -46° - E	円形		Ⅲ	121	109	11	
106	Ⅰ	49	17	745-355	N - 4° - W	円形		Ⅲ	146	135	28	
107	Ⅰ	49	17	740-365	N -32° - E	不整形		Ⅲ	148	128	21	
109	Ⅰ	49	17	750-365	N - 2° - E	－			60	35	16	土坑群１
110	Ⅰ	49	17	750-365	N -89° - W	不整形			86	77	16	土坑群１
111	Ⅰ	49	17	750-365	N - 2° - W	円形			84	74	14	土坑群１
112	Ⅰ	49	17	750-365	－	－			－	－	－	土坑群１
113	Ⅰ	49	17	750-365	N -57° - E	不整形			106	72	8	土坑群１
114	Ⅰ	49	17	745-365	N -74° - E	－			66	43	9	土坑群１
115	Ⅰ	49	17	750-365	N -35° - E	不整形			130	94	23	土坑群１
116	Ⅰ	49	17	750-365	N -56° - E	不整形			105	92	23	土坑群１
117	Ⅰ	49	17	745-365	N -53° - E	－			92	80	10	土坑群１
118	Ⅰ	49	17	745-360	N -34° - E	不整形			100	80	10	土坑群１
119	Ⅰ	49	17	745-360	N -58° - E	不整形			104	90	18	土坑群１
120	Ⅰ	49	17	750-360	N -20° - W	－			86	44	14	土坑群１
121	Ⅰ	49	17	750-360	N -58° - W	不整形			148	122	27	土坑群１
122	Ⅰ	49	17	750-360	N -67° - W	－			87	36	15	土坑群１
123	Ⅰ	49	17	745-360	N -33° - E	－			103	70	－	土坑群１
124	Ⅰ	49	17	745-360	N -34° - W	－			80	66	9	土坑群１
125	Ⅰ	49	17	745-360	N -75° - E	不整形			127	88	16	土坑群１
126	Ⅰ	49	17	745-360	N -34° - E	－			114	70	5	土坑群１
127	Ⅰ	49	17	745-360	N -34° - E	－			119	80	13	土坑群１
128	Ⅰ	49	17	745-360	N -34° - E	不整形			75	50	11	土坑群１
129	Ⅰ	49	17	745-360	N -70° - W	不整形			132	81	14	土坑群１
130	Ⅰ	50	17	745-355	N -15° - W	不整形		Ⅲ	96	76	10	土坑群２
131	Ⅰ	50	17	745-355	N -85° - W	不整形			124	42	10	土坑群２
132	Ⅰ	50	17	745-355	N -84° - E	不整形			97	42	5	土坑群２
133	Ⅰ	50	17	745-355	N -76° - W	不整形			133	62	11	土坑群２

番号	区	面	PL	グリッド	長軸方位	形状	重複	堆土	規模（cm）			備考
									長軸	短軸	深さ	
134	Ⅰ	50	17	745-355	N -72° - E	楕円形			123	74	11	土坑群 2
135	Ⅰ	50	17	745-355	N -17° - W	不整形			65	45	11	土坑群 2
136	Ⅰ	50	17	745-355	N - 2° - E	楕円形			71	57	12	土坑群 2
137	Ⅰ	50	17	745-355	N -35° - W	不整形			76	58	15	土坑群 3
138	Ⅰ	50	17	745-355	N -53° - W	楕円形			98	49	8	土坑群 3
139	Ⅰ	50	17	745-355	N -38° - W	不整形			98	53	6	土坑群 3
140	Ⅰ	50	17	745-355	N -11° - E	円形			52	47	18	土坑群 3
141	Ⅰ	50	17	745-355	N -18° - E	不整形			110	71	11	土坑群 3
142	Ⅰ	50	17	745-355	N -51° - E	楕円形		Ⅰ	98	59	7	土坑群 3
143	Ⅰ	50	17	745-355	N -15° - E	不整形			129	53	17	土坑群 3
144	Ⅰ	50	17	745-355	N - 2° - E	不整形			121	80	10	土坑群 3
145	Ⅱ	49	17	695-250	N -22° - E	楕円形		Ⅱ	116	90	30	
146	Ⅱ	49	17	695-255	N -63° - W	円形	91P が新	Ⅱ	68	64	13	伽曽利 E2
147	Ⅱ	50	18	695-260	N - 4° - W	楕円形		Ⅰ	202	102	57	
148	Ⅱ	50	18	700-265	N -50° - E	円形		Ⅰ	64	60	17	
149	Ⅱ	50	18	700-270	N -10° - W	楕円形		Ⅰ	122	46	20	
150	Ⅱ	50	18	700-275	N -70° - W	隅丸長方形		Ⅰ	169	54	20	
151	Ⅱ	50	18	705-275	N -70° - W	隅丸長方形		Ⅰ	218	65	37	
152	Ⅱ	50	18	705-275	N -69° - W	隅丸長方形		Ⅰ	222	64	25	
153	Ⅱ	50	18	695-285	N -18° - E	隅丸長方形		Ⅰ	170	56	6	茅山上層
154	Ⅱ	51	18	695-280	N -21° - E	隅丸長方形		Ⅰ	154	58	20	
155	Ⅱ	51	19	700-255	N -20° - E	円形		Ⅱ	70	68	14	土師器片
157	Ⅱ	51	19	685-255	N -75° - W	楕円形	27 溝が新	Ⅱ	100	64	14	
158	Ⅱ	51	19	695-290	N -60° - W	隅丸方形		Ⅱ	64	57	21	
159	Ⅱ	51	19	695-295	N -68° - W	隅丸長方形		Ⅰ	192	60	8	
160	Ⅱ	51	19	700-300	N -14° - W	楕円形		Ⅰ	98	79	16	
161	Ⅱ	51	19	700-300	N -72° - E	楕円形		Ⅱ	136	76	20	
162	Ⅱ	51	19	720-290	N -45° - W	不整形		Ⅱ	100	45	16	
164	3	51	19	685-130	N - 9° - W	円形		Ⅰ	133	－	38	溝碗 c
165	3	51	20	710-205	N -60° - E	楕円形		Ⅰ	98	82	24	
167	2	52	20	750-335	N -71° - E	不整形		Ⅰ	80	56	24	
168	2	52	20	760-320	N - 7° - E	不整形		Ⅰ	124	66	30	
169	2	52	20	765-325	N -73° - W	楕円形		Ⅰ	64	44	19	
170	2	52	20	765-310	N -80° - E	楕円形		Ⅰ	75	38	41	
171	2	52	20	765-310	N -59° - E	楕円形		Ⅰ	86	51	36	
172	2	52	20	760-310	N -19° - E	円形		Ⅱ	60	58	23	
173	2	52	20	760-310	N -34° - E	楕円形		Ⅱ	88	56	33	
174	2	52	21	755-315	N -50° - E	楕円形		Ⅰ	60	42	32	
175	2	52	21	755-320	N -81° - W	不整形		Ⅰ	92	79	24	
176	2	52	21	755-315	N -19° - E	楕円形		Ⅱ	65	50	18	
177	2	52	21	750-310	N -43° - E	不整形		Ⅰ	64	37	30	縄文細片
178	2	52	21	750-310	N - 3° - W	不整形		Ⅰ	149	122	41	
179	2	52	21	750-310	N -50° - E	楕円形		Ⅱ	80	55	42	
180	2	53	21	750-310	N -11° - E	楕円形		Ⅱ	77	65	26	
181	2	53	21	750-315	N -69° - W	円形		Ⅰ	67	63	40	
182	2	53	22	740-305	N - 5° - W	円形		Ⅱ	74	64	20	
183	2	53	22	750-295	N -90°	楕円形		Ⅱ	150	46	21	
184	2	53	22	750-290	N -67° - W	楕円形		Ⅰ	60	36	42	土師器甕口縁片 1
185	2	53	22	745-300	N -85° - W	楕円形		Ⅰ	126	82	30	
188	3	53	22	730-275	N -49° - E	楕円形		Ⅰ	92	70	27	
189	3	53	22	715-235	N - 5° - E	円形		Ⅰ	121	119	47	
190	3	53	22	715-230	N -53° - W	円形		Ⅰ	92	88	8	
191	3	53	22	720-240	N - 4° - W	楕円形		Ⅰ	81	74	32	
192	2	53	23	735-290	N -86° - E	楕円形			83	58	27	
193	2	53	23	735-290	N -84° - W	楕円形		Ⅰ	83	62	22	
194	2	54	23	735-295	N -70° - W	円形		Ⅰ	73	64	22	
195	2	54	23	735-290	N -47° - E	楕円形	318P が旧	Ⅰ	70	44	27	
196	2	54	23	730-295	N -84° - E	楕円形		Ⅰ	73	54	20	
198	2	54	23	735-300	N -63° - W	隅丸長方形		Ⅰ	110	60	16	
199	2	54	23	735-300	N -71° - W	不整形		Ⅰ	134	75	37	
200	2	54	23	740-300	N -34° - E	不整形		Ⅰ	140	94	46	
201	2	54	24	740-300	N -41° - E	不整形		Ⅰ	105	70	32	
202	2	54	24	745-300	N -73° - E	楕円形		Ⅰ	106	82	21	
203	2	54	24	750-305	N -56° - E	楕円形		Ⅰ	88	50	26	

番号	区	図	ＰＬ	グリッド	長軸方位	形状	重複	埋土	規模（ｃｍ）			備　考
									長軸	短軸	深さ	
204	2	54	24	755-305	N -95° - W	楕円形		Ⅰ	63	50	27	
205	2	54	24	750-300	N -65° - W	楕円形		Ⅰ	65	45	18	
206	2	55	24	750-295	N -31° - W	不整形		Ⅰ	113	46	22	
207	2	55	24	755-300	N -20° - E	楕円形		Ⅰ	86	70	22	
209	2	55	24	755-290	N - 3° - E	不整形		Ⅱ	150	140	44	
210	2	55	25	750-290	N -30° - E	不整形		Ⅰ	158	134	35	
211	2	55	25	750-285	N -80° - E	不整形		Ⅰ	100	84	80	
212	2	55	25	735-300	N -78° - W	不整形		Ⅱ	110	68	36	
213	2	55	25	725-290	N -18° - W	楕円形		Ⅰ	85	53	34	
214	2	55	25	730-285	N -72° - W	楕円形		Ⅰ	121	92	29	
215	2	55	25	760-300	N -84° - E	楕円形		Ⅰ	103	86	59	
216	2	55	25	760-315	N -15° - W	不整形		Ⅰ	128	70	56	
217	2	56	25	760-310	N -65° - W	不整形		Ⅰ	122	106	66	
218	2	56	26	765-320	N -90°	円形		Ⅰ	125	120	36	
219	2	56	26	760-320	N -74° - E	楕円形		Ⅰ	112	70	28	
220	2	56	26	755-320	N -17° - E	楕円形		Ⅱ	128	100	23	
221	2	56	26	770-330	N - 1° - E	不整形		Ⅰ	146	108	47	
222	2	56	26	755-330	N -40° - E	楕円形		Ⅱ	134	73	14	
223	2	56	26	750-315	N -30° - E	楕円形		Ⅰ	94	60	30	
224	2	56	26	750-325	N -90°	楕円形		Ⅱ	88	50	48	
225	2	56	26	745-320	N -45° - W	楕円形		Ⅰ	110	48	21	
226	2	56	27	745-320	N - 5° - W	楕円形		Ⅰ	130	120	77	縄文細片
227	2	57	27	740-320	N -45° - E	楕円形		Ⅱ	86	68	30	
228	2	57	27	745-315	N -60° - E	楕円形		Ⅰ	116	68	28	縄文細片
229	2	57	27	745-315	N -80° - W	隅丸長方形		Ⅰ	122	90	18	
230	2	57	27	745-320	－	楕円形	234・235	Ⅰ	－	－	－	縄文細片
231	2	57	27	740-315	N -90°	楕円形		Ⅰ	108	70	35	
232	2	57	27	740-315	N - 5° - E	隅丸長方形		Ⅰ	108	62	20	
233	2	57	27	740-315	N -31° - W	楕円形		Ⅰ	94	46	29	
234	2	57	27	745-315	－	－	230・235	Ⅰ	－	－	－	
235	2	57	27	745-315	－	－	230・234	Ⅰ	－	－	－	縄文細片
236	3	57	28	730-275	N -18° - E	楕円形		Ⅰ	210	158	27	縄文細片
237	3	58	28	730-270	N -36° - W	円形		Ⅰ	94	80	32	
238	3	58	28	730-270	N - 4° - E	楕円形		Ⅰ	130	74	28	
239	3	58	28	725-265	N -16° - E	隅丸長方形		Ⅰ	108	42	19	
240	3	58	28	720-260	N -65° - W	楕円形		Ⅰ	150	112	53	
241	3	58	28	715-235	N -55° - W	不整形		Ⅰ	77	41	89	
243	1	58	28	760-365	N - 9° - E	楕円形		Ⅰ	146	140	18	
244	1	58	28	765-365	N -55° - W	円形		Ⅰ	138	134	18	
245	1	58	29	760-365	N -50° - E	楕円形		Ⅰ	128	118	14	
246	1	58	29	765-365	N -80° - E	楕円形		Ⅰ	80	64	26	
247	1	58	29	770-365	N -42° - E	楕円形		Ⅰ	98	54	20	
248	1	58	29	765-370	N -83° - E	不整形		Ⅰ	64	50	23	
249	1	58	29	785-435	N -60° - E	楕円形		Ⅰ	70	54	38	
250	1	59	29	775-415	N -88° - W	円形		Ⅰ	108	104	28	
251	1	59	－	790-410	－	－	17溝が新	Ⅰ	－	－	31	
252	1	59	29	760-360	N -10° - E	楕円形			90	60	30	土坑墓。煙管雁首・吸口、寛永通宝、鉄銭２
269	1	59	29	755-405	N - 0°	円形			150	135	153	
277	1	59	30	750-405	N -18° - W	楕円形			107	82	24	
278	1	59	30	745-405	N -62° - W	不整形			193	154	37	
279	1	59	30	745-410	N -62° - E	隅丸長方形			183	102	7	
280	1	59	30	755-390	N - 8° - W	不整形			142	90	23	

※埋土欄のローマ数字については下記のように分類した。

Ⅰ類…ロームが主体。

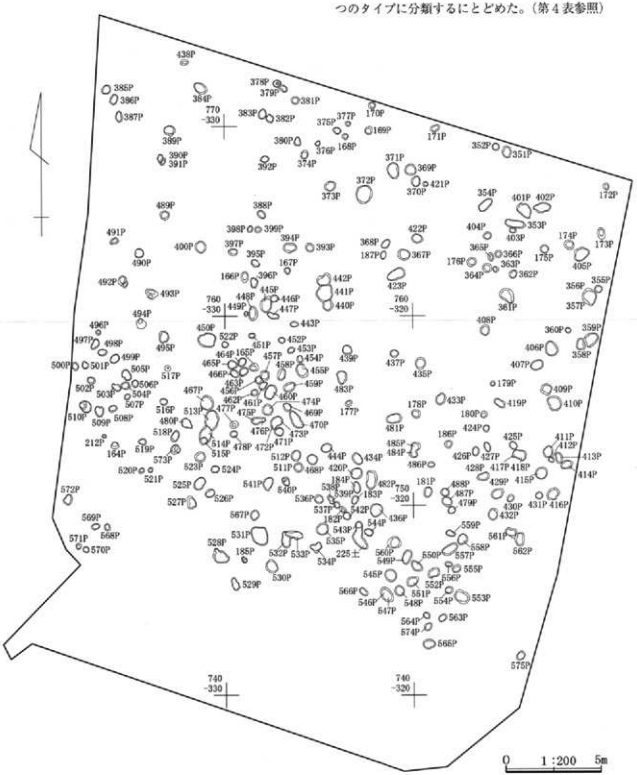
Ⅱ類…黒褐色土または暗褐色土が主体。

Ⅲ類…As－Ｂと思われる軽石を含む。

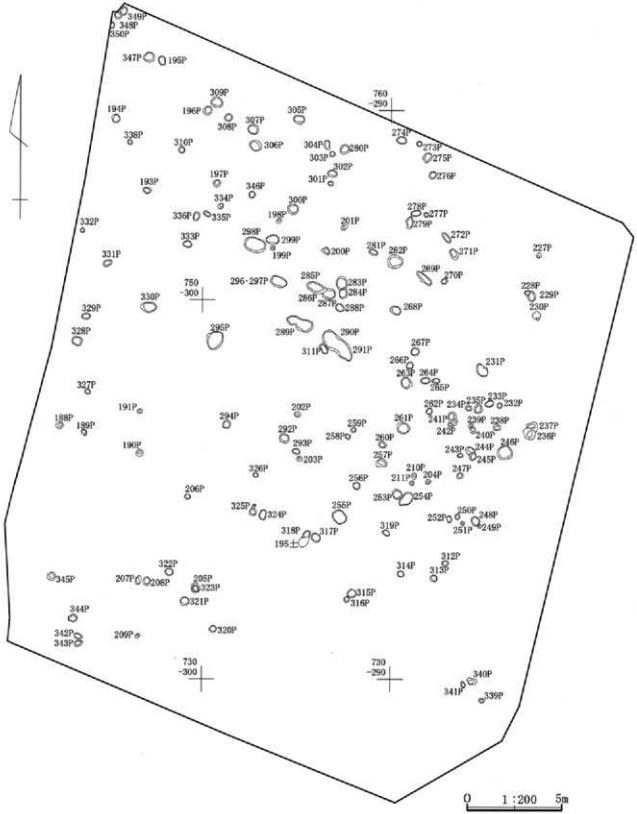
Ⅳ類…As－Ｃと思われる軽石を含む。

4．ピット群

ピットは全調査区で657基が調査された。もっとも集中するのは2区で、410基を調査した。規模、形状はさまざまであり、調査および整理段階において掘立柱建物の検証を行ったが、認定できるものはなかった。また遺物はほとんど出土せず、時期を断定することが困難であるため、埋土の特徴により4つのタイプに分類するにとどめた。（第4表参照）



第60図　2区ピット群（1）



第61図　２区ピット群（２）

第4表　2区ピット群一覧表

No.	区	グリッド	規模（cm） NS	EW	深さ	形状	備考（埋土、重複、遺物）
164	2	1	750-335	38	40	44	楕円形	V
165	2	1	755-325	42	50	32	楕円形	I
166	2	1	760-325	58	40	40	楕円形	I
167	2	1	760-325	34	32	29	円形	I
168	2	1	765-320	30	32	24	円形	I
169	2	1	765-330	43	40	31	円形	I
170	2	1	770-320	38	37	27	円形	I
171	2	1	765-315	52	37	20	楕円形	II
172	2	1	765-305	34	34	18	円形	I
173	2	1	760-310	60	38	27	楕円形	I
174	2	1	760-310	50	52	38	円形	I
175	2	1	760-310	44	44	20	円形	I
176	2	1	760-315	46	50	30	楕円形	I
177	2	1	755-320	32	38	27	不整形	V
178	2	1	750-315	44	46	22	隅丸方形	I
179	2	1	755-315	26	26	16	円形	II
180	2	1	750-315	37	35	24	円形	I
181	2	1	750-315	56	44	16	円形	III
182	2	1	745-320	31	35	34	不整形	I
183	2	1	750-320	44	37	32	楕円形	I
184	2	1	750-320	60	42	29	楕円形	I
185	2	1	745-325	32	30	32	不整形	III
186	2	1	750-315	42	40	16	円形	II
187	2	1	760-320	42	34	29	楕円形	I
204	2	1	740-285	26	29	22	不整形	I
205	2	1	730-300	50	44	32	隅丸長方形	II
206	2	1	735-300	20	25	36	不整形	II
207	2	1	735-300	47	32	36	楕円形	II
208	2	1	735-300	47	40	20	楕円形	I
209	2	1	730-300	23	27	14	楕円形	I
210	2	1	740-285	36	25	39	楕円形	不明
211	2	1	740-285	24	25	41	不整形	不明
351	2	1	765-310	66	50	15	楕円形	I
352	2	1	765-315	39	39	16	円形	I
353	2	1	760-310	40	11	18	隅丸長方形	I
354	2	1	765-315	89	46	15	隅丸長方形	I
355	2	1	760-310	30	40	12	楕円形	I
356	2	1	760-310	–	–	20	不整形	I・357P
357	2	1	760-310	–	–	20	不整形	I・356P
358	2	1	755-310	64	40	24	楕円形	I・359P
359	2	1	755-310	74	76	14	楕円形	I・358P
360	2	1	755-310	31	31	26	円形	II
361	2	1	760-310	90	65	35	不整形	I
362	2	1	760-310	42	41	22	楕円形	I
363	2	1	760-315	31	32	32	円形	I
364	2	1	760-315	47	49	32	円形	I
365	2	1	760-315	43	21	19	楕円形	I
366	2	1	760-315	39	39	15	円形	II
367	2	1	760-320	58	65	34	楕円形	I
368	2	1	760-320	59	39	17	楕円形	I
369	2	1	765-320	59	61	24	円形	I
370	2	1	765-315	57	47	17	楕円形	I
371	2	1	765-320	96	58	31	楕円形	I
372	2	1	765-320	93	86	24	楕円形	II
373	2	1	765-320	51	58	11	楕円形	II
374	2	1	765-325	46	38	14	楕円形	I
375	2	1	765-320	34	43	19	楕円形	I
376	2	1	765-325	27	25	12	楕円形	I
377	2	1	770-320	27	29	20	楕円形	I
378	2	1	770-325	38	43	45	円形	I
379	2	1	770-325	40	47	22	楕円形	I
380	2	1	765-325	47	31	18	不整形	I
381	2	1	770-325	42	43	36	円形	I
382	2	1	770-325	47	48	15	楕円形	I
383	2	1	770-325	53	43	15	楕円形	I
384	2	1	770-330	75	53	24	楕円形	I
385	2	1	770-335	53	46	17	楕円形	I
386	2	1	770-335	55	40	20	隅丸長方形	I
387	2	1	770-335	59	36	14	隅丸長方形	I
388	2	1	765-325	50	39	21	楕円形	I
389	2	1	765-330	54	60	23	円形	I
390	2	1	765-330	47	31	20	不整形	I
391	2	1	765-330	45	–	14	楕円形	III
392	2	1	760-325	35	48	14	楕円形	II
393	2	1	760-325	47	46	16	円形	II
394	2	1	760-325	51	75	21	楕円形	II
395	2	1	760-325	50	37	17	楕円形	II
396	2	1	760-325	56	37	15	隅丸長方形	I
397	2	1	760-325	37	49	17	楕円形	I
398	2	1	760-325	35	30	22	楕円形	I
399	2	1	760-325	35	37	11	隅丸方形	I
400	2	1	760-330	64	59	17	楕円形	I
401	2	1	765-310	93	56	20	不整形	I
402	2	1	760-310	54	93	16	不整形	I
403	2	1	760-310	28	37	15	楕円形	I
404	2	1	760-315	39	42	14	円形	I
405	2	1	760-310	61	89	30	不整形	I
406	2	1	755-310	80	67	21	楕円形	V
407	2	1	755-310	51	79	19	楕円形	I
408	2	1	755-315	57	48	33	楕円形	I
409	2	1	755-310	59	56	33	隅丸方形	II
410	2	1	755-310	73	71	24	隅丸方形	I
411	2	1	750-310	60	50	40	楕円形	I
412	2	1	750-310	26	32	15	楕円形	I
413	2	1	750-310	56	36	24	楕円形	II
414	2	1	750-310	42	60	25	不整形	I
415	2	1	750-310	62	64	21	円形	I
416	2	1	750-310	62	64	24	不整形	I
417	2	1	750-310	–	–	24	不整形	I・418P
418	2	1	750-310	–	–	34	不整形	I・417P
419	2	1	755-315	40	54	26	楕円形	I
420	2	1	750-320	58	62	26	円形	I
421	2	1	765-315	26	30	23	円形	III
422	2	1	760-315	48	58	27	楕円形	I
423	2	1	760-320	58	84	25	楕円形	V
424	2	1	750-315	38	34	24	円形	I
425	2	1	750-310	42	40	21	楕円形	III
426	2	1	750-315	50	36	20	楕円形	I
427	2	1	750-315	48	32	15	楕円形	I
428	2	1	750-315	40	64	18	不整形	I
429	2	1	750-315	50	62	26	楕円形	I
430	2	1	750-310	42	35	23	楕円形	I
431	2	1	750-310	38	38	15	円形	I
432	2	1	745-315	60	59	27	隅丸長方形	I
433	2	1	755-315	63	49	28	楕円形	I
434	2	1	750-320	67	45	23	楕円形	I
435	2	1	755-315	63	53	39	楕円形	I
436	2	1	745-320	70	68	24	円形	I
437	2	1	755-320	42	45	20	円形	I
438	2	1	770-330	30	40	12	楕円形	I
439	2	1	755-320	48	48	33	円形	I
440	2	1	760-320	–	53	18	不整形	I・441P
441	2	1	760-320	–	84	25	不整形	I・440,442P
442	2	1	760-320	61	69	26	不整形	I・441P
443	2	1	750-325	29	43	13	楕円形	I
444	2	1	750-320	60	49	28	楕円形	I
445	2	1	750-325	80	61	24	楕円形	I・446P
446	2	1	760-325	37	–	20	不整形	II・445P
447	2	1	760-325	31	64	17	楕円形	I
448	2	1	760-325	76	46	19	楕円形	I
449	2	1	760-325	25	23	15	円形	I
450	2	1	755-330	74	98	15	不整形	I
451	2	1	755-325	32	36	11	楕円形	I
452	2	1	755-325	31	36	18	楕円形	I

No.	区		グリッド	規模（cm）			形状	備考（埋土，重複，遺物）
				NS	EW	深さ		
453	2	1	755-325	33	39	18	楕円形	Ⅰ
454	2	1	755-325	38	33	16	円形	Ⅰ
455	2	1	755-325	78	51	25	楕円形	Ⅰ
456	2	1	755-325	－	－	13	不整形	Ⅰ・457,461P
457	2	1	755-325	－	47	21	不整形	Ⅰ・456P
458	2	1	755-325	67	41	18	楕円形	Ⅰ
459	2	1	755-325	70	49	25	楕円形	Ⅰ
460	2	1	755-325	74	61	20	楕円形	Ⅰ
461	2	1	755-325	46	42	16	不整形	Ⅰ・456P
462	2	1	755-325	34	39	16	楕円形	Ⅰ
463	2	1	755-325	45	46	20	楕円形	Ⅰ
464	2	1	755-325	46	44	15	楕円形	Ⅰ
465	2	1	755-325	46	54	18	不整形	Ⅰ
466	2	1	755-325	40	48	19	楕円形	Ⅰ
467	2	1	755-330	74	70	30	楕円形	Ⅰ
468	2	1	750-325	54	58	20	楕円形	Ⅰ
469	2	1	755-325	44	43	18	楕円形	Ⅰ
470	2	1	750-325	75	52	15	不整形	Ⅰ
471	2	1	750-325	42	50	20	楕円形	Ⅰ
472	2	1	750-325	－	－	12	不整形	Ⅰ・473P
473	2	1	750-325	－	－	17	不整形	Ⅰ・472P
474	2	1	755-325	62	58	16	楕円形	Ⅰ
475	2	1	750-325	－	－	21	不整形	Ⅰ・476P
476	2	1	750-325	－	－	19	不整形	Ⅰ・475P
477	2	1	750-325	38	45	41	楕円形	Ⅰ
478	2	1	750-325	33	35	18	円形	Ⅰ
479	2	1	745-315	40	40	32	不整形	Ⅰ
480	2	1	750-330	68	48	19	不整形	Ⅰ
481	2	1	760-320	50	82	22	楕円形	Ⅰ
482	2	1	750-320	100	53	44	隅丸長方形	Ⅰ
483	2	1	755-320	70	48	23	不整形	Ⅰ
484	2	1	750-315	－	－	18	不整形	Ⅰ・485P
485	2	1	750-315	－	－	25	不整形	Ⅰ・484P
486	2	1	750-315	30	38	16	不整形	Ⅰ
487	2	1	750-315	40	42	25	不整形	Ⅰ
488	2	1	750-315	33	36	20	円形	Ⅰ
489	2	1	765-330	40	40	14	円形	Ⅰ
490	2	1	760-330	50	48	10	円形	Ⅰ
491	2	1	760-335	46	36	9	不整形	Ⅰ
492	2	1	760-335	60	52	19	不整形	Ⅰ
493	2	1	760-330	70	50	7	不整形	Ⅰ
494	2	1	755-330	56	52	10	不整形	Ⅰ
495	2	1	755-330	62	50	10	楕円形	Ⅰ
496	2	1	755-335	28	28	24	円形	Ⅰ
497	2	1	755-335	60	42	10	楕円形	Ⅱ
498	2	1	755-335	37	50	14	楕円形	Ⅰ
499	2	1	755-335	55	40	13	楕円形	Ⅰ
500	2	1	755-335	44	37	30	不整形	Ⅰ
501	2	1	755-335	40	34	17	不整形	Ⅰ
502	2	1	755-335	37	44	17	不整形	Ⅰ
503	2	1	755-335	52	36	17	不整形	Ⅰ
504	2	1	755-335	38	49	19	不整形	Ⅰ
505	2	1	755-335	58	48	19	不整形	Ⅰ
506	2	1	755-330	40	38	17	不整形	Ⅰ
507	2	1	755-335	32	32	23	不整形	Ⅰ
508	2	1	755-335	36	44	14	楕円形	Ⅰ
509	2	1	750-335	55	45	24	不整形	Ⅰ
510	2	1	755-335	60	62	38	不整形	Ⅰ
511	2	1	750-325	49	50	22	円形	Ⅴ
512	2	1	750-325	56	50	16	隅丸長方形	Ⅲ
513	2	1	750-330	106	75	19	不整形	Ⅰ
514	2	1	750-330	88	68	18	不整形	Ⅴ
515	2	1	750-330	39	43	25	隅丸方形	Ⅰ
516	2	1	755-330	36	40	19	不整形	Ⅰ
517	2	1	750-330	30	30	56	円形	Ⅰ
518	2	1	750-330	60	39	20	不整形	Ⅰ
519	2	1	750-330	34	42	11	不整形	Ⅰ
520	2	1	750-330	29	30	16	不整形	Ⅰ

No.	区		グリッド	規模（cm）			形状	備考（埋土，重複，遺物）
				NS	EW	深さ		
521	2	1	750-330	28	27	15	円形	Ⅰ
522	2	1	755-325	33	35	13	不整形	Ⅰ
523	2	1	750-330	55	56	28	不整形	Ⅰ
524	2	1	750-330	36	45	19	隅丸方形	Ⅰ
525	2	1	750-330	63	59	25	不整形	Ⅰ
526	2	1	750-330	41	50	22	不整形	Ⅰ
527	2	1	750-330	68	45	15	不整形	Ⅰ
528	2	1	745-330	63	86	30	不整形	Ⅰ
529	2	1	745-325	63	36	26	不整形	Ⅰ
530	2	1	745-325	73	64	23	不整形	Ⅰ
531	2	1	745-325	95	83	12	不整形	Ⅰ
532	2	1	745-325	86	48	22	不整形	Ⅰ
533	2	1	745-325	97	36	48	不整形	Ⅰ
534	2	1	745-325	48	64	10	不整形	Ⅰ
535	2	1	745-320	64	68	19	円形	Ⅰ
536	2	1	750-320	46	44	14	円形	Ⅰ
537	2	1	750-320	36	34	14	円形	Ⅰ
538	2	1	750-320	－	－	24	不整形	Ⅰ・539P
539	2	1	750-320	－	－	30	不整形	Ⅰ・538P
540	2	1	750-325	46	39	12	円形	Ⅱ
541	2	1	750-325	70	52	30	楕円形	Ⅰ
542	2	1	745-320	40	42	37	円形	Ⅰ
543	2	1	745-320	36	39	16	円形	Ⅰ
544	2	1	745-320	48	41	12	楕円形	Ⅰ
545	2	1	745-320	68	64	30	円形	Ⅰ
546	2	1	745-320	－	－	26	不整形	Ⅰ・547P
547	2	1	745-320	－	－	28	不整形	Ⅰ・546P
548	2	1	745-320	56	52	16	楕円形	Ⅰ
549	2	1	745-320	72	44	20	楕円形	Ⅰ
550	2	1	745-315	72	46	10	楕円形	Ⅰ
551	2	1	745-320	50	60	16	楕円形	Ⅰ
552	2	1	745-315	48	64	11	楕円形	Ⅰ
553	2	1	745-315	84	60	20	楕円形	Ⅰ
554	2	1	745-315	40	44	25	円形	Ⅰ
555	2	1	745-315	40	46	21	楕円形	Ⅰ
556	2	1	745-315	32	40	16	楕円形	Ⅰ
557	2	1	745-315	92	50	12	楕円形	Ⅰ
558	2	1	745-315	58	54	14	楕円形	Ⅰ
559	2	1	745-315	32	52	8	楕円形	Ⅰ
560	2	1	745-320	61	73	23	楕円形	Ⅰ
561	2	1	745-310	42	64	40	不整形	Ⅰ
562	2	1	745-310	72	45	22	不整形	Ⅰ
563	2	1	740-315	47	31	19	楕円形	Ⅰ
564	2	1	740-315	35	35	22	円形	Ⅰ
565	2	1	740-315	51	66	24	楕円形	Ⅰ
566	2	1	745-320	50	32	20	不整形	Ⅰ
567	2	1	745-325	54	46	17	不整形	Ⅰ
568	2	1	745-335	37	32	17	不整形	Ⅰ
569	2	1	745-335	30	45	22	楕円形	Ⅰ
570	2	1	745-335	31	32	20	円形	Ⅰ
571	2	1	745-335	31	28	40	不整形	Ⅰ
572	2	1	750-335	57	46	17	不整形	Ⅰ
573	2	1	750-330	50	50	129	隅丸長方形	Ⅰ
574	2	1	740-315	49	36	34	楕円形	Ⅰ
575	2	1	740-310	51	36	36	楕円形	Ⅰ
188	2	2	740-305	37	42	27	不整形	Ⅱ・茅山上層
189	2	2	740-305	36	28	23	不整形	Ⅰ
190	2	2	740-300	38	38	57	円形	Ⅰ
191	2	2	740-300	26	30	45	不整形	Ⅱ
193	2	2	755-300	32	42	41	楕円形	Ⅰ
194	2	2	755-300	48	44	26	円形	Ⅱ
195	2	2	760-300	46	40	22	円形	Ⅰ・318P
196	2	2	755-295	47	50	21	不整形	Ⅱ
197	2	2	755-295	38	38	23	不整形	Ⅱ
198	2	2	750-295	24	26	41	不整形	Ⅰ
199	2	2	750-295	23	25	31	円形	Ⅰ
200	2	2	750-290	37	43	33	不整形	Ⅱ
201	2	2	750-290	27	32	32	不整形	Ⅰ

2区ピット群一覧表

No.	区		グリッド	規模（cm）			形状	備考（埋土、遺構、遺物）
				NS	EW	深さ		
202	2	2	740-290	34	32	47	不整形	Ⅰ
203	2	2	740-290	26	31	44	不整形	Ⅰ
212	2	2	750-335	20	24	12	楕円形	Ⅰ
227	2	2	750-280	26	26	50	円形	Ⅰ
228	2	2	750-280	28	31	17	円形	Ⅰ
229	2	2	750-280	57	44	16	楕円形	Ⅰ
230	2	2	745-280	38	44	70	円形	Ⅰ・縄文細片
231	2	2	745-285	77	65	32	不整形	Ⅰ
232	2	2	740-280	30	28	21	円形	Ⅰ
233	2	2	740-280	34	48	21	楕円形	Ⅰ
234	2	2	740-285	30	34	26	楕円形	Ⅰ
235	2	2	740-285	48	40	23	楕円形	Ⅰ
236	2	2	740-280	60	62	28	不整形	Ⅰ・237P
237	2	2	740-280	－	58	22	不整形	Ⅰ・236P
238	2	2	740-280	34	42	18	不整形	Ⅰ
239	2	2	740-285	20	25	19	楕円形	Ⅰ・240P
240	2	2	740-285	－	30	21	不整形	Ⅰ・239P
241	2	2	740-285	－	43	30	不整形	Ⅱ・242P
242	2	2	740-285	34	33	20	円形	Ⅰ・241P
243	2	2	740-285	22	31	18	楕円形	Ⅰ
244	2	2	740-285	34	50	22	不整形	Ⅰ・245P
245	2	2	740-285	－	38	20	不整形	Ⅰ・244P
246	2	2	740-280	72	80	27	楕円形	Ⅰ
247	2	2	740-285	32	34	28	円形	Ⅰ
248	2	2	735-285	52	46	22	楕円形	Ⅰ
249	2	2	735-285	20	20	25	円形	Ⅰ
250	2	2	735-285	30	28	22	円形	Ⅰ
251	2	2	735-285	22	22	23	円形	Ⅰ
252	2	2	735-285	38	26	15	楕円形	Ⅰ
253	2	2	735-285	52	51	31	楕円形	Ⅰ
254	2	2	735-285	91	52	23	楕円形	Ⅰ
255	2	2	735-290	78	64	22	楕円形	Ⅰ
256	2	2	740-290	40	37	28	円形	Ⅰ
257	2	2	740-290	43	58	32	楕円形	Ⅰ
258	2	2	740-290	28	30	21	隅丸方形	Ⅰ
259	2	2	740-290	29	29	27	円形	Ⅰ
260	2	2	740-290	35	40	27	楕円形	Ⅰ
261	2	2	740-285	61	70	19	円形	Ⅰ
262	2	2	740-285	37	34	19	隅丸方形	Ⅰ
263	2	2	745-285	60	60	24	不整形	Ⅰ
264	2	2	745-285	34	50	22	楕円形	Ⅰ
265	2	2	745-285	38	43	22	楕円形	Ⅰ
266	2	2	745-285	39	35	21	楕円形	Ⅰ
267	2	2	745-285	45	45	18	円形	Ⅰ
268	2	2	745-285	44	60	23	楕円形	Ⅰ
269	2	2	750-285	100	28	30	楕円形	Ⅰ
270	2	2	750-285	28	32	31	円形	Ⅰ
271	2	2	750-285	54	38	27	不整形	Ⅰ
272	2	2	750-285	67	29	18	楕円形	Ⅰ
273	2	2	750-285	29	29	19	円形	Ⅰ
274	2	2	755-285	41	56	9	楕円形	Ⅰ
275	2	2	755-285	51	49	20	楕円形	Ⅰ
276	2	2	755-285	39	39	24	円形	Ⅰ
277	2	2	750-285	28	27	19	円形	Ⅰ
278	2	2	750-285	31	53	18	楕円形	Ⅰ
279	2	2	750-285	68	38	17	楕円形	Ⅰ
280	2	2	755-290	54	49	16	楕円形	Ⅰ
281	2	2	750-290	30	45	14	楕円形	Ⅰ
282	2	2	750-285	71	82	23	楕円形	不明
283	2	2	750-290	66	58	25	不整形	Ⅰ・284P
284	2	2	750-290	－	45	21	不整形	Ⅰ・283P
285	2	2	750-290	－	－	26	不整形	Ⅰ・286P
286	2	2	750-290	－	－	24	不整形	Ⅰ・285,287P
287	2	2	750-290	－	－	22	不整形	Ⅰ・286P
288	2	2	745-290	43	47	24	不整形	Ⅰ
289	2	2	745-290	46	149	26	不整形	Ⅰ
290	2	2	745-290	－	－	45	不整形	Ⅰ・291P
291	2	2	745-290	－	－	26	不整形	Ⅰ・290P

No.	区		グリッド	規模（cm）			形状	備考（埋土、遺構、遺物）
				NS	EW	深さ		
292	2	2	745-295	50	52	19	隅丸方形	Ⅰ
293	2	2	740-295	40	38	20	楕円形	Ⅰ
294	2	2	740-295	44	40	17	隅丸方形	Ⅰ
295	2	2	745-295	96	84	26	円形	Ⅰ・縄文細片
296	2	2	750-295	－	－	25	不整形	Ⅰ・297P
297	2	2	750-295	－	－	30	不整形	Ⅰ・296P
298	2	2	750-295	74	115	28	楕円形	Ⅰ
299	2	2	750-295	53	71	21	楕円形	Ⅰ
300	2	2	750-295	53	57	21	円形	Ⅰ
301	2	2	755-290	26	31	19	円形	Ⅰ
302	2	2	755-290	39	53	16	円形	Ⅰ
303	2	2	755-290	28	33	17	円形	Ⅰ
304	2	2	755-290	51	35	34	楕円形	Ⅰ
305	2	2	755-290	48	61	28	楕円形	Ⅰ
306	2	2	755-295	56	67	36	楕円形	Ⅰ
307	2	2	755-295	53	58	30	円形	Ⅰ
308	2	2	755-295	43	41	16	円形	Ⅰ
309	2	2	760-295	57	64	34	円形	Ⅰ
310	2	2	755-300	34	34	20	円形	Ⅱ
311	2	2	745-290	58	27	27	楕円形	Ⅰ
312	2	2	735-285	31	36	28	不整形	Ⅰ
313	2	2	735-285	35	38	18	円形	Ⅰ
314	2	2	735-285	32	35	27	円形	Ⅰ
315	2	2	730-290	44	49	17	不整形	Ⅰ
316	2	2	730-290	30	30	13	不整形	Ⅰ
317	2	2	735-290	48	50	19	隅丸方形	Ⅰ
318	2	2	735-290	－	37	16	不整形	Ⅰ・195土
319	2	2	735-290	30	37	18	不整形	Ⅱ
320	2	2	730-295	38	42	18	隅丸方形	Ⅰ
321	2	2	730-300	46	50	18	円形	Ⅰ
322	2	2	735-300	40	44	19	円形	Ⅰ
323	2	2	730-300	44	39	20	円形	Ⅲ
324	2	2	735-295	54	38	46	楕円形	Ⅴ
325	2	2	735-295	58	40	33	不整形	Ⅱ
326	2	2	740-295	26	40	14	円形	Ⅲ
327	2	2	745-305	31	30	23	円形	Ⅰ
328	2	2	745-305	50	56	24	楕円形	Ⅰ
329	2	2	745-305	36	47	25	楕円形	Ⅰ
330	2	2	745-300	55	81	39	楕円形	Ⅰ
331	2	2	750-305	53	32	25	楕円形	Ⅰ
332	2	2	750-305	27	22	25	楕円形	Ⅰ
333	2	2	750-300	38	50	20	楕円形	Ⅰ
334	2	2	750-295	30	30	23	円形	Ⅰ
335	2	2	750-295	26	43	17	楕円形	Ⅰ
336	2	2	750-300	49	34	22	楕円形	Ⅰ
338	2	2	755-300	30	24	12	楕円形	Ⅰ
339	2	2	725-285	22	32	19	不整形	Ⅱ
340	2	2	725-285	34	47	46	不整形	Ⅰ
341	2	2	725-285	31	24	12	不整形	Ⅰ
342	2	2	730-305	30	46	21	楕円形	Ⅰ
343	2	2	730-305	34	38	19	不整形	Ⅰ
344	2	2	730-305	40	46	19	楕円形	Ⅰ
345	2	2	735-305	42	46	22	円形	Ⅰ
346	2	2	755-295	37	34	22	円形	Ⅰ
347	2	2	760-300	51	63	28	円形	Ⅰ
348	2	2	765-300	40	36	17	円形	Ⅰ・349P
349	2	2	765-300	－	39	18	不整形	Ⅰ・348P
350	2	2	760-300	－	－	35	不整形	Ⅱ

※備考欄のローマ数字については埋土の特徴によって下記のように分類した。

Ⅰ類…ロームが主体。

Ⅱ類…黒褐色土または暗褐色土が主体。

Ⅲ類…As－Bと思われる軽石を含む。

Ⅳ類…As－Cと思われる軽石を含む。

Ⅴ類…白色パミスを含む。

５．溝

２号溝（第62図　PL30）

位置　710－300～700－305

重複　なし。

形態　北東から南西へ走向する。断面形は半円形で、規模は全長87.2 m、上幅60cm、底面幅29cm、深さ10cmである。

遺物　なし。

３号溝（第62図）

位置　710－305～705－305

重複　２号溝→８号土坑

形態　北から南東へ緩やかに湾曲する。断面形は逆台形で、規模は全長4.3 m、上幅48cm、底面幅10cm、深さ10cmである。

遺物　なし。

４号溝（第62図　PL30）

位置　710－315～705－320

重複　なし。

形態　北東から南西へ走向する。底面には凹凸が著しい。断面形は逆台形で、規模は全長6.4 m、上幅24～82cm、底面幅16～60cm、深さ13cm前後である。

遺物　なし。

５号溝（第62図）

位置　715－325～710－330

重複　なし。

形態　北東から南西へ走向する。断面形は半円形で、規模は全長2.9 m、上幅82cm、底面幅73cm、深さ19cmほどである。

遺物　なし。

６号溝（第62図）

位置　735－330～725－335

重複　なし。

形態　北東から南西へ走向する。断面形は半円形で、規模は全長10.4 m、上幅73～143cm、底面幅31～43cm、深さ９～14cmである。

遺物　なし。

７号溝（第64図）

位置　725－330

重複　なし。

形態　西から東へ走向する。断面形は半円形で、規模は全長4.8 m、上幅91cm、底面幅64cm、深さ18cmほどである。

遺物　なし。

８号溝（第62図　PL30）

位置　730－335～700－320

重複　８溝→18・60号土坑

形態　北西から南東へ走向し709－331グリッド付近で緩やかに東方向に湾曲する。断面形は逆台形で、規模は全長35.3m、上幅39cm、底面幅28cmほど、深さ15～26cmである。

遺物　なし。

９号溝（第63図　PL30）

位置　655－125～605－050

重複　なし。

形態　Ⅳ区をほぼ横断し630－070グリッド付近で南方向に緩やかに湾曲する。断面形はＶ字型で、規模は全長89.2 m、上幅56～165cm、底面幅15～20cm、深さ22～41cmである。

遺物　埋土から縄文土器が多数出土しているが、時期を特定する遺物ではなく、流れ込みであろう。

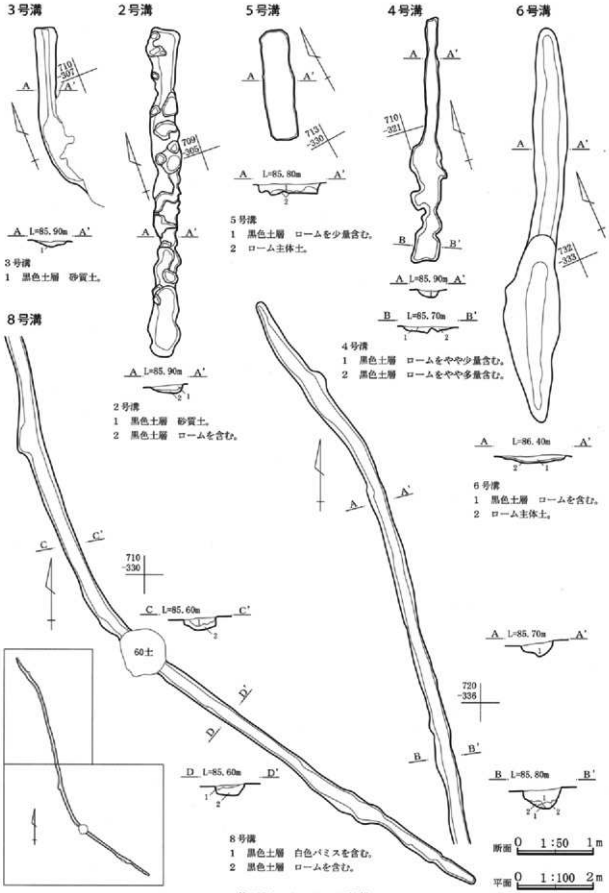
10号溝（第64図　PL31）

位置　620－055～615－055

重複　なし。

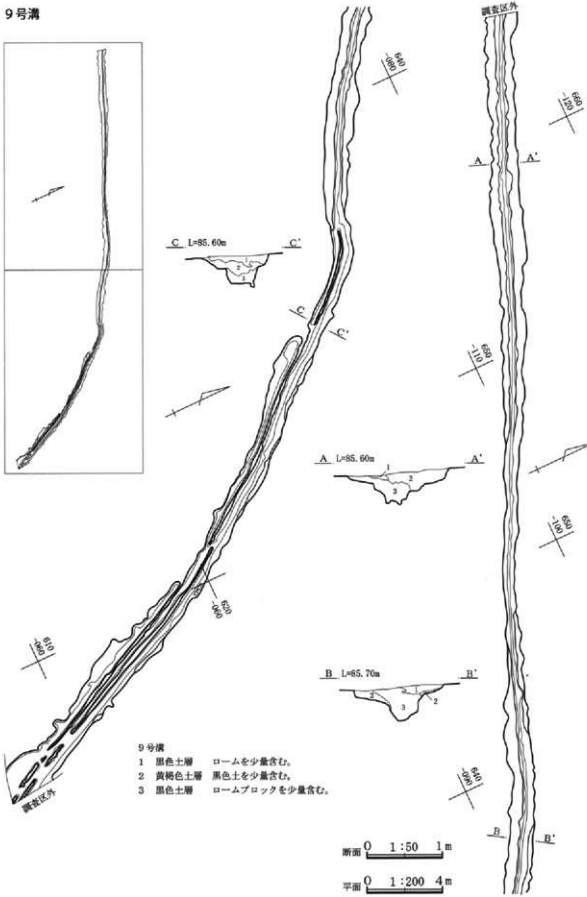
形態　北西から南東へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長7.6 m、上幅68cm、底面幅25cm、深さ24cmほどである。

遺物　なし。


3号溝
2号溝
5号溝
4号溝
6号溝
8号溝
A L=85.90m A'
3号溝
1 黒色土層 砂質土。
A L=85.90m A'
2号溝
1 黒色土層 砂質土。
2 黒色土層 ロームを含む。
A L=85.80m A'
5号溝
1 黒色土層 ロームを少量含む。
2 ローム主体土。
A L=85.90m A'
B L=85.70m B'
4号溝
1 黒色土層 ロームをやや少量含む。
2 黒色土層 ロームをやや多量含む。
A L=86.40m A'
6号溝
1 黒色土層 ロームを含む。
2 ローム主体土。
C L=85.60m C'
60土
D L=85.60m D'
A L=85.70m A'
B L=85.80m B'
8号溝
1 黒色土層 白色パミスを含む。
2 黒色土層 ロームを含む。
断面 0 1:50 1m
平面 0 1:100 2m

第62図 2～6・8号溝

９号溝


調査区外
C L=85.60m C'
A L=85.60m A'
B L=85.70m B'
A A'
B B'
C C'
640 -100
660 -120
650 -110
650 -100
630 -080
610 -060
640 -090
9号溝
1　黒色土層　ロームを少量含む。
2　黄褐色土層　黒色土を少量含む。
3　黒色土層　ロームブロックを少量含む。
断面 0 1:50 1m
平面 0 1:200 4m

第63図　９号溝

11・12号溝（第64図）

位置　725－355～710－355

重複　なし。

形態　11号溝は北から南へ、12号溝は西から東へ走向する。断面形は共に逆台形で、規模は、11号溝が全長15 m、上幅33cm、底面幅26cm、深さ10cmで、12号溝は全長3.6 m、上幅19～47cm、底面幅11～36cm、深さ9 cmである。埋土は酷似しており、同時期の溝と考えられる。

遺物　なし。

13号溝（第64図　PL31）

位置　745－370

重複　91・92号土坑→13号溝

形態　北から南へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長3.6 m以上、上幅34cm、底面幅17cm、深さ8 cmである。南端は91号土坑と重複するため不明である。

遺物　なし。

14号溝（第64図）

位置　700－175～700－170

重複　なし。

形態　北から南へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長2.9 m、上幅68cm、底面幅57cm、深さ23cmほどである。

遺物　なし。

15号溝（第64図）

位置　700－175

重複　なし。

形態　北西から南東へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長1.7 m、上幅60cm、底面幅48cm、深さ21cmほどである。本溝は14号溝と平行し、断面形も酷似しているため、道に伴う側溝の可能性も考えられる。

遺物　なし。

16号溝（第64図　PL31）

位置　720－230～705－230

重複　4号住居→16号溝

形態　北から南へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長17.5 m、上幅48 ～ 87cm、底面幅29～58cm、深さ26cmほどである。

遺物　埋土から古墳時代後期の土師器が出土しているが、重複する4号住居に伴う遺物と考えられる。

17号溝（第65図　PL31）

位置　790－410～745－410

重複　なし。

形態　北から南へ走向する。側道と本線にまたがるため一部調査することができなかった。断面形は逆台形で、規模は全長46.7 m、上幅82～130cm、底面幅35～103cm、深さ23～53cmである。

遺物　なし。

25号溝（第66図　PL32）

位置　760－395～710－355

重複　なし。

形態　北から南へ蛇行し、720－380グリッド付近で東へ大きく屈曲する。断面形はV字型で、規模は全長74.5 m、上幅157～179cm、底面幅12～21cm、深さ55～77cmである。溝の覆土にはAs－Cと思われる軽石を含んでいるが、埋土中には見られない。

遺物　埋土から打製石斧が出土している。

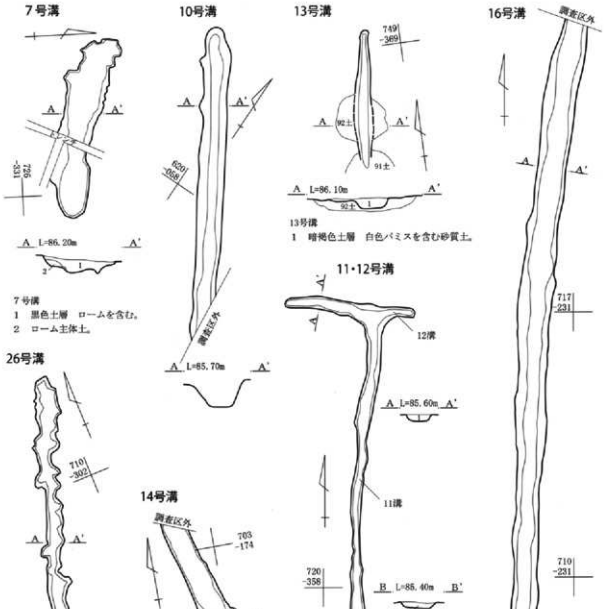
26号溝（第64図　PL31）

位置　710－300～700－300

重複　なし。

形態　北東から南西へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長8.5 m、上幅43cm、底面幅30cm、深さ16cmである。

遺物　なし。



第64図　7・10～16・26号溝

27号溝（第65図　PL32）

位置　695－290～685－255

重複　なし。

形態　北西から南東へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長33.4 m、上幅27～48cm、底面幅9～23cm、深さ8～25cmである。

遺物　なし。

29号溝（第67図　PL32）

位置　795－440～765－450

重複　29号溝→31号溝

形態　北東から南西へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長27.2 m、上幅31cm、底面幅12cm、深さ15cmである。

遺物　なし。

30号溝（第67図　PL32）

位置　795－440～760－450

重複　30号溝→32号溝

形態　北東から南西へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長33.6 m、上幅31cm、底面幅13cm、深さ10cmである。

遺物　なし。

31号溝（第67図　PL32）

位置　795－440～765－450

重複　29号溝→31号溝

形態　北東から南西へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長17.8 m、上幅36cm、底面幅12cm、深さ15cmである。

遺物　なし。

32号溝（第67図　PL32）

位置　795－440～760－450

重複　30号溝→32号溝

形態　北東から南西へ走向する。断面形は逆台形で、規模は全長34.1 m、上幅36cm、底面幅13cm、深さ13cmである。

遺物　なし。

所見　29～32号溝はほぼ並行して南北方向に走向している。いずれの溝も調査区の南端において緩やかに西側へ湾曲している。また、埋土は31号と32号溝が同様で、29号と30号溝は酷似している。よってこれらは道跡であると考えられる。溝からの出土遺物はないが、V区からは近世の陶磁器片が多数出土している。このうち一部は遺構外遺物として掲載している。

33号溝（第67図　PL32）

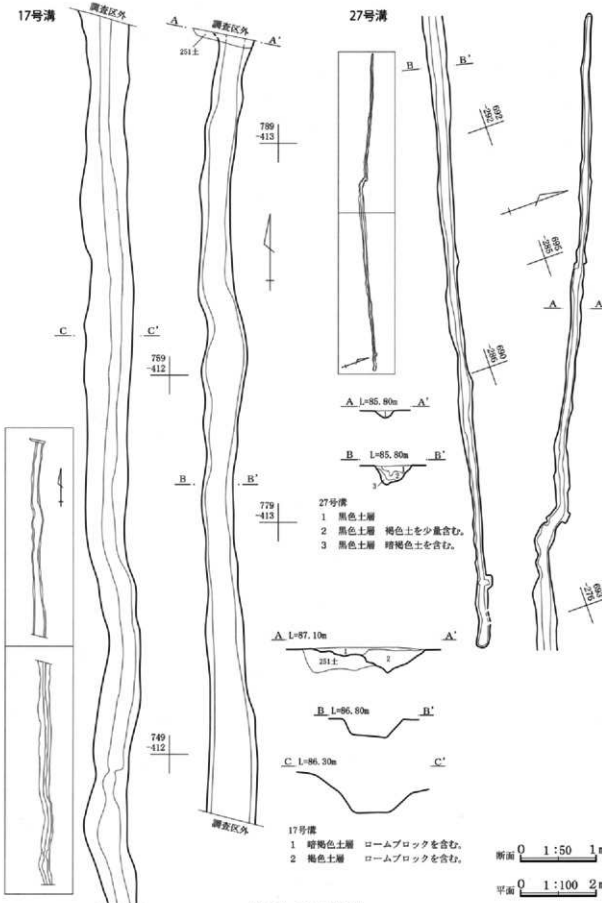
位置　760－450～755－450

重複　32号溝→33号溝

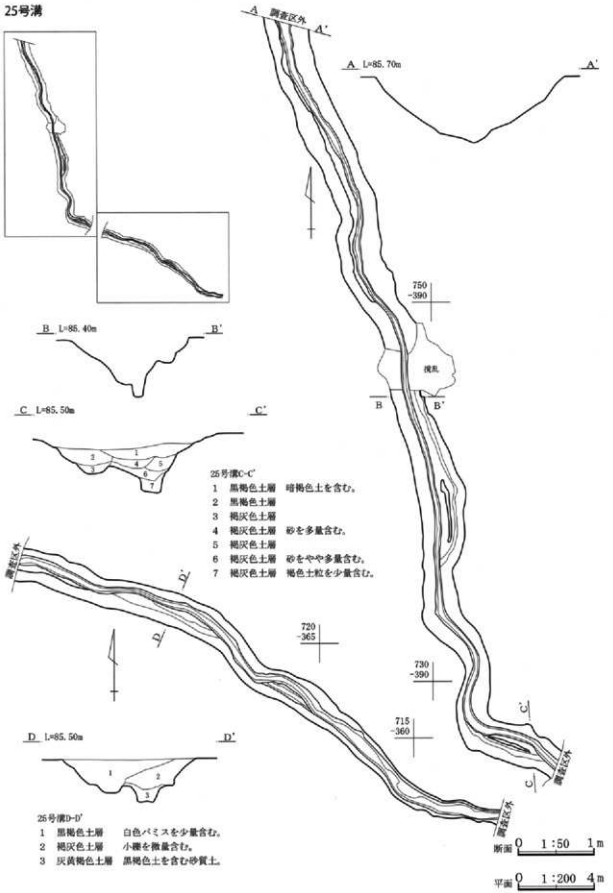
形態　北から南へ走向する。断面形はV字型で、規模は全長6 m、上幅75cm、底面幅30cm、深さ26cmである。

遺物　なし。

25号溝調査風景（南から）

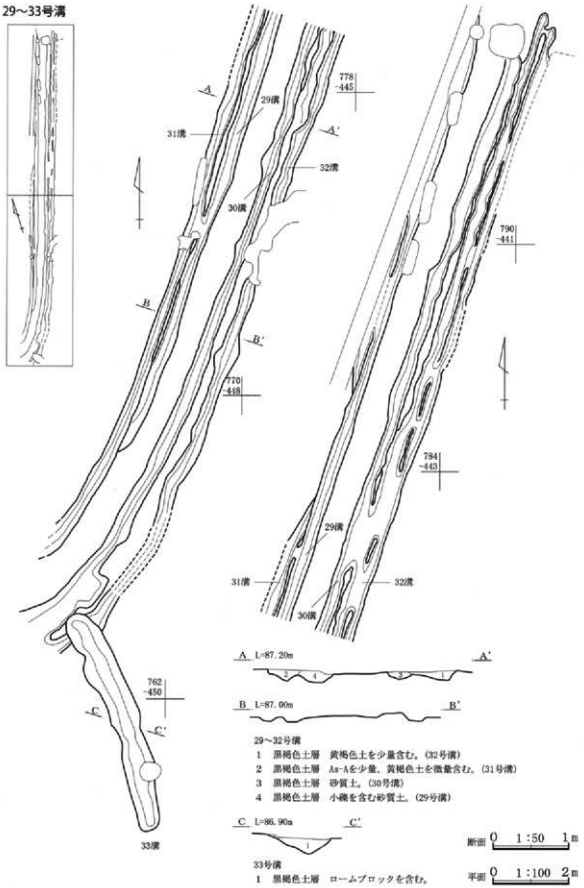

17号溝
27号溝
調査区外
254土
789
-413
789
-412
779
-413
749
-412
A
A'
B
B'
C
C'
A L=85.80m
B L=85.80m
27号溝
1　黒色土層
2　黒色土層　褐色土を少量含む。
3　黒色土層　暗褐色土を含む。
A L=87.10m
B L=86.80m
C L=86.30m
17号溝
1　暗褐色土層　ロームブロックを含む。
2　褐色土層　ロームブロックを含む。
トレンチ
断面 0 1:50 1m
平面 0 1:100 2m

第65図　17・27号溝


25号溝
A
調査区外
A'
A L=85.70m
A'
750
-390
撹乱
B
B'
B L=85.40m
B'
C L=85.50m
C'
25号溝C-C'
1 黒褐色土層 暗褐色土を含む。
2 黒褐色土層
3 褐灰色土層
4 褐灰色土層 砂を多量含む。
5 褐灰色土層
6 褐灰色土層 砂をやや多量含む。
7 褐灰色土層 褐色土粒を少量含む。
調査区外
D'
720
-365
730
-390
715
-360
C'
C
調査区外
D L=85.50m
D'
25号溝D-D'
1 黒褐色土層 白色パミスを少量含む。
2 褐灰色土層 小礫を微量含む。
3 灰黄褐色土層 黒褐色土を含む砂質土。
断面 0 1:50 1m
平面 0 1:200 4m

第66図 25号溝

29～33号溝



第67図　29～33号溝

6．遺構外出土遺物

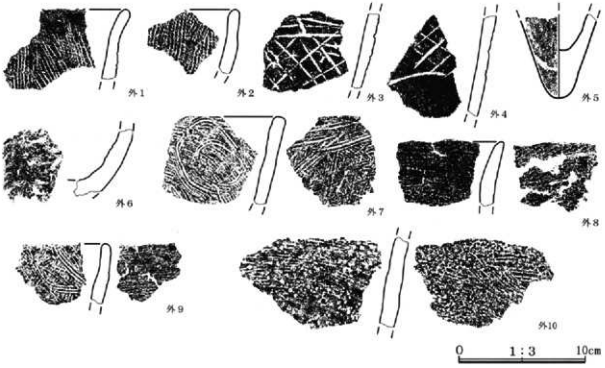
遺構外出土遺物は、遺物収納箱で５箱ほどである。このうち最も多いものは縄文土器で、調査区全体にわたって出土している。これらの遺物は早期前半から後期初頭にかけての資料である。

（1）縄文土器（第68～70図　PL40・41）

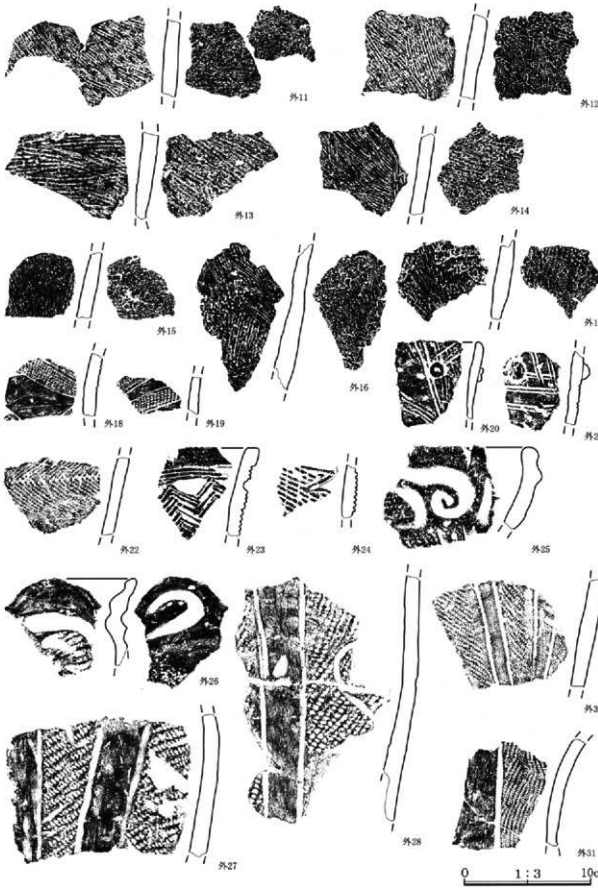
１・２は、早期前半の撚糸文系土器である。軸に間隔を開けたＲｌの撚糸文。施文方向を違えて羽状のモチーフを作る。撚糸文後半期の土器と考えられる。３～５は、沈線文系の田戸下層式土器である。３・４は、口縁部文様帯に単沈線で格子目状の文様を描く。５は、底部片。６～17は、早期後半の条痕文系茅山上層式土器である。６は、底部近くの部位で丸底あるいは、小さな平底と考えられる。７～９は、口縁部片。地文に条痕を持ち、その上に渦巻きや弧線を乱雑に施文している。その他は、胴部片である。胴部上半部では、条痕を横方向に施文し、下半部では縦位に条痕を施文する傾向にある。

18・19は、前期後半の興津式土器である。細い沈線で菱形、或いは三角形に文様を区画し、沈線間に帯状に貝殻腹縁による連続刺突を加えている。20・21は、諸磯ｃ式土器。平行沈線で文様を描き、文様の交点にボタン状の貼り付けをしている。22は、前期終末の縄文施文の土器。ＲＬとＬＲの羽状縄文を結束している。23は、十三菩提平行の土器。口縁部を肥厚させている。平行沈線で鋸歯状に文様を描き、三角の部分に印刻を加えている。24は、五領ヶ台式土器。曲線による文様の中を平行沈線を斜めに、単沈線を縦位に施文して格子目が充填される。文様間は、印刻が施される。

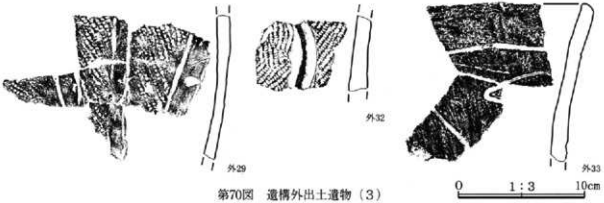
25～32は、加曽利Ｅ式後半段階の土器。25は、口縁部文様帯に、渦巻きと楕円区画を持つ。26は、舌状の突起を持つ、口縁部片。外面は、楕円区画を持ち、突起内面には、「の」字状の文様が施文される。27～30は、胴部片で沈線による縦位の区画。区画間を無文部と縄文施文部に分ける。32は、断面三角形の隆線が弧を描くように施文される胴部片。33は、後期初頭の称名寺式土器。単沈線で「Ｊ」字状の文様が施文される。



第68図　遺構外出土遺物（1）



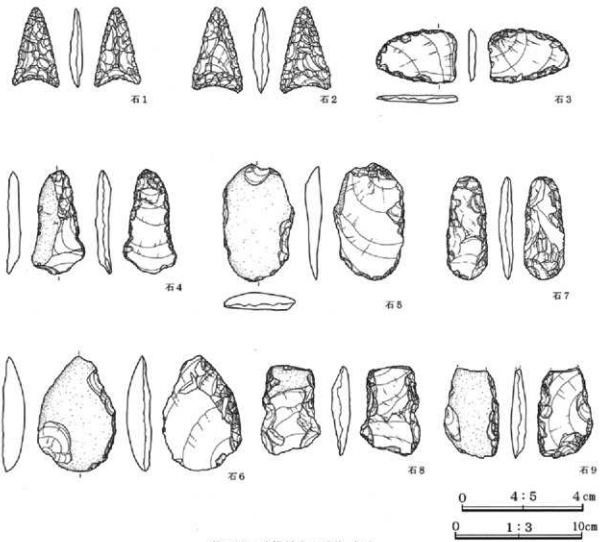
第69図　遺構外出土遺物（２）



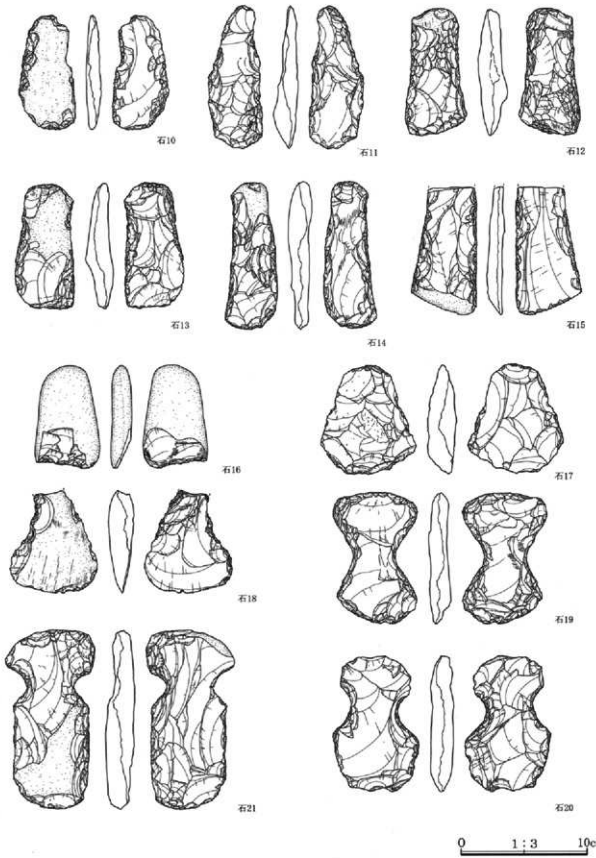
第70図　遺構外出土遺物（3）

（2）石器（第71～74図　PL41・42）

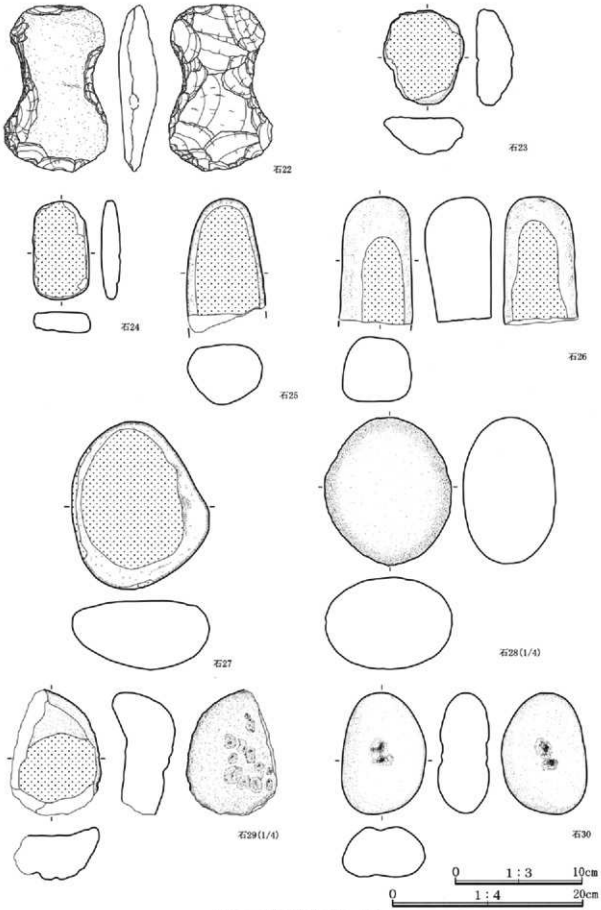
出土した石器はあまり多くなく、未製品は剥片類も含めて遺物収納箱で1箱程度である。表採のもの及び出土した層位が不明の石器については遺構外出土遺物として扱っている。石器の種類で見ると、打製石斧が16点でもっとも多く、石鏃2点、スクレイパー4点、その他礫石器が9点である。



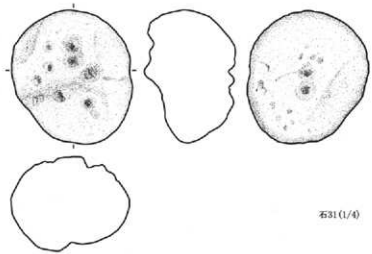
第71図　遺構外出土遺物（4）



第72図　遺構外出土遺物（５）



第73図　遺構外出土遺物（6）



第74図　遺構外出土遺物（7）

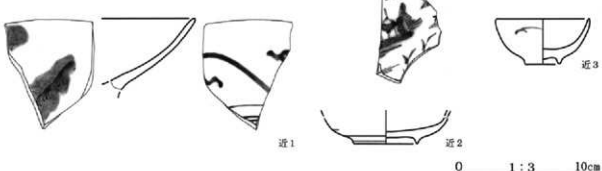
0　1：4　8cm

第５表　石器計測表

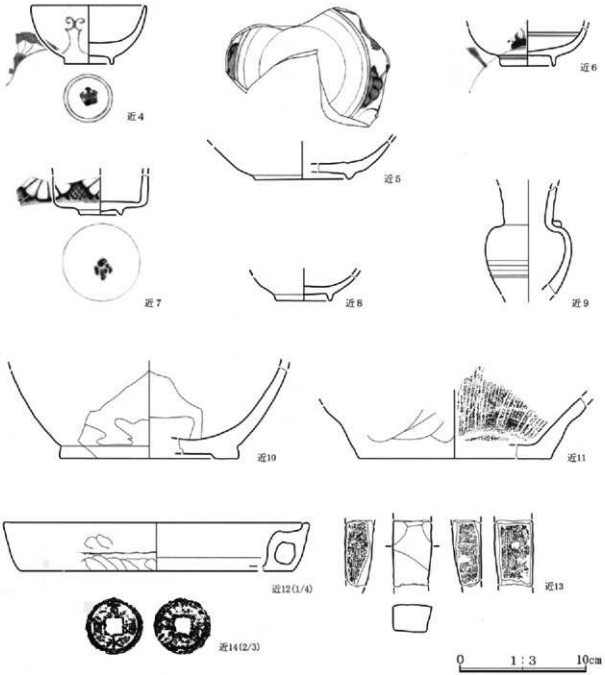
番号	区	器種	石材	計測値（cm・g） 長さ	幅	厚さ	重量
石１	Ⅰ	石鏃	黒色安山岩	2.6	1.6	0.4	1.3
石２	Ⅰ	石鏃	黒色安山岩	2.8	1.7	0.5	2.1
石３	Ⅰ	スクレイパー	黒色頁岩	4.3	6.4	0.6	21.2
石４	Ⅱ	スクレイパー	黒色頁岩	8.3	4.2	1.3	35.0
石５	Ⅱ	スクレイパー	黒色頁岩	9.3	5.6	1.3	83.2
石６	Ⅱ	スクレイパー	変質玄武岩	9.1	6.2	1.9	114.0
石７	Ⅳ	打製石斧	ホルンフェルス	8.1	3.2	1.1	34.0
石８	Ⅱ	打製石斧	珪質頁岩	7.1	4.7	1.5	55.7
石９	Ⅱ	打製石斧	黒色頁岩	7.1+	4.3	1.2	46.0
石10	Ⅰ	打製石斧	細粒輝石安山岩	9.0	4.5	1.2	54.4
石11	Ⅰ	打製石斧	黒色頁岩	11.3	4.3	2.0	83.4
石12	Ⅱ	打製石斧	細粒輝石安山岩	10.0	4.9	2.3	113.9
石13	Ⅰ	打製石斧	黒色頁岩	9.9	4.7	2.2	93.9
石14	Ⅳ	打製石斧	黒色頁岩	11.6	4.2	1.9	95.1
石15	3	打製石斧	黒色頁岩	10.1+	5.2	1.4	77.2
石16	Ⅳ	打製石斧	黒色頁岩	8.1+	5.1	1.7	97.6
石17	Ⅱ	打製石斧	黒色頁岩	8.6	7.6	2.3	148.0
石18	Ⅰ	打製石斧	黒色頁岩	8.1+	6.9	2.0	98.5
石19	2	打製石斧	細粒輝石安山岩	10.3	6.7	1.8	135.0
石20	Ⅰ	打製石斧	黒色頁岩	10.7	6.8	1.9	149.0
石21	Ⅰ	打製石斧	細粒輝石安山岩	14.2	7.0	2.3	212.0
石22	2	打製石斧	ホルンフェルス	13.2	8.2	3.1	365.0
石23	Ⅱ	磨石	軽石	7.5	6.2	2.9	63.0
石24	Ⅳ	磨石	粗粒輝石安山岩	7.8	4.4	1.5	65.0
石25	Ⅳ	磨石	粗粒輝石安山岩	9.8+	6.1	4.8	464.0
石26	2	磨石	粗粒輝石安山岩	10.1+	5.9	5.3	529.0
石27	Ⅳ	磨石	粗粒輝石安山岩	13.3	10.8	5.6	1,080
石28	Ⅳ	丸石	粗粒輝石安山岩	15.5	13.4	9.7	2,220
石29	Ⅰ	石皿	粗粒輝石安山岩	13.3+	9.6+	5.5	800.0
石30	Ⅰ	凹石	粗粒輝石安山岩	9.5	6.6	4.0	353.0
石31	Ⅳ	多孔石	粗粒輝石安山岩	14.0	12.5	9.7	2,000

（３）近世の遺物（第75・76図　PL42）

近世の遺跡が確認されたⅤ区では、陶器や磁器の破片が遺物収納箱で２箱ほど出土している。このうち代表的なものを図示した。



第75図　遺構外出土遺物（８）



第76図　遺構外出土遺物（9）

第6表　遺構外出土遺物（近世）一覧表

番号	区	産地等	種類	部位残存	計測値（cm）			備考
					口径	底径	高さ	
近1	V	肥前	皿	破片	(270)	－	－	18c
近2	V	肥前か	皿	底部	－	5.0	2.1+	幕末
近3	V	波佐見	小碗	2/5	(7.4)	2.8	3.1	
近4	V	波佐見	碗	2/5	(9.0)	3.9	4.2	
近5	V	波佐見	皿	底部片	－	7.6	2.9+	
近6	V	瀬戸・美濃	碗	底部片	－	(2.2)	3.7	
近7	V	瀬戸・美濃	筒型碗	底部片	－	3.4	3.1+	

番号	区	産地等	種類	部位残存	計測値（cm）			備考
					口径	底径	高さ	
近8	V	瀬戸・美濃	碗	底部片	－	4.4	2.0+	鐵釉
近9	V	瀬戸・美濃	花瓶	胴部	－	－	8.5+	
近10	V	瀬戸・美濃	ねり鉢	底部片	－	(14.2)	7.2+	
近11	II	丹後	すり鉢	底部片	－	(15.2)	4.8+	
近12	V	在地系	碁盤	1/5	－	(29.0)	5.1	
近13	V	石製品	硯石	一部欠損	長53+	幅31	厚2.2	

第4章　まとめ

縄文時代　調査された土坑243基のうち、遺物の出土状況がはっきりしているものは20・21・22・30・31・33・67・71・72・73号土坑である。31号土坑をのぞき加曽利E式期の土器が中心である。隣接する塚下遺跡では同時期の住居跡が報告されているが、本遺跡の調査では残念ながら住居跡を確認することはできなかった。その他早期前半の撚糸文系土器から後期初頭の称名寺式土器が調査区全体から出土しているが遺構は確認できなかった。

古墳時代　6世紀前～中半にかけての竪穴住居を6軒確認した。それぞれの住居は近接しているが、重複はしていない。住居の方位は1・6号住居がN－11～13°－W、3～5・7号住居がN－20～27°－Wの間に収まる。住居を設計する際に、基準があったことも考えられる。また、3号住居の掘土は4号住居方向から埋め戻されたような堆積の様相を示す。よって、4号住居は3・5号住居の廃絶後まもなく掘削されたものと思われる。

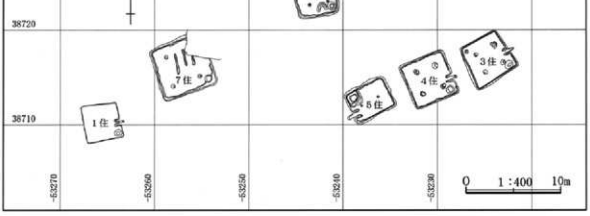
遺物は、土師器がほとんどで須恵器は5号住居No.1の坏1点のみである。これらの遺物の住居間接合を試みた結果、接合した遺物は第8表の通りである。3号住居のNo.21の磨石は上半分は竈南の床直上から、下半分は5号住居の竈袖付近から出土している。比熱後に磨石と使用され、その後割られて遺棄されたものと思われる。割れ口は、新しく摩滅は見られない。5号住居No.1の須恵器坏は5号住居の貯蔵穴と3号住居のピット1の底部から出土した。こちらも人為的に打ち割られ、それぞれの住居の廃絶時に遺棄されたのであろう。

奈良・平安時代　4区において竪穴住居を1軒確認した。この時期の遺物は周辺からもほとんど出土していないため、集落の中心は調査区の北側の台地部にあると予想される。

また、Ⅲ・Ⅳ区においてはAs-Bの堆積が見られ、水田を想定して調査を行った。しかしながら、畦畔

第7表　古墳時代住居計測値一覧表

遺構名	方位	形状	規模（m）	面積（㎡）
1号住居	N－13°－W	隅丸方形	3.98×3.96	15.97
3号住居	N－27°－W	隅丸方形	5.15×4.80	22.96
4号住居	N－26°－W	隅丸方形	4.98×5.06	25.15
5号住居	N－25°－W	隅丸長方形	4.74×3.61	17.48
6号住居	N－11°－W	隅丸方形	4.58×4.60	20.54
7号住居	N－20°－W	隅丸方形	6.05×5.74	29.34



第77図　古墳時代住居全体図

など水田の痕跡を確認することはできなかった。周辺には湧水点が数か所存在し、この付近での水田耕作の可能性は十分あり得るので、今後の調査に期待したい。

中近世　Ⅴ区で道跡と思われる溝４条を確認した。本遺跡周辺は中世から近世にかけての道遺構の存在が知られている。あずま道、六道の辻などである。また、29～32号溝の南西方向約120ｍには道標も残されており、これらの遺構との関連も考えられる。

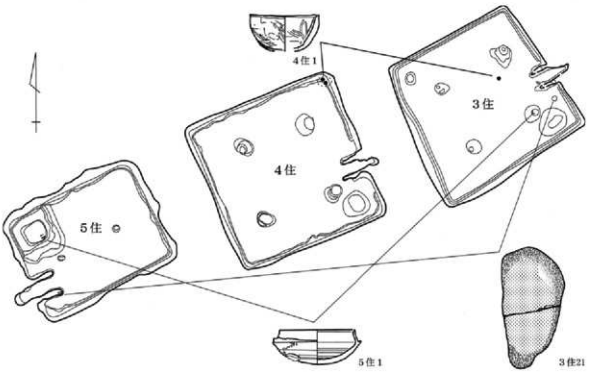
以上、各時代の調査結果について簡単に述べた。今回の成果が、地域史解明の一助となれば幸いである。

《参考文献》
桐生直彦 1989「住居址間土器接合資料の扱え方－現状認識のためのノート－」「土曜考古」第13号
財団法人　群馬県埋蔵文化財調査事業団 1991 『荒砥北三木堂遺跡Ⅰ』
財団法人　群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000 『荒砥荒子遺跡』

３号住居セクション（南）

第８表　住居間接合遺物一覧表

遺物No.	遺物	出土位置１	出土位置２
３住15	甕	３住竈	４住埋土
３住21	砥石	３住竈南の床直	３住竈袖付近
４住１	坏	４住北東隅床上30cm	３住床上20cm
４住13	甕底部	４住床上30cm	５住埋土
５住１	坏（須恵器）	５住貯蔵穴	３住ピット１
７住１	坏	７住床上10cm	４住埋土
７住10	甕	７住床上６cm	４住・５住埋土
未掲載	甕胴部	６住埋土１片	７住埋土１片
未掲載	甕胴部	４住埋土２片	７住埋土４片



第78図　住居間接合遺物出土位置図

第５章　自然科学分析

Ⅰ　群馬県伊勢崎市前道下遺跡の火山灰分析

株式会社 古環境研究所

１．はじめに

群馬県域に分布する後期更新世以降に形成された土壌や堆積物の中には、赤城、浅間、榛名をはじめとする北関東地方とその周辺に分布する火山のほか、九州地方の姶良カルデラや鬼界カルデラなど遠方の火山に由来するテフラ（火山砕屑物（さいせつぶつ）、いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には、噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、土層の形成年代や遺構の層位や構築年代、さらに遺物包含層などの層位や堆積年代を知ることができるようになっている。

そこで、層位や年代が不明な土層が検出された前道下遺跡においても、地質調査を行って土層層序を記載するとともに、テフラ検出分析、火山ガラス比分析、屈折率測定を行って指標テフラの層位を把握し、土層の層位や年代に関する資料を収集することになった。調査の対象となった地点は、Ⅰ区北壁－１、Ⅰ区北壁－２、Ⅰ区南、１区北壁、１区中央部、前道下遺跡埋没谷（４区）の６地点（順にP.96上図の地点１～６に対応）である。

２．土層の層序

（１）Ⅰ区北壁－１

Ⅰ区北壁－１では、亜円礫層（層厚３cm以上, 礫の最大径133mm）の上位に、下位より灰色砂層（層厚28cm）、黄灰色砂質土（層厚29cm）、砂混じり灰色土（層厚59cm）、白色軽石層（層厚13cm, 軽石の最大径23mm, 石質岩片の最大径４mm）、白色軽石混じり黄色土（層厚24cm, 軽石の最大径 14mm）、暗灰褐色土（層厚19cm）、灰褐色粘質土（層厚13cm）、亜円礫混じり黄灰色砂層（層厚７cm, 礫の最大径17mm）、灰白色粘質土（層厚15cm）、成層したテフラ層（層厚16cm）、凝灰質白色砂質土（層厚７cm）、灰色土（層厚９cm）、灰褐色土（層厚12cm）、灰白色粗粒火山灰を多く含む灰褐色土（層厚９cm）、灰白色粗粒火山灰混じり黒色土（層厚９cm）、黒褐色土（層厚20cm）、暗灰褐色土（層厚31cm）が認められる（図１）。

これらのうち白色軽石層は、層相から約５万年前*1に榛名火山から噴出した榛名八崎軽石（Hr-HP, 新井, 1979, 大島, 1986, 町田・新井, 2003）に同定される。また、成層したテフラ層は、下位より灰色粗粒火山灰層（層厚 14cm）と、黄白色細粒火山灰層（層厚２cm）からなる。このテフラ層は、層相から約 1.3～1.4 万年前*1に浅間火山から噴出した浅間板鼻黄色軽石（As-YP, 新井, 1962, 町田・新井, 1992）に同定される。さらに灰褐色土中に比較的多く含まれている灰白色粗粒火山灰については、約 1.1 万年前*1に浅間火山から噴出した浅間総社軽石（As-Sj, 早田, 1990, 1996）に由来する可能性が高いと考えられる。

（２）Ⅰ区北壁－２

Ⅰ区北壁－２では、亜円礫層（層厚５cm以上, 礫の最大径167mm）の上位に、下位より灰色砂層（層厚18cm）、黄灰色砂質土（層厚59cm）、砂混じり黄灰色土（層厚13cm）、黄白色粗粒火山灰層（層厚６cm）、灰色粘質土（層厚12cm）、成層したテフラ層（層厚15cm）、凝灰質白色砂質土（層厚９cm）、暗灰色粘質土（層厚11cm）、砂混じり灰褐色土（層厚13cm）、灰白色粗粒火山灰を多く含む灰褐色土（層厚10cm）、黒色粘質土（10cm）が認められる（図２）。

これらのうち、成層したテフラ層は、下部の桃灰色粗粒火山灰層（層厚12cm）と、上部の黄白色細粒火山

灰層（層厚3cm）からなる。このテフラ層は、層相からAs-YPに同定される。

（3）Ⅰ区南

Ⅰ区南地点では、下位より灰色泥層（層厚3cm以上）、灰色粗粒火山灰層（層厚4cm）、暗灰色泥層（層厚4cm）、灰色粗粒火山灰層（層厚6cm）、黄白色凝灰質砂質シルト層（層厚10cm）の連続が認められる（図3）。その上位に、さらに下位より暗灰色土（層厚31cm）と暗灰色水田作土（層厚15cm）が認められる。

（4）1区北壁

1区北壁では、灰褐色土（層厚3cm以上）の上位に、下位より黄灰色細粒軽石を多く含む黒褐色土（層厚10cm，軽石の最大径3mm）、黄灰色細粒軽石混じり黒褐色土（層厚5cm，軽石の最大径2mm）、黄色粗粒火山灰混じり黒褐色土（層厚20cm）、暗褐色土（層厚21cm）が認められる（図4）。

（5）1区中央部

1区中央部で検出された埋没谷の壁面では、下位より灰色粘土（層厚2cm以上）、成層したテフラ層（層厚11cm）、黄白色凝灰質シルト層（層厚8cm）、黒灰色泥層（層厚4cm）が認められた（図5）。これらの土層は、浅い谷によって切られており、谷はさらに下位より灰褐色土（層厚22cm）や黄灰色細粒軽石混じり灰褐色土（層厚12cm）により埋められている。これらのうち、成層したテフラ層は、下部の灰色粗粒火山灰層（層厚7cm）と、上部の黄白色細粒火山灰層から構成されている。このテフラ層は、層相からAs-YPに同定される。

（6）前道下遺跡埋没谷（4区）

前道下遺跡埋没谷では、下位より黄白色粗粒火山灰層（層厚6cm以上）、褐色粘質土（層厚9cm）、赤褐色土（層厚25cm）、暗灰褐色土（層厚6cm）、黄色細粒軽石に富む黒灰褐色土（層厚6cm，軽石の最大径3mm）、褐色土ブロックを含む色調が若干暗い褐色土（層厚21cm）、暗褐色土（層厚16cm）、暗褐色砂質作土（層厚7cm）が認められる（図6）。

3．テフラ検出分析・火山ガラス比分析

（1）分析試料と分析方法

Ⅰ区北壁－1、Ⅰ区北壁－2、1区北壁、前道下遺跡埋没谷地点において、基本的に厚さ5cmごとに設定採取あるいはテフラ層ごとに採取された試料についてテフラ検出分析を行った。定量的な分析がより有効と判断されたⅠ区北壁－1およびⅠ区北壁－2については、火山ガラス比分析を行うことにした。分析の手順は次のとおりである。

1）試料10～15gを秤量。

2）超音波洗浄により泥分を除去。

3）80°Cで恒温乾燥。

4）実体顕微鏡下で、テフラ粒子の量や特徴を観察（以上，テフラ検出分析）。

5）偏光顕微鏡下で250粒子を観察し、火山ガラスの形態別組成を明らかにする（火山ガラス比分析）。

（2）分析結果

Ⅰ区北壁－1およびⅠ区北壁－2における火山ガラス比分析の結果を、ダイヤグラムにして図7と図8に、その内訳を表1に示す。いずれの地点においても、軽石やスコリアは検出されなかった。Ⅰ区北壁－1では、試料12から試料6にかけて無色透明のバブル型ガラスが認められ、とくに試料8にその出現ピークが認められる（8.4%）。試料6には、無色透明のバブル型ガラス（3.6%）のほかに、スポンジ状に発泡した軽石型

ガラス（2.0%）、中間型ガラス（0.8%）、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（0.4%）が含まれている。さらにその上位の試料４には、量が多い順にスポンジ状に発泡した軽石型ガラス（3.2%）、中間型ガラス（0.8%）、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（0.4%）が含まれている。

Ⅰ区北壁－２では、試料12を除く試料で火山ガラスが検出された。ここでは、試料10、試料６、試料３で、無色透明のバブル型ガラスが少量認められたものの（0.4～1.2%）、その顕著な濃集層準は検出されなかった。そのほか試料４に、量が多い順にスポンジ状に発泡した軽石型ガラス（3.2%）、中間型ガラス（0.8%）、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（0.8%）が含まれている。

テフラ検出分析の結果を表２に示す。Ⅰ区北壁の試料11には、無色透明の軽石型や白色でスポンジ状に発泡した軽石型ガラスが比較的多く含まれている。また、この試料には斜長石が多く含まれている。

前道下遺跡埋没谷では、軽石が試料３と試料１で認められた。試料３に少量含まれる灰白色軽石はスポンジ状に良く発泡しており、斑晶に斜方輝石や単斜輝石が認められる。この試料には、ほかに角閃石も含まれている。また、試料１に多く含まれる淡褐色軽石は比較的良く発泡しており、斑晶に斜方輝石や単斜輝石が認められる。

火山ガラスは、試料15を除くいずれの試料からも検出された。多くは無色透明の軽石型であるが、ほかにスポンジ状に発泡した白色の軽石型ガラスも認められる。試料９には、これらの火山ガラスが比較的多く含まれている。試料３や試料１には、それぞれの試料に含まれる軽石の細粒物が含まれている。

４．屈折率測定

（１）測定試料と測定方法

指標テフラとの同定精度を向上させるために、Ⅰ区北壁－１の試料６、Ⅰ区北壁－２の試料10、Ⅰ区南地点の試料１、１区北壁の試料11、前道下遺跡埋没谷地点の試料18と試料９の合計６試料に含まれるテフラ粒子について、日本列島とその周辺のテフラ・カタログ（町田・新井，1992，2003）の作成に利用された温度一定型屈折率測定法（新井，1972，1993）により、テフラ粒子の屈折率を測定した。

（２）測定結果

屈折率測定の結果を表３に示す。Ⅰ区北壁－１の試料６に含まれる火山ガラスの屈折率（n）は、1.499-1.501（modal range: 1.499-1.500）である。重鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石のほか、少量の角閃石が認められる。斜方輝石の屈折率（γ）は、1.702-1.712である。一方、Ⅰ区北壁-2の試料10に含まれる重鉱物は、斜方輝石のほか、単斜輝石や角閃石である。そのうち斜方輝石の屈折率（γ）は、1.702-1.711である。

Ⅰ区南地点の試料１に含まれている火山ガラスの屈折率（n）は、1.501-1.504である。重鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石が認められる。斜方輝石の屈折率（γ）は、1.707-1.711である。

１区北壁の試料11に含まれている火山ガラスの屈折率（n）は、1.501-1.504である。重鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石が認められる。斜方輝石の屈折率（γ）は、1.708-1.710である。

前道下遺跡埋没谷地点の試料18に含まれている火山ガラスの屈折率（n）は、1.501-1.503である。重鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石が認められる。斜方輝石の屈折率（γ）は、1.707-1.711である。試料９に含まれている火山ガラスの屈折率（n）は、1.502-1.504である。重鉱物としては、斜方輝石や単斜輝石が認められる。斜方輝石の屈折率（γ）は、1.706-1.711である。

５．考察

Ⅰ区北壁－1の試料6に含まれる火山ガラスについては、火山ガラスの色調や形態さらに屈折率などから、約2.4～2.5万年前*1に南九州地方の姶良カルデラから噴出した姶良Tn火山灰（AT，町田・新井，1976，1992，2003，松本ほか，1987，池田ほか，1995）に由来すると考えられる。実際には、その量が多い試料8付近にATの降灰層準のある可能性が考えられる。試料6に含まれる斜方輝石については、その屈折率から、約1.9～2.4万年前*1に浅間火山から噴出した浅間板鼻褐色軽石群（As-BP Group，新井，1962，町田・新井，1992，早田，1996，未公表資料）の中・上部に由来すると考えられる。

Ⅰ区北壁－2の試料10に含まれる斜方輝石については、その屈折率からAs-BP Groupの中・上部に由来すると思われる。その上位の試料4の黄白色粗粒火山灰層については、今回屈折率の測定ができなかったことから同定精度はさほど高くないものの、その層位や中間型ガラスを含むことなどから、約1.7万年前*1に浅間火山から噴出した浅間大窪沢第1軽石（As-Ok1，中沢ほか，1984，早田，1996）または約1.6万年前*1に浅間火山から噴出した浅間大窪沢第2軽石（As-Ok2，中沢ほか，1984，早田，1996）に由来する可能性が考えられる。テフラの分布を考慮すると、前者の可能性が高いように思われる。ここでは、ATの降灰層準を示すような無色透明のバブル型ガラスの濃集層準は認められなかった。

以上のことを総合すると、Ⅰ区北壁－1とⅠ区北壁－2では、AT降灰後にいわゆる暗色帯を切って谷が形成され、As-BP Groupの中・上部降灰後でAs-Ok1降灰前ころより谷の埋積がはじまったものと推定される。

Ⅰ区南地点の試料1のテフラ層は、層相、重鉱物の組み合わせ、火山ガラスや斜方輝石の屈折率などから、As-YPに同定される。したがって、その下位にあるテフラについては、層位からAs-Ok1やAs-Ok2の可能性が考えられる。

1区北壁の試料11に含まれるテフラについては、軽石の岩相、重鉱物の組合せ、火山ガラスや斜方輝石の屈折率などから、As-Sjまたは約8,200年前*1に浅間火山から噴出した浅間藤岡軽石（As-Fo，早田，1991，1996）の可能性がある。火山ガラスの屈折率が低いことや、斜長石が多く含まれていることなどを考慮すると、前者の可能性がより高いように思われる。したがって、1区中央部の埋没谷壁面最上部の灰褐色土中に含まれる細粒軽石についても、As-Sjに由来する可能性が考えられよう。

埋没谷地点の試料18のテフラ層は、層相、重鉱物の組み合わせ、火山ガラスや斜方輝石の屈折率などから、As-YPに同定される。試料9に含まれるテフラは、火山ガラスや斜方輝石の屈折率などから、As-SjまたはAs-Foに由来する可能性がある。火山ガラスの屈折率が低いことから、前者の可能性がより高いように思われる。以上のことから、本地点で認められた赤褐色土は、比較的短期間のうちに形成された可能性が指摘されよう。

試料3に含まれる灰白色軽石については、軽石の岩相から、4世紀初頭に浅間火山から噴出した浅間C軽石（As-C，荒牧，1968，新井，1979，友廣，1988，若狭，2000）に由来すると考えられる。なおこの試料で角閃石が認められることは、6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA，新井，1979，坂口，1986，早田，1989，町田・新井，1992）が混入していることを示唆している。また試料1に含まれる淡褐色軽石については、軽石の岩相から、1108（天仁元）年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ（As-B，荒牧，1968，新井，1979）に由来すると考えられる。

6．まとめ

前道下遺跡において、地質調査、テフラ検出分析、火山ガラス比分析、屈折率測定を合わせて実施した。その結果、下位より榛名八崎軽石（Hr-HP，約5万年前*1）、姶良Tn火山灰（AT，約2.4～2.5万年前*1）、

浅間板鼻褐色軽石群（As-BP Group，約 1.9 ～ 2.4 万年前 *1）、浅間大窪沢第１軽石（As-Ok1，約 1.7 万年前 *1）あるいは浅間大窪沢第２軽石（As-Ok2，約 1.6 万年前 *1）、浅間板鼻黄色軽石（As-YP，約 1.3 ～ 1.4 万年前 *1）、浅間総社軽石（As-Sj，約 1.1 万年前 *1）または浅間藤岡軽石（As-Fo，約 8,200 年前 *1）、浅間Ｃ軽石（As-C，４世紀初頭）、榛名二ツ岳渋川テフラ（Hr-FA，６世紀初頭）、浅間Ｂテフラ（As-B，1108 年）など多くの指標テフラを検出することができた。

*1　放射性炭素（^{14}C）年代．AT，As-BP Group, As-YP の暦年較正年代は，順に 2.6 ～ 2.9 万年前，2.0 ～ 2.5 万年前，1.5 ～ 1.65 万年前と推定されている（町田・新井，2003）．

文献

新井房夫（1962）関東盆地北西部地域の第四紀編年．群馬大学紀要自然科学編，10，p.1-79.

新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石によるテフラの同定－テフロクロノロジーの基礎的研究．第四紀研究，11，p.254-269.

新井房夫（1979）関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層．考古学ジャーナル，no.53, p.41-52.

新井房夫（1993）温度一定型屈折率測定法．日本第四紀学会編「第四紀試料分析法－研究対象別分析法」，p. 138-148.

荒牧重雄（1968）浅間火山の地質．地団研専報，no.14，65p.

池田晃子・奥野　充・中村俊夫・鈴井正明・小林哲夫（1995）南九州，姶良カルデラ起源の大隅軽石と入戸火砕流中の炭化樹木の加速器質量分析法による ^{14}C 年代．第四紀研究，34，p.377-380.

町田　洋・新井房夫（1976）広域に分布する火山灰－姶良 Tn 火山灰の発見とその意義－．科学，46，p.339-347.

町田　洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス．東京大学出版会，276p.

町田　洋・新井房夫（2003）新編火山灰アトラス．東京大学出版会，336p.

松本英二・前田保夫・竹村恵二・西田史朗（1987）姶良 Tn 火山灰（AT）の ^{14}C 年代．第四紀研究, 26, p.79-83.

村山雅史・松本英二・中村俊夫・岡村　真・安田尚登・平　朝彦（1993）四国沖ピストンコア試料を用いた AT 火山灰噴出年代の再検討－タンデトロン加速器質量分析計による浮遊性有孔虫の ^{14}C 年代．地質雑，99，p.787-798.

中沢英俊・新井房夫・遠藤邦彦（1984）浅間火山，黒斑～前掛期のテフラ層序．日本第四紀学会講演要旨集，no.14，p.69-70.

大島　治（1986）榛名火山．日本の地質「関東地方」編集委員会編「関東地方」，p.222-224.

坂口　一（1986）榛名二ツ岳起源 FA・FP 層下の土師器と須恵器．群馬県教育委員会編「荒砥北原遺跡・今井神社古墳群・荒砥青柳遺跡」，p.103-119.

早田　勉（1989）６世紀における榛名火山の２回の噴火とその災害．第四紀研究，27，p.297-312.

早田　勉（1990）群馬県の自然と風土．群馬県史通史編，１，p.39-129.

早田　勉（1991）浅間火山とその生い立ち．佐久考古通信，no.53，p.2-7.

早田　勉（1996）関東地方～東北地方南部の示標テフラの諸特徴－とくに御岳第１テフラより上位のテフラについて－．名古屋大学加速器質量分析計業績報告書，７，p.256-267.

友廣哲也（1988）古式土師器出現期の様相と浅間山Ｃ軽石．群馬県埋蔵文化財調査事業団編「群馬の考古学」，p.325-336.

若狭　徹（2000）群馬の弥生土器が終わるとき．かみつけの里博物館編「人が動く・土器も動く－古墳が成立する頃の土器の交流」，p.41-43.

表1　火山ガラス比分析結果

地点	試料	bw(cl)	bw(pb)	bw(br)	md	pm(sp)	pm(fb)	その他	合計
Ⅰ区北壁-1	2	0	0	0	1	0	2	247	250
	4	0	0	0	2	8	1	239	250
	6	9	0	0	2	5	1	233	250
	8	21	0	0	0	3	0	226	250
	10	1	0	0	1	2	0	246	250
	12	2	0	0	0	0	0	248	250
Ⅰ区北壁-2	3	1	0	0	1	1	0	247	250
	4	0	0	0	2	8	2	238	250
	6	3	0	0	2	1	0	244	250
	8	0	0	0	0	1	0	249	250
	10	1	0	0	1	0	0	248	250
	12	0	0	0	0	0	0	250	250

数字は粒子数．bw：バブル型，md：中間型，pm：軽石型，cl：透明，pb：淡褐色，br：褐色，sp：スポンジ状，fb：繊維束状．

表2　テフラ検出分析結果

地点	試料	軽石・スコリア			火山ガラス		
		量	色調	最大径	量	形態	色調
Ⅰ区北壁	11	-	-	-	++	pm	透明，白
埋没谷	1	+++	淡褐	2.3	++	pm	淡褐
	3	+	灰白	1.2	++	pm	灰白，透明
	5	-	-	-	+	pm	白，透明
	7	-	-	-	+	pm	透明
	9	-	-	-	++	pm	透明，白
	10	-	-	-	+	pm	透明，白
	11	-	-	-	+	pm	透明，白
	13	-	-	-	+	pm	透明
	15	-	-	-	-	-	-
	17	-	-	-	+	pm	透明
	18	-	-	-	+	pm	透明

++++：とくに多い，+++：多い，++：中程度，+：少ない，-：認められない．最大径の単位は，mm．bw：バブル型，pm：軽石型．

表3　屈折率測定結果

地点・グリッド	試料	火山ガラス(n)	重鉱物	斜方輝石(γ)
Ⅰ区北壁-1	6	1.499-1.501 (1.499-1.500)	opx>cpx, (ho)	1.702-1.712
Ⅰ区北壁-2	10	-	opx>cpx, ho	1.702-1.711
Ⅰ区南	1	1.501-1.504	opx>cpx	1.707-1.711
Ⅰ区北壁	11	1.501-1.504	opx>cpx	1.708-1.710
埋没谷	9	1.502-1.504	opx>cpx	1.706-1.711
埋没谷	18	1.501-1.503	opx>cpx	1.707-1.711

屈折率は温度一定型屈折率測定法（新井，1972，1993）による．opx：斜方輝石，cpx：単斜輝石．()は，modal rangeを示す．

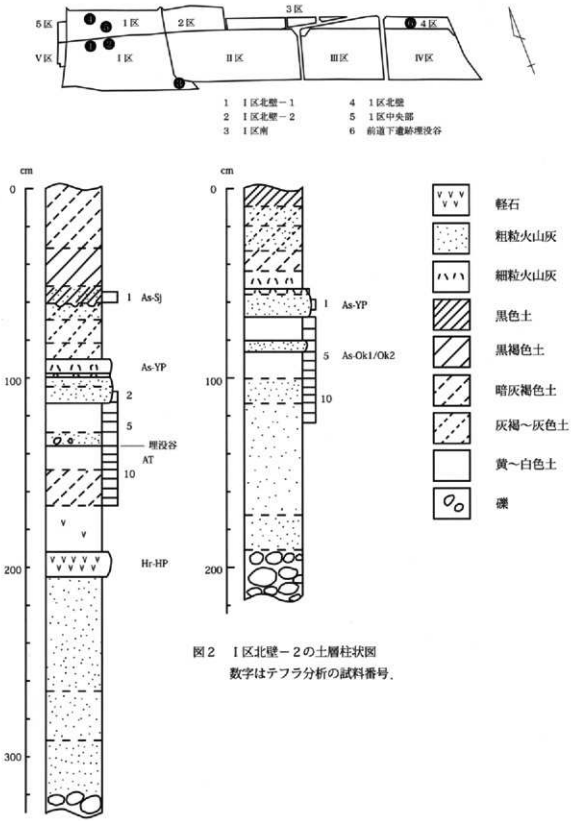


図２　Ｉ区北壁－２の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

図１　Ｉ区北壁－１の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

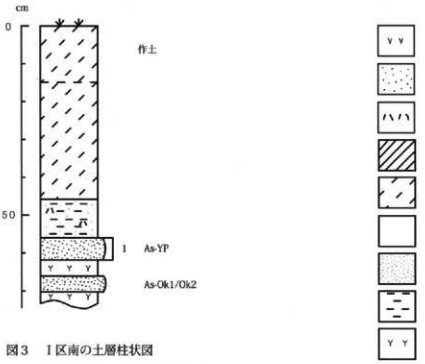


図3　Ⅰ区南の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

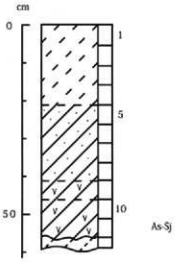


図4　1区北壁の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

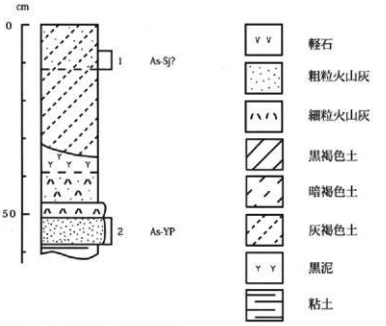


図5　1区中央部の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

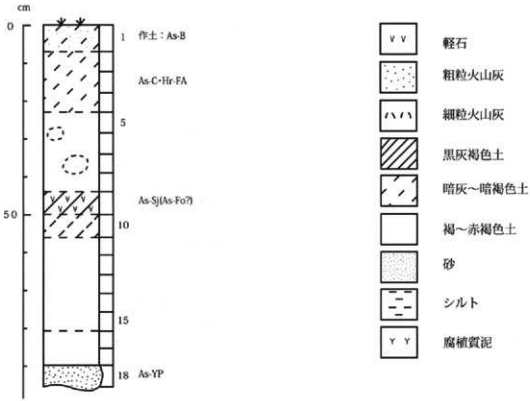


図６　前道下遺跡埋没谷地点の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号.

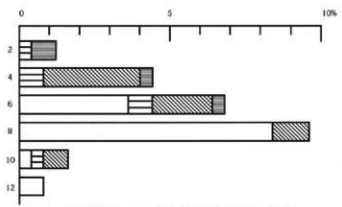


図７　Ⅰ区北壁－１の火山ガラス比ダイヤグラム

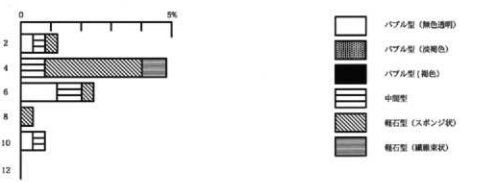


図８　Ⅰ区北壁－２の火山ガラス比ダイヤグラム

Ⅱ．前道下遺跡における植物珪酸体（プラント・オパール）分析

1．はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸（SiO_2）が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている（杉山，2000）。

2．試料

分析試料は、埋没谷地点（P.93の地点6）から採取された4点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図に示す。

3．分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法（藤原，1976）を用いて、次の手順で行った。

1）試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）
2）試料約1gに対し直径約40μmのガラスビーズを約0.02g添加（電子分析天秤により0.1mgの精度で秤量）
3）電気炉灰化法（550℃・6時間）による脱有機物処理
4）超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散
5）沈底法による20μm以下の微粒子除去
6）封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
7）検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位：10^{-5}g）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる。ヨシ属（ヨシ）の換算係数は6.31、ススキ属（ススキ）は1.24、ネザサ節は0.48、チマキザサ節・チシマザサ節は0.75、ミヤコザサ節は0.30である（杉山，2000）。タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率を求めた。

4．分析結果

（1）分類群

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を表1および図1に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

〔イネ科〕

キビ族型、ヨシ属、ススキ属型（おもにススキ属）、ウシクサ族A（チガヤ属など）、ウシクサ族B（大型）

〔イネ科－タケ亜科〕

ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節）、チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、未分類等

〔イネ科－その他〕

表皮毛起源、棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来）、未分類等

〔樹木〕

その他

（2）植物珪酸体の検出状況

試料6では、ミヤコザサ節型が比較的多く検出され、ヨシ属、ススキ属型、ウシクサ族A、チマキザサ節型なども認められた。試料5ではミヤコザサ節型が増加し、キビ族型、ネザサ節型などが出現している。試料4と試料3では、ヨシ属、ススキ属型、チマキザサ節型がやや増加し、樹木（その他）が出現している。おもな分類群の推定生産量によると、おおむねミヤコザサ節型が優勢であり、試料4と試料3ではヨシ属も多くなっている。

5．植物珪酸体分析から推定される植生と環境

浅間板鼻黄色軽石（As-YP，約1.3-1.4万年前：^{14}C年代）直上層から浅間総社軽石（As-Sj，約1.1万年前：^{14}C年代）混層までの堆積当時は、おおむねヨシ属が生育するような湿地的な環境であったと考えられ、周辺の比較的乾燥したところにはササ属（おもにミヤコザサ節）などの笹類をはじめ、ススキ属やチガヤ属、キビ族などが分布していたと推定される。また、As-Sj混層とその下層では、遺跡周辺に何らかの樹木が分布していたと考えられる。

タケ亜科のうち、メダケ属は温暖、ササ属は寒冷の指標とされており、メダケ率（両者の推定生産量の比率）の変遷は、地球規模の氷期－間氷期サイクルの変動と一致することが知られている（杉山，2001）。また、ササ属のうちチマキザサ節やチシマザサ節は日本海側の寒冷地などに広く分布しており積雪に対する適応性が高いが、ミヤコザサ節は太平洋側の積雪の少ない比較的乾燥したところに分布している（室井，1960，鈴木，1996）。これらのことから、当時は冷涼～寒冷で積雪（降水量）の少ない比較的乾燥した環境であったと推定される。なお、As-Sj混層ではチマキザサ節型の比率がやや増加していることから、この頃には積雪量（降水量）が増加傾向にあった可能性が考えられる。

文献

杉山真二（1987）タケ亜科植物の機動細胞珪酸体．富士竹類植物園報告，31，p.70-83.

杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．考古学と植物学．同成社，p.189-213.

杉山真二（2001）テフラと植物珪酸体分析．月刊地球，23，p.645-650.

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)－数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学，9，p.15-29.

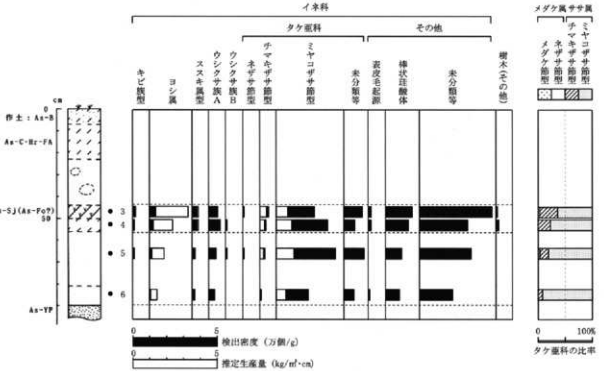
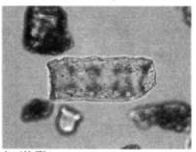
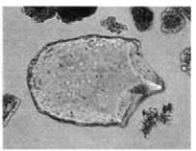
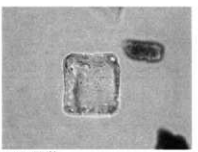


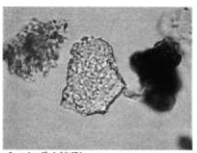
図１　前道下遺跡、埋没谷地点における植物珪酸体分析結果

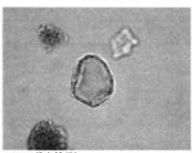
前道下遺跡の植物珪酸体（プラント・オパール）

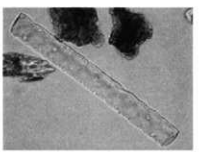

キビ族型


ヨシ属


ススキ属型


チマキザサ節型


ミヤコザサ節型


棒状珪酸体

50 μm

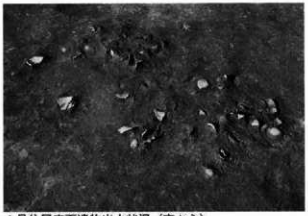
報 告 書 抄 録

書名ふりがな	まえみちしたいせき
書名	前道下遺跡（1）－縄文時代～中近世編－
副書名	北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域並びに（一）香林羽黒線地方道路交付事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	413
編著者名	齊田智彦／関根慎二／相京建史
編集機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20070906
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田 784 番地 2
遺跡名ふりがな	まえみちしたいせき
遺跡名	前道下遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんいせさきしかみだちょう
遺跡所在地	群馬県伊勢崎市上田町
市町村コード	10204
遺跡番号	
北緯（日本測地系）	362050
東経（日本測地系）	1391420
北緯（世界測地系）	362102
東経（世界測地系）	1391409
調査期間	20010401-20020131/20020901-20030131/20030401-20030731
調査面積	28064
調査原因	道路建設工事
種別	集落
主な時代	縄文／古墳／平安／中近世
遺跡概要	集落 - 縄文 - 土坑 10- 縄文土器 + 石製品／集落 - 古墳 - 竪穴住居 6- 土師器 + 須恵器 + 石製品／集落 - 平安 - 竪穴住居 1- 須恵器／集落 - 中近世 - 土坑 242+ 井戸 12+ 溝 24- 陶器 + 磁器 + 石製品
特記事項	古墳時代後期の住居群

写 真 図 版

1号住居全景（西から）

1号住居掘り方（西から）

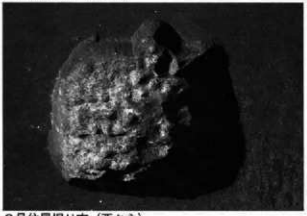


1号住居床面遺物出土状況（南から）

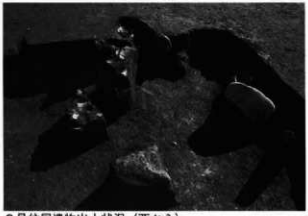
1号住居貯蔵穴遺物出土状況（南から）

1号住居竈全景（西から）

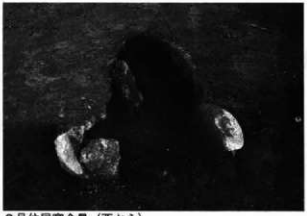
2号住居全景（西から）



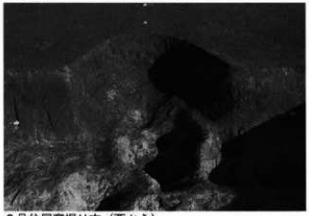
2号住居堀り方（西から）



2号住居遺物出土状況（西から）



2号住居竈全景（西から）

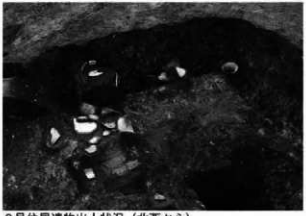


2号住居竈掘り方（西から）

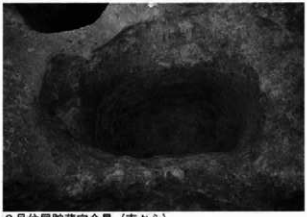
3号住居全景（西から）

3号住居掘り方（西から）

3号住居セクション（南から）

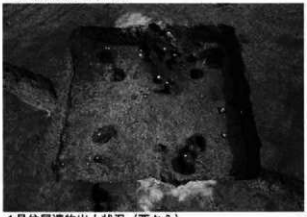


3号住居遺物出土状況（北西から）

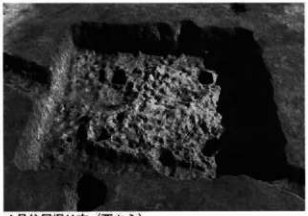


3号住居貯蔵穴全景（南から）

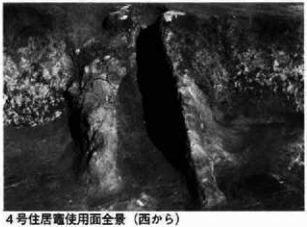
4号住居全景（西から）



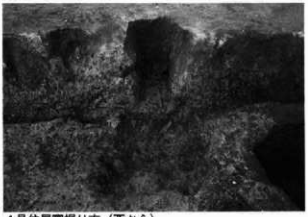
4号住居遺物出土状況（西から）



4号住居掘り方（西から）



4号住居竈使用面全景（西から）



4号住居竈掘り方（西から）

5号住居全景（東から）

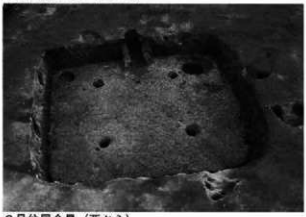
5号住居掘り方（東から）

5号住居貯蔵穴（東から）

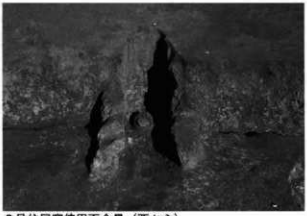
5号住居竈使用面全景（東から）

5号住居竈掘り方（東から）

6号住居掘り方（西から）



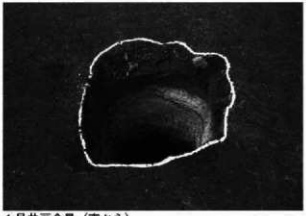
6号住居全景（西から）



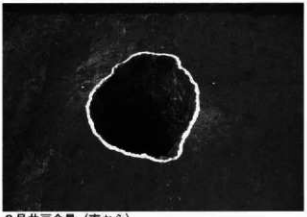
6号住居竈使用面全景（西から）

6号住居竈掘り方（西から）

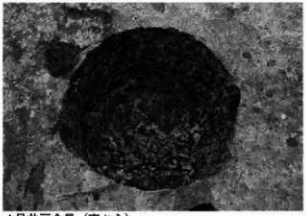
7号住居全景（西から）



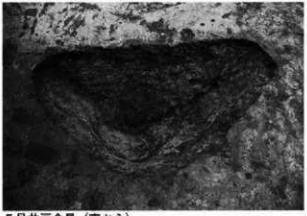
1号井戸全景（南から）



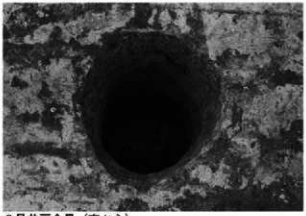
2号井戸全景（南から）



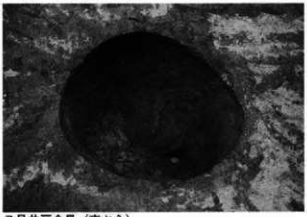
4号井戸全景（南から）



5号井戸全景（南から）



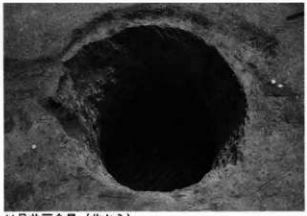
6号井戸全景（南から）



7号井戸全景（南から）

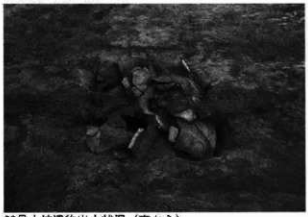
8号井戸全景（南から）

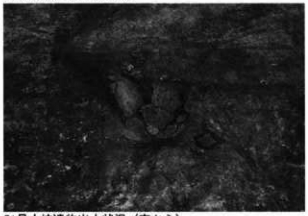
10号井戸全景（北から）

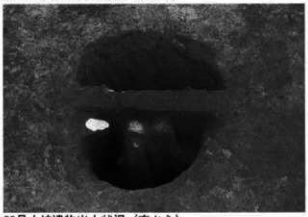

11号井戸全景（北から）

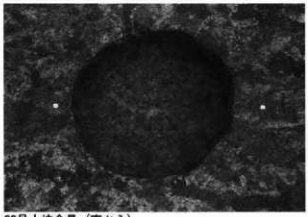
12号井戸全景（南から）

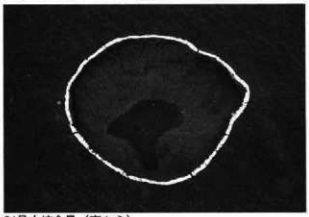
16号土坑全景（南から）

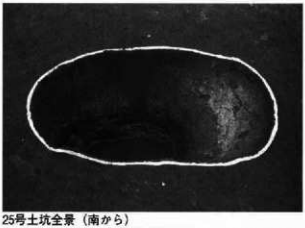

20号土坑遺物出土状況（南から）


21号土坑遺物出土状況（南から）

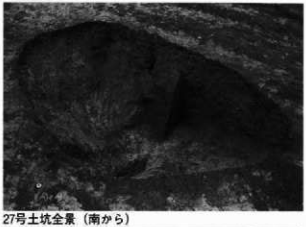

22号土坑遺物出土状況（南から）

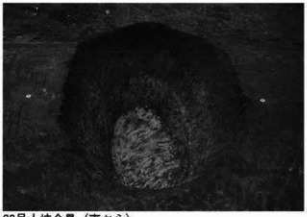

23号土坑全景（南から）


24号土坑全景（南から）


25号土坑全景（南から）

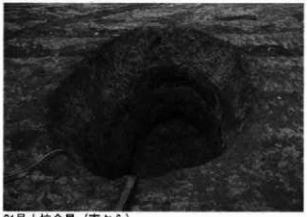
26号土坑全景（東から）

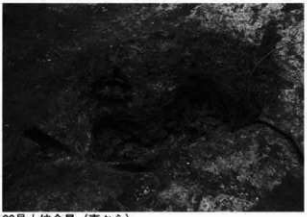

27号土坑全景（南から）

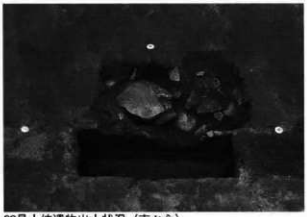

28号土坑全景（南から）

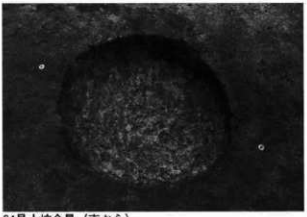
29号土坑全景（南から）

30号土坑遺物出土状況（南から）


31号土坑全景（南から）

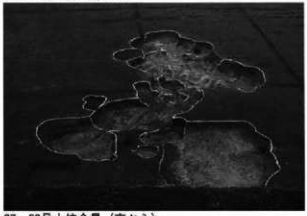

32号土坑全景（東から）

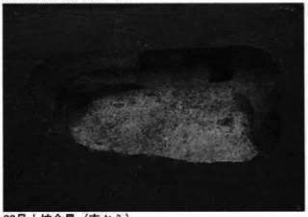

33号土坑遺物出土状況（南から）


34号土坑全景（南から）

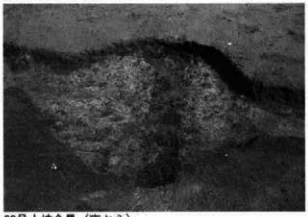
35号土坑全景（南から）

36号土坑全景（東から）


37～58号土坑全景（南から）

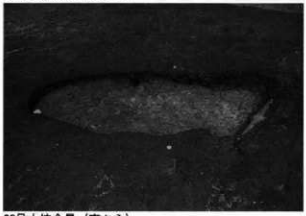

38号土坑全景（南から）

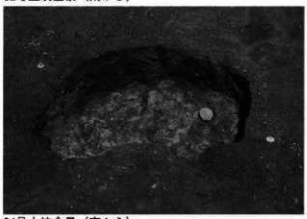
59号土坑全景（南から）

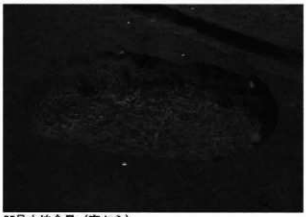

60号土坑全景（南から）

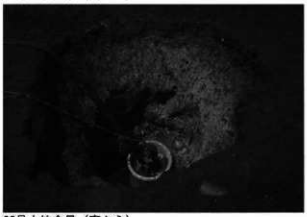
61号土坑全景（南から）

62号土坑全景（南から）

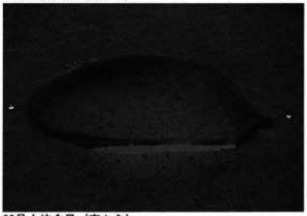

63号土坑全景（南から）

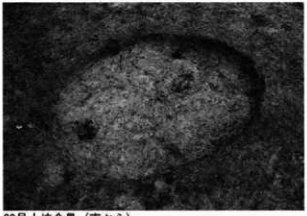

64号土坑全景（南から）

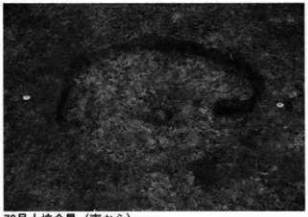

65号土坑全景（南から）


66号土坑全景（東から）

67号土坑遺物出土状況（南から）

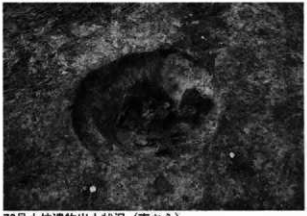

68号土坑全景（南から）

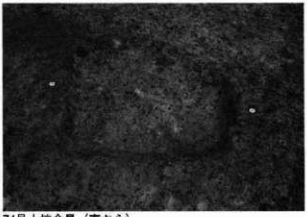

69号土坑全景（南から）

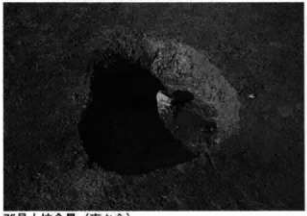

70号土坑全景（南から）

71号土坑全景（南から）

72号土坑遺物出土状況（南から）

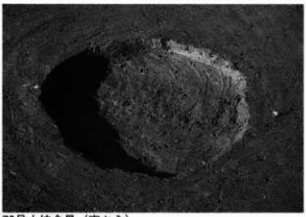

73号土坑遺物出土状況（南から）


74号土坑全景（南から）

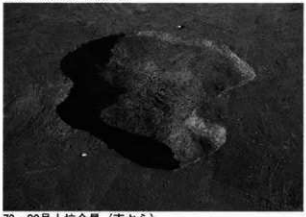

75号土坑全景（南から）

76号土坑全景（南から）

77号土坑全景（南から）



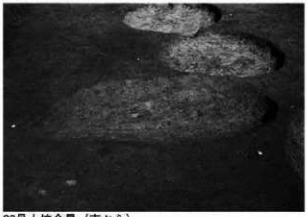
78号土坑全景（南から）



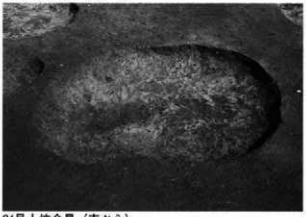
79・80号土坑全景（南から）

81号土坑全景（南から）

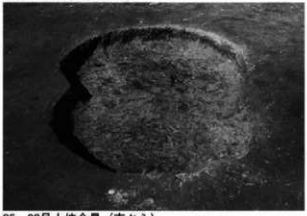
82号土坑全景（南から）



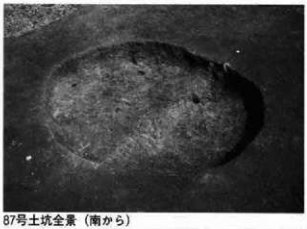
83号土坑全景（南から）

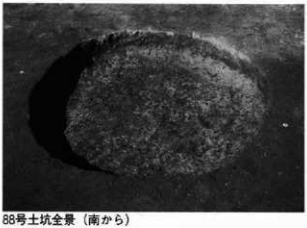


84号土坑全景（南から）

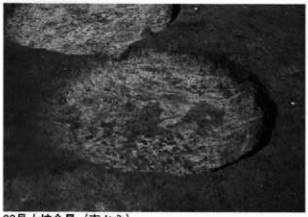


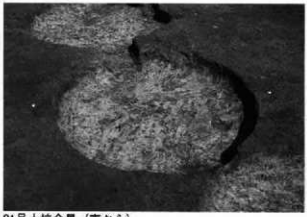
85・86号土坑全景（南から）

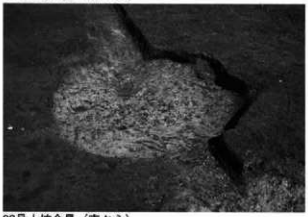

87号土坑全景（南から）

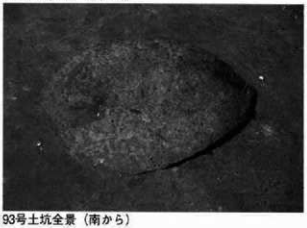

88号土坑全景（南から）

89号土坑全景（南から）

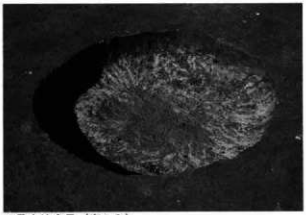

90号土坑全景（南から）


91号土坑全景（南から）

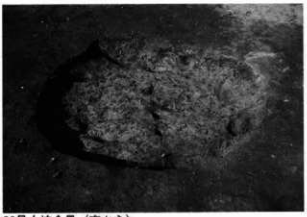

92号土坑全景（南から）


93号土坑全景（南から）

94号土坑全景（南から）



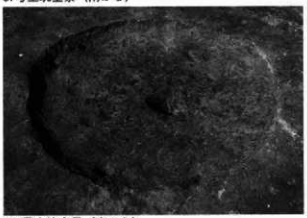
95号土坑全景（南から）



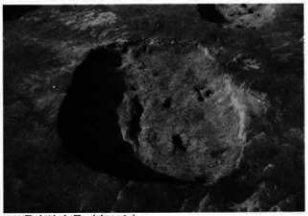
96号土坑全景（南から）

97号土坑全景（南から）

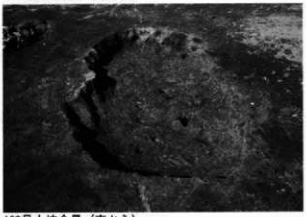
98～100号土坑全景（南から）



101号土坑全景（南から）

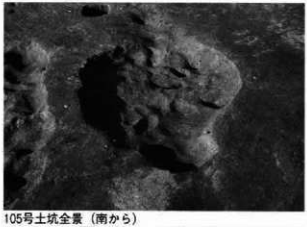


102号土坑全景（南から）

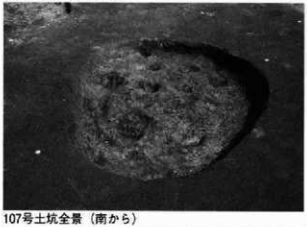


103号土坑全景（南から）

104号土坑全景（南から）

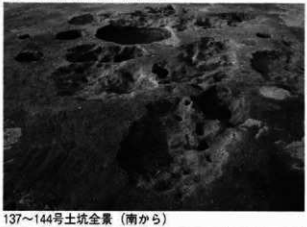

105号土坑全景（南から）

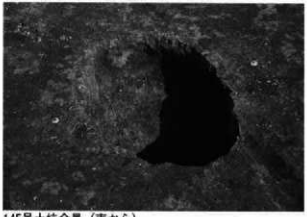
106号土坑全景（南から）

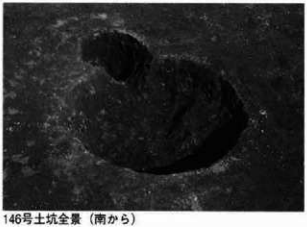

107号土坑全景（南から）

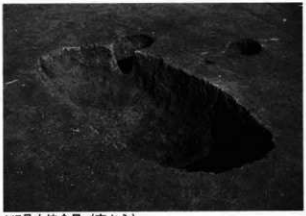
109～129号土坑全景（南から）

130～136号土坑全景（南から）


137～144号土坑全景（南から）

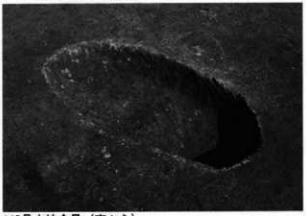

145号土坑全景（南から）


146号土坑全景（南から）

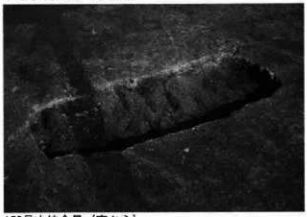


147号土坑全景（南から）

148号土坑全景（南から）



149号土坑全景（南から）

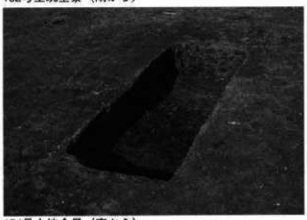


150号土坑全景（南から）

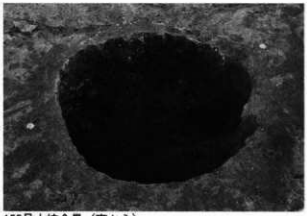
151号土坑全景（南から）

152号土坑全景（南から）

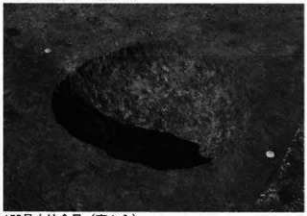
153号土坑全景（南から）



154号土坑全景（南から）


155号土坑全景（南から）

157号土坑全景（南から）

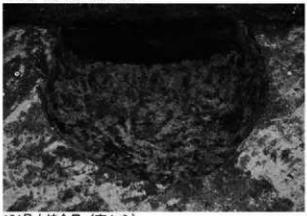

158号土坑全景（南から）

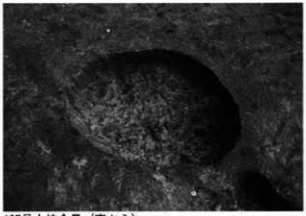
159号土坑全景（南から）

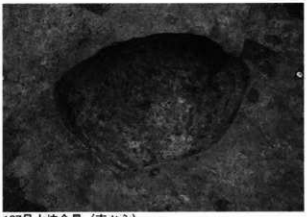
160号土坑全景（南から）

161号土坑全景（南から）

162号土坑全景（南から）


164号土坑全景（南から）

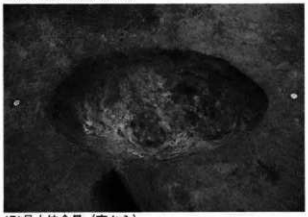

165号土坑全景（南から）

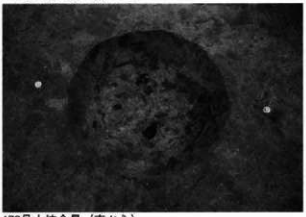

167号土坑全景（南から）

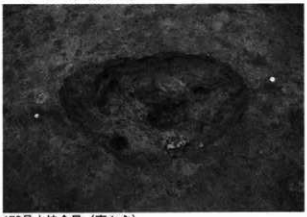
168号土坑全景（東から）

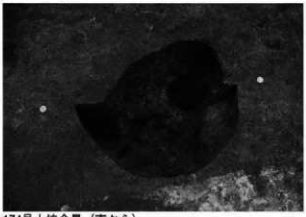
169号土坑全景（南から）

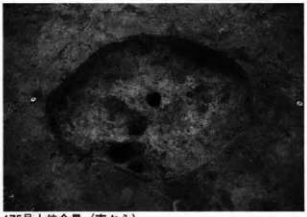
170号土坑全景（南から）

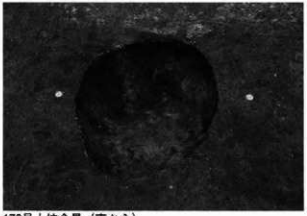

171号土坑全景（南から）

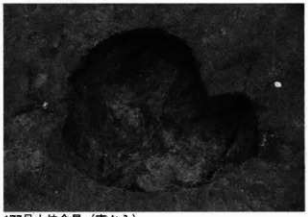

172号土坑全景（南から）

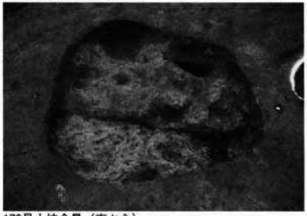

173号土坑全景（東から）

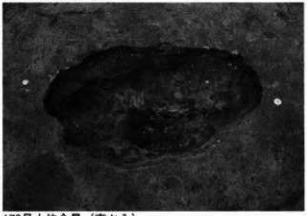

174号土坑全景（南から）

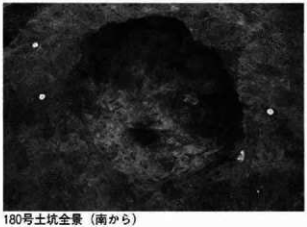

175号土坑全景（南から）

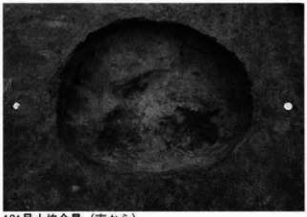

176号土坑全景（南から）

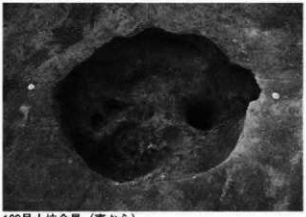

177号土坑全景（南から）

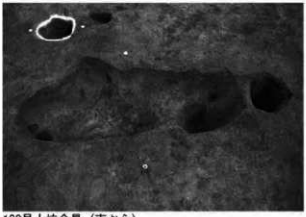

178号土坑全景（南から）

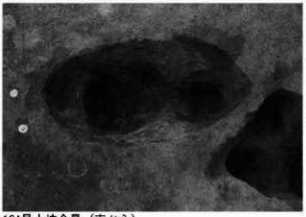

179号土坑全景（東から）


180号土坑全景（南から）

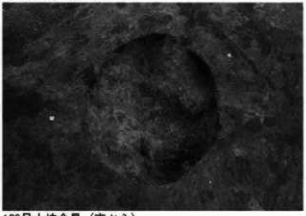

181号土坑全景（南から）


182号土坑全景（東から）

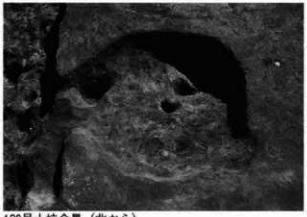

183号土坑全景（南から）

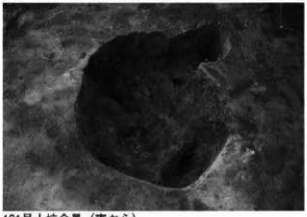

184号土坑全景（南から）

185号土坑全景（南から）


188号土坑全景（南から）

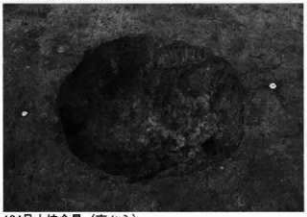
189号土坑全景（南から）

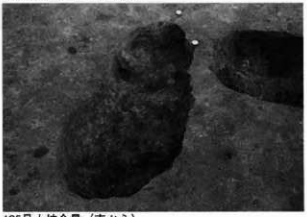

190号土坑全景（北から）

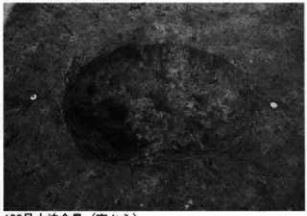

191号土坑全景（南から）

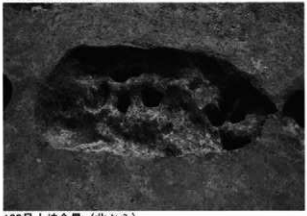
192号土坑全景（南から）

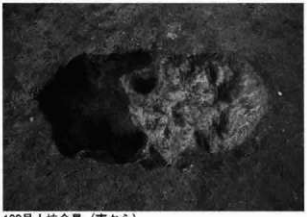
193号土坑全景（北から）

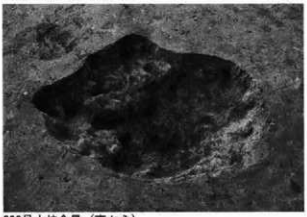

194号土坑全景（南から）

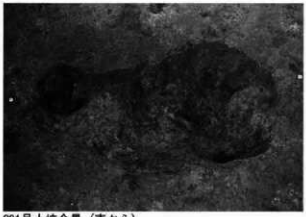

195号土坑全景（南から）

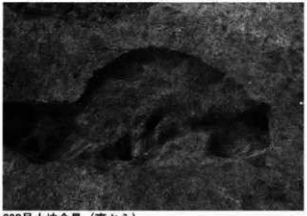

196号土坑全景（南から）


198号土坑全景（北から）

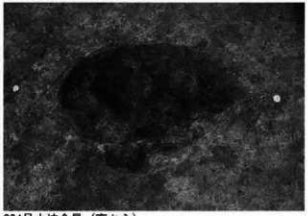

199号土坑全景（南から）


200号土坑全景（東から）


201号土坑全景（東から）

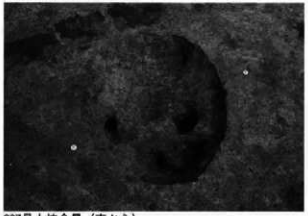

202号土坑全景（東から）

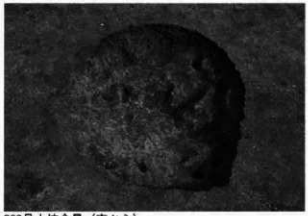
203号土坑全景（南東から）


204号土坑全景（東から）

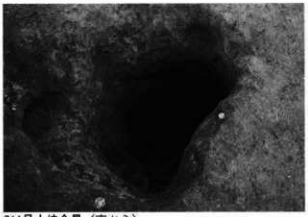
205号土坑全景（西から）

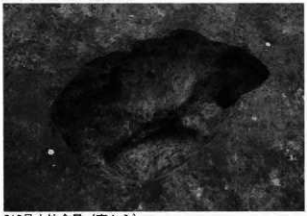
206号土坑全景（東から）


207号土坑全景（南から）

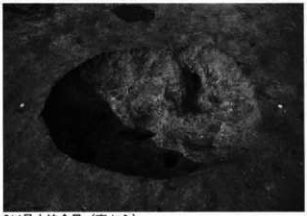

209号土坑全景（南から）

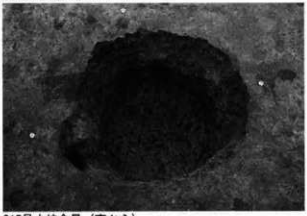
210号土坑全景（南から）

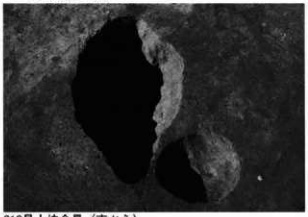

211号土坑全景（南から）

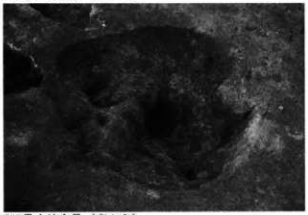

212号土坑全景（南から）

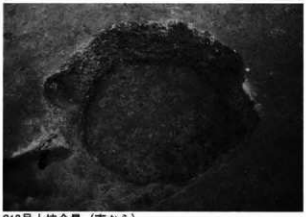
213号土坑全景（西から）

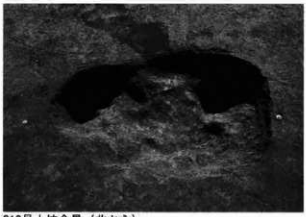

214号土坑全景（南から）

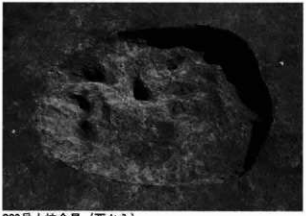

215号土坑全景（南から）

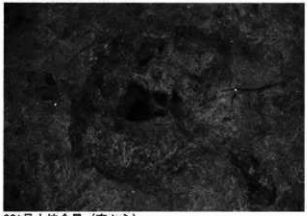

216号土坑全景（南から）

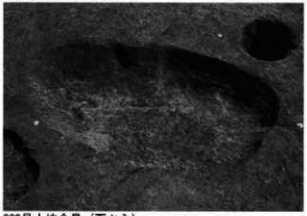

217号土坑全景（南から）

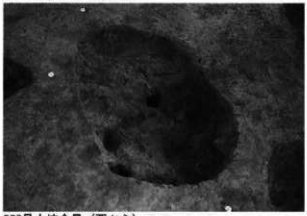

218号土坑全景（南から）

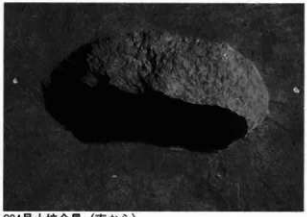

219号土坑全景（北から）


220号土坑全景（西から）

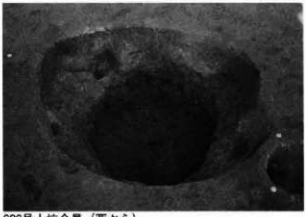

221号土坑全景（東から）


222号土坑全景（西から）

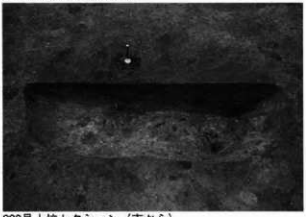

223号土坑全景（西から）

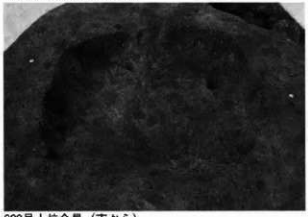

224号土坑全景（南から）

225号土坑全景（南から）

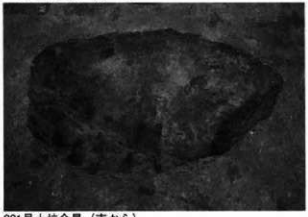

226号土坑全景（西から）

227号土坑全景（南から）

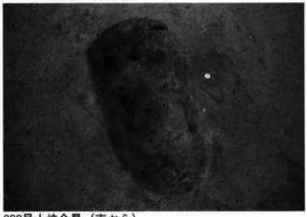

228号土坑セクション（南から）


229号土坑全景（南から）

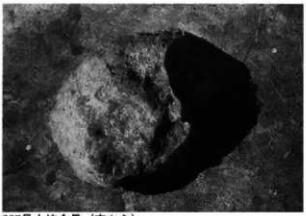
230・234・235号土坑全景（南東から）


231号土坑全景（南から）

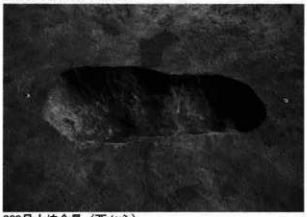
232号土坑全景（南から）


233号土坑全景（南から）

236号土坑全景（西から）

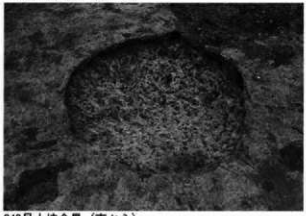

237号土坑全景（南から）

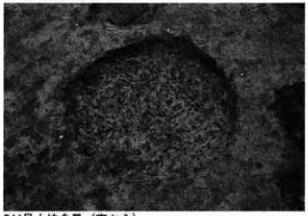
238号土坑全景（西から）

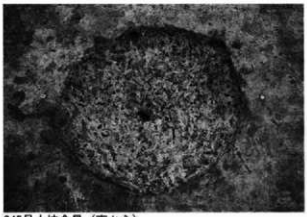

239号土坑全景（西から）

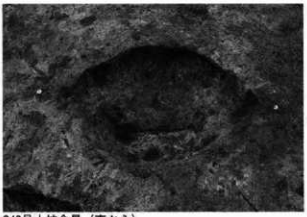
240号土坑全景（南から）

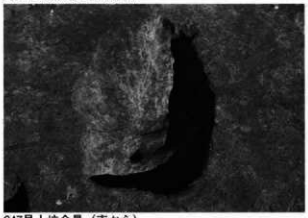
241号土坑全景（西から）

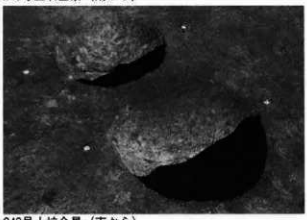

243号土坑全景（南から）

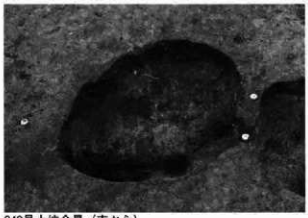

244号土坑全景（南から）

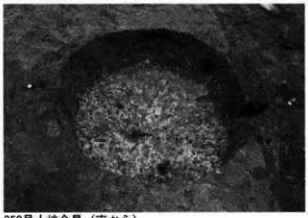

245号土坑全景（南から）

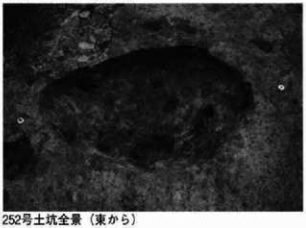

246号土坑全景（南から）


247号土坑全景（南から）

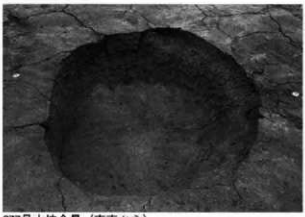

248号土坑全景（南から）


249号土坑全景（南から）


250号土坑全景（南から）


252号土坑全景（東から）

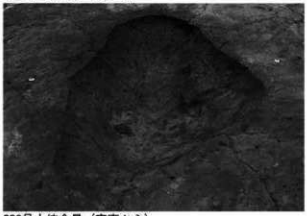
269号土坑全景（南から）



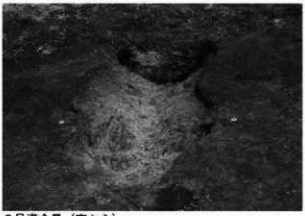
277号土坑全景（南東から）

278号土坑全景（南から）

279号土坑全景（北西から）



280号土坑全景（南東から）



2号溝全景（南から）

4号溝全景（南から）

8号溝全景（南から）

9号溝全景（東から）

10号溝全景（北から）

13号溝全景（南から）

26号溝全景（西から）

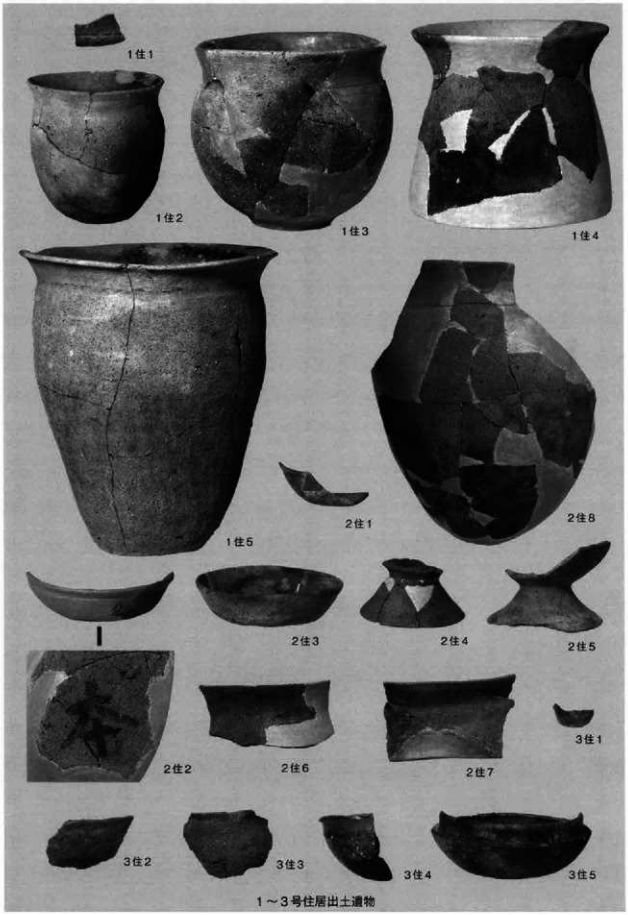
16号溝全景（南から）

17号溝全景（南から）

25号溝全景（北から）

27号溝全景（西から）

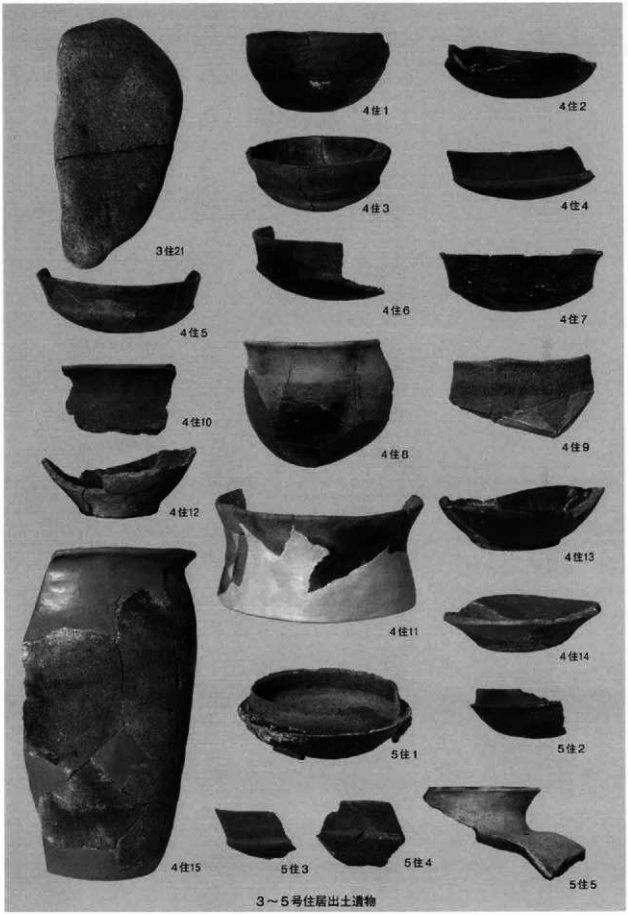
29～33号溝全景（北から）


1住1
1住2
1住3
1住4
1住5
2住1
2住8
2住3
2住4
2住5
2住2
2住6
2住7
3住1
3住2
3住3
3住4
3住5

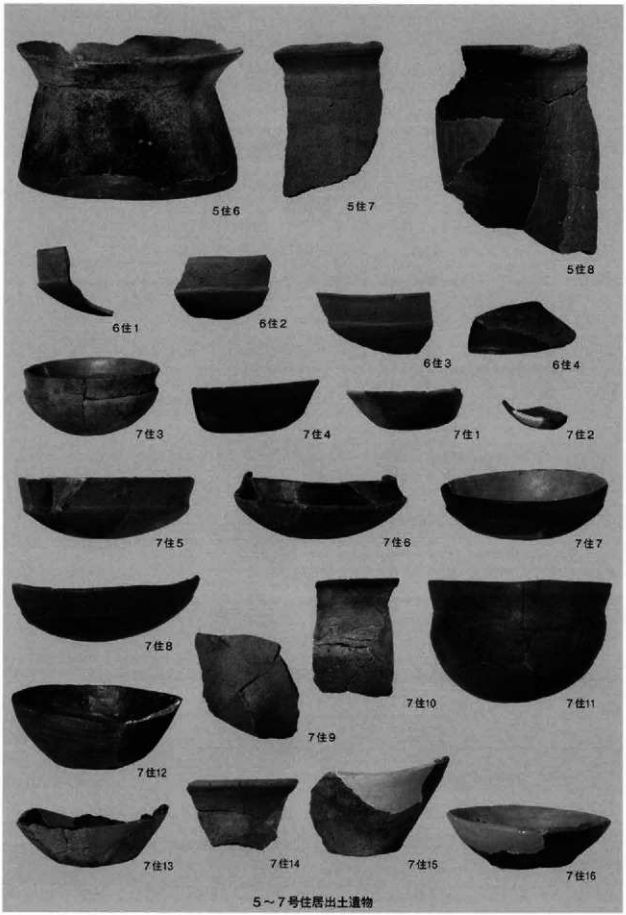
1～3号住居出土遺物

3住6
3住7
3住8
3住9
3住11
3住10
3住14
3住12
3住13
3住17
3住18
3住19
3住20
3住16
3住15

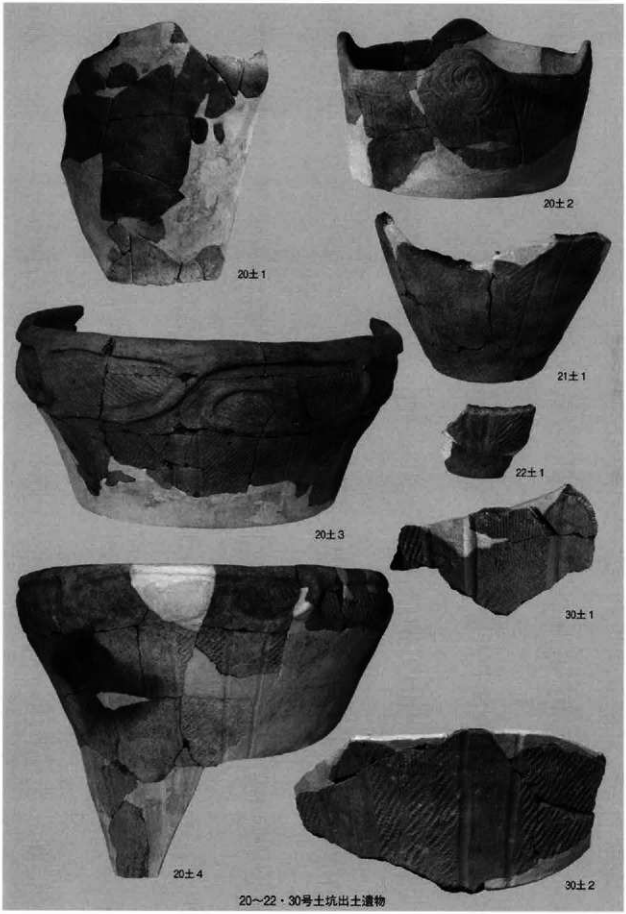
3号住居出土遺物


3住21
4住1
4住2
4住3
4住4
4住5
4住6
4住7
4住10
4住8
4住9
4住12
4住13
4住11
4住14
4住15
5住1
5住2
5住3
5住4
5住5

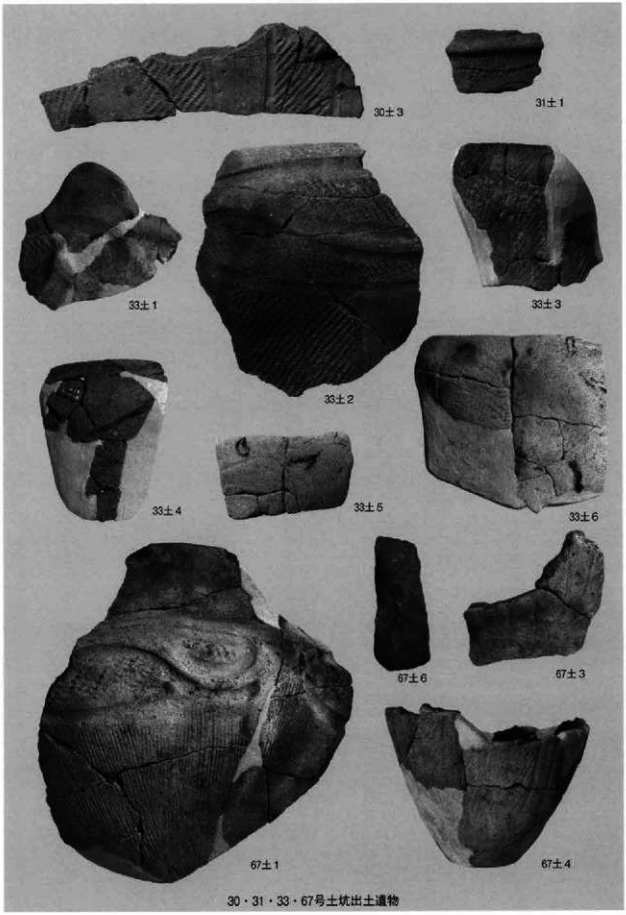
3～5号住居出土遺物


5住6
5住7
5住8
6住1
6住2
6住3
6住4
7住3
7住4
7住1
7住2
7住5
7住6
7住7
7住8
7住9
7住10
7住11
7住12
7住13
7住14
7住15
7住16

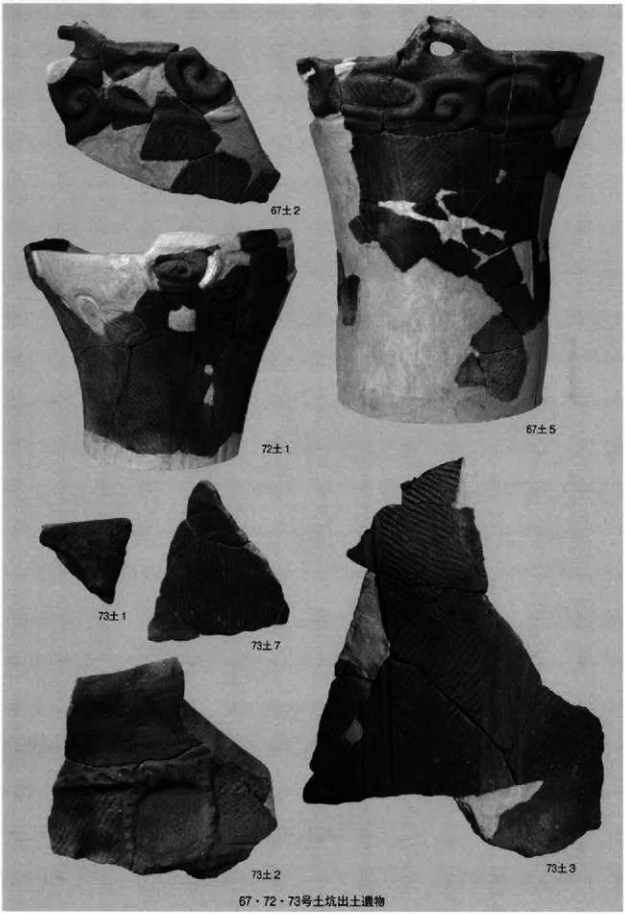
5～7号住居出土遺物



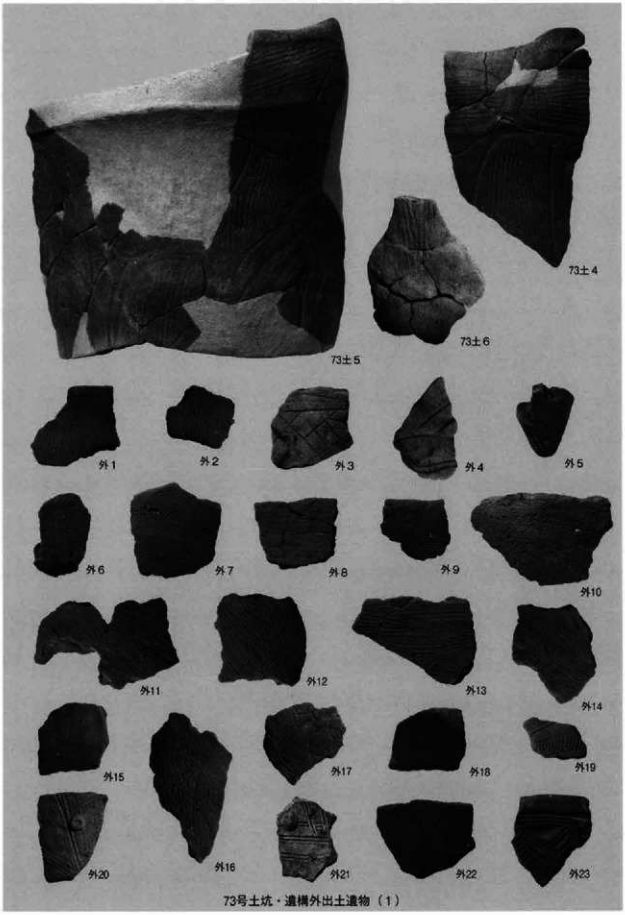
20～22・30号土坑出土遺物



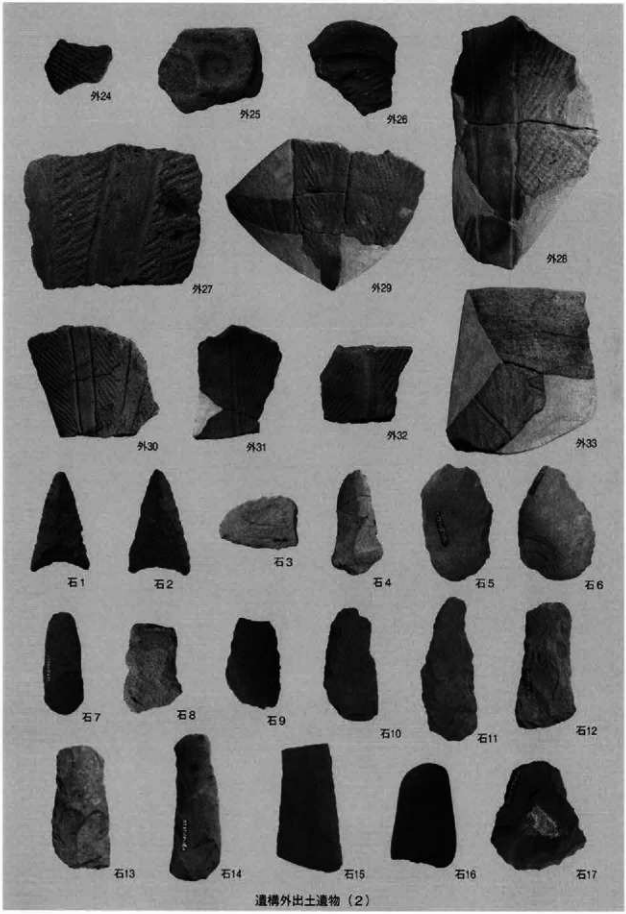
30・31・33・67号土坑出土遺物



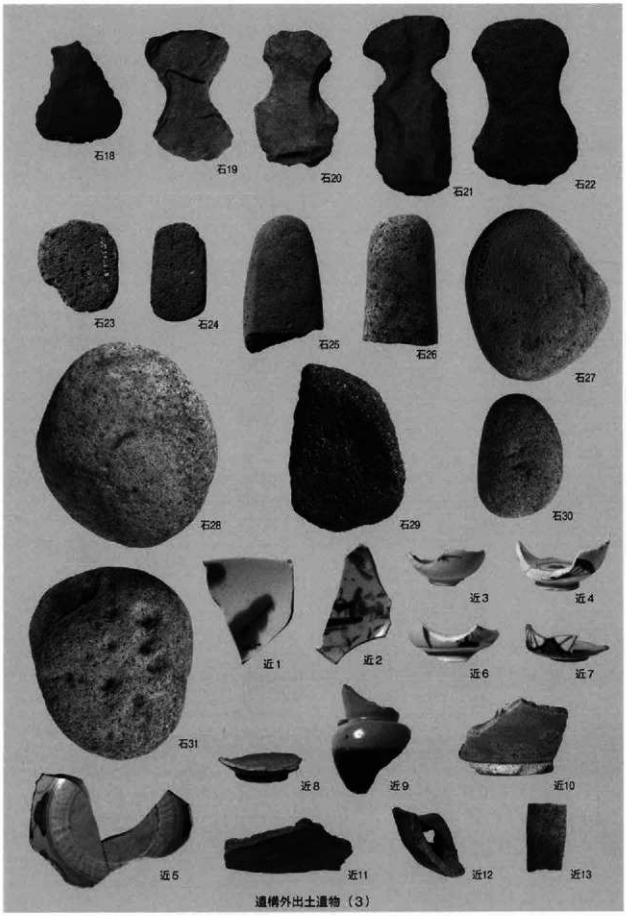
67・72・73号土坑出土遺物



73号土坑・遺構外出土遺物（1）


外24
外25
外26
外26
外27
外29
外30
外31
外32
外33
石1
石2
石3
石4
石5
石6
石7
石8
石9
石10
石11
石12
石13
石14
石15
石16
石17

遺構外出土遺物（2）


石18
石19
石20
石21
石22
石23
石24
石25
石26
石27
石28
石29
石30
近1
近2
近3
近4
近6
近7
石31
近8
近9
近10
近5
近11
近12
近13

遺構外出土遺物（3）

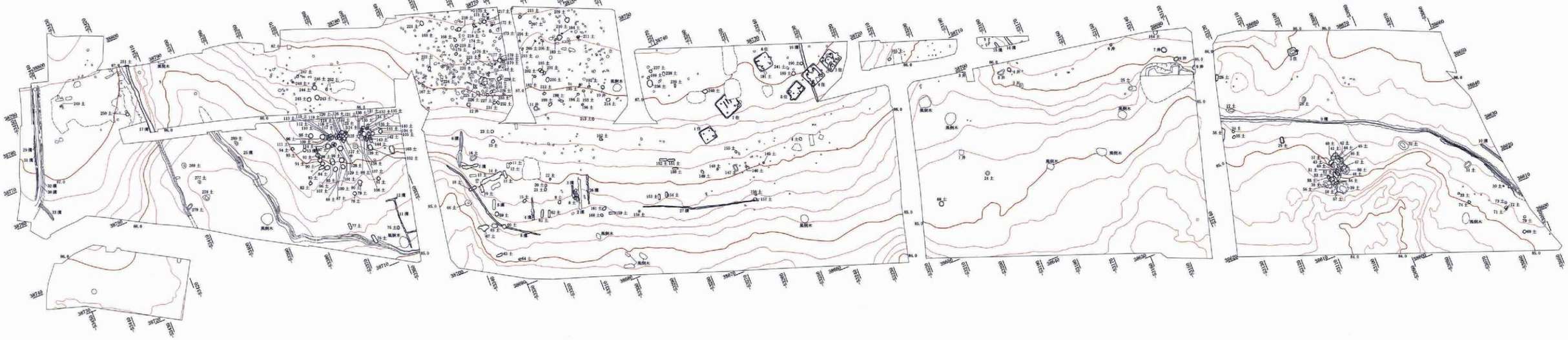
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第413集

前道下遺跡(1)

平成19年8月29日　印刷
平成19年9月6日　発行
編集・発行／財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
〒377-8555　群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2
電話　0279-52-2511（代表）
ホームページアドレス　http://www.gunmaibun.org/

印刷／杉浦印刷株式会社

調査研究館1F保管



前道下遺跡全体図（S=1:600）